

# 社団法人 日本介護福祉士会

## 福祉人材確保指針 改正案まとまる

### 労働環境の整備前面に 職能団体の責務も明記

社会保障審議会福祉部会(岩田正美部会長)は七月二十六日、平成五年に制定された福祉人材確保指針の改正について柳沢伯夫厚生労働大臣からの諮問を受け、改正案を了承した。告示は八月に行われる予定。

人材確保指針は、社会福祉法第八十九条に定める社会福祉事業における人材確保を図るために定めるもの。今回の改正では、介護保険制度における居宅介護支援等社会福祉事業には該当しない介護サービスについても共通の枠組みとして整理した。

改正案は前文で、福祉・介護ニーズが増大し、多様な労働環境の整備を強く打ち出している。

内容は大きく五つに分かれ、「第1 就業の動向」「第2 人材確保の基本的考え方」「第3 人材確保の方策」「第4 経営者、関係団体等並びに国及び地方公共団体と国民の役割」「第5 指針の実施状況の評価・検証」で構成されている。

「第1 就業の動向」では、「介護福祉士については、介護の現場では介護職員の量の確保にとまらず、専門性の高い人材が求められている」とし、多数存在している「潜在的介護福祉士」にも触れた。

「第2 人材確保の基本的考え方」では、「労働環境の整備の推進」「キャリアアップの仕組みの構築」「福祉・介護サービスの同

知・理解」「潜在的有資格者等の参入の促進」「多様な人材の参入・参画の促進」という視点が示された。

「他の分野と比較して適切な給与水準の確保」「高い専門性を有する従事者の社会的な評価に見合う処遇」などが具体的に例示されている。

「第3 人材確保の方策」(詳細2、3面)は、団塊の世代が高齢者に達する平成二十七年を見据えて、重点的に取り組む必要がある課題が列記されている。

最初の「労働環境の改善」の項目で「給与等」がまず取り上げられ、介護従事者の人材確保の根本的な問題として給与問題が存在していることを示した形となった。これは三月二十九日から四回にわたった人材確保指針の改正議論の中で、各委員から共通の認識として強く指摘されたところで、パブリック・コメントでも多くの意見が寄せられた。四十九を超える具体的な方策のそれぞれに取り組みべき主体が示され、責務が課された。職能団体も四方策で明記されたが、これらは石橋真二委員が四回目の福祉部会で主張したことが実現したものである。

改正案の形成プロセスは、ワムネットにアクセスして、社会保障審議会福祉部会資料と議事録を見ることが出来る。

多くの意見が寄せられた。四十九を超える具体的な方策のそれぞれに取り組みべき主体が示され、責務が課された。職能団体も四方策で明記されたが、これらは石橋真二委員が四回目の福祉部会で主張したことが実現したものである。

改正案の形成プロセスは、ワムネットにアクセスして、社会保障審議会福祉部会資料と議事録を見ることが出来る。

生涯研修制度の入口となる初任者研修や現任研修など、現場で求められる知識を身につけるために、大いに活用されることが期待される。注文は、日本介護福祉士会事務局まで。

指署名を柳沢伯夫厚生労働大臣宛に提出するなどの活動を続けてきたが、決着は秋の臨時国会に持ち越されることになった。

## 組織拡大へ意見交換 全国会長会・事務担当者会議を開催

七月六、七日の二日間、横浜市のウイニング横浜に全国から会長、副会長と事務担当者など、各都道府県介護福祉士会のメンバー百八人が参集して、活発な意見交換、討議を行った。新年度を迎えて新しい顔ぶれも多く、新鮮な発言と交流の会議となった。

六日は事務担当者会議がと相まみえることで、介護福祉士の仕事に取り組みが、実務的な問題を解決しようとする会議の議論はシビアにもなり、質疑応答の繰り返しが相互理解を深めていった。

会員管理の処理をめぐっては、会費の引き落としや入退会の手続き、支部間のシステムの違いなど、効率的な組織運営を目指してこの場でなければ話し合えない課題が次々と提起された。各事務局体制の実情も話し合われ、違いがある中でどうしたら組織的な運営に結びつけることができるのか、そのヒントをつかもうとする真剣な姿勢に時間短かったようだ。

生涯研修制度についての討議では、生涯研修手帳の普及が進んだこともあって、運用上の問題や初任者研修の免除規定、認証についてポイント制度の解釈、研修記録の管理など、具体的な質疑が交わされた。

日本介護福祉士会が先行的に進めているファーストステップ研修や講師養成の

リダー研修会、今年度から始める介護実習指導者研修事業などのさまざまな研修の位置づけについても議論された。ファーストステップ研修では、支部やブロックで開催の際の現実的な課題である講師について意見が集中した。

七日の会長会では自己紹介から始まった。地元の家内に加えてブロックや全国行事への誘い、決意の披露なども交えてユニークな発言が続いた。

午前中が平成十九年度事業と組織強化を議題として会議は進められた。平成十九年度事業計画に沿って、三名の副会長からそれぞれの担当分野の内容と進行状況の説明が行われ、それに対する質疑応答

が続けられた。

十一月の全国大会では、早めに参加申し込みをしていただき、九月中には目標を達成したいと協力要請が行われた。

介護技術講習会は、法改正が行われるような位置づけになるが不明確なので、主任指導者などの新たな役割について検討していく必要があるとの指摘もあった。

調査研究では、依然として現場の混乱を招いている医療行為に関する実態調査に大いに期待したい、という意見が出された。

介護福祉の普及・啓発では、人材確保指針でも職能団体の責務とされ、公益社団法人の課題に対応するためにも、毎年行っている全国介護相談は各支部で工夫を凝らして積極的に実施していただきたい、との要請があった。

日本介護学会も、現場の

人が発表できるシステム作りとして、グループ研修等で発表された事例を投稿規定に則って論文としたものを受け付けることになった。

その他、多岐にわたる質問、意見が出され、二日間には議論を終了した。

なお、生涯研修手帳の運用とポイント制度に関する詳しい説明は、次号のニュース及びホームページで周知する予定である。

「介護サービス従事者の研修体系のあり方に関する研究会」が平成十八年三月に出した最終まとめ「介護サービス従事者の研修体系のあり方について」によると、介護福祉士を対象とする現任者対象の研修体系として、ファーストステップ研修が「キャリア形成のための共通の能力基盤」と提言されている。更に、「業種別に求められる技能等の違いに対しては、業種別上乗せ研修で対応」と明記され、サービス提供責任者研修が例示されている。

上乗せ研修は、「現行の研修を統合・拡充・再編することを想定し」、「ファーストステップ研修と上乗せ研修を合わせて修了した者を基準・報酬等におけるリーダーに位置づける方

# 社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針(案)

## 前文(略)

## 第1 就業の動向(略)

## 第2 人材確保の基本的考え方(略)

## 第3 人材確保の方策

第2で述べた視点を踏まえ、福祉・介護サービス分野における必要人材を確保するには、関係者は特に以下に掲げる五項目に総力を挙げて取り組むことが重要である。なお、括弧内は、各事項において取り組むべき主体を示している。

- 1 労働環境の整備の推進等
  - (1) 労働環境の改善
    - ① 給与等
      - ア キャリアと能力に見合う給与体系の構築等を行うとともに、他の分野における労働者の給与水準、地域の給与水準等も踏まえ、適切な給与水準を確保すること。なお、給与体系の検討に当たっては、国家公務員の福祉職俸給表等も参考とする。(経営者、関係団体等)
      - イ 質の高い福祉・介護サービスを提供するためには、質の高い人材を確保する必要があることを踏まえ、従事者に対する事業収入の適切な配分に努めること。(経営者、関係団体等)
      - ウ 従事者の定着状況等を踏まえ、必要に応じて、従事者に対する事業収入の配分の状況についての実態を把握し、福祉・介護サービス分野における経営者の
    - ② 介護報酬等の設定
      - ア 給与、物価等の経済動向や地域間の給与の格差等を踏まえ、従事者の給与等の水準や事業収入の従事者の給与等への分配状況を踏まえ、経営実態や従事者の労働実態を把握すること等を通じて、国民の負担に留意しながら、適切な水準の介護報酬等を設定すること。(国、地方公共団体)
      - イ キャリアと能力に見合う給与体系の構築等の観点から、介護福祉士や社会福祉士等の専門性の高い人材を配置した場合の介護報酬等による評価の在り方について検討を行うこと。(国、地方公共団体)
    - ③ 労働時間等
      - ア 週四十時間労働制の適用されていない小規模の事業所における週四十時間労働制の導入、完全週休二日制の普及など、労働時間の短縮の推進に努めること。また、仕事と家庭の両立を図られるよう、計画的付与等による有給休暇の完全取得を目指した取組や育児休業・介護休業の取得、職場内保育の充実等を推進すること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)
    - ④ 労働関係法規の遵守
      - ア 労働基準法(昭和十二年法律第四十九号)や労働安全衛生法(昭和四十七年法律第五十七号)等の労働関係法規を遵守すること。(経営者、関係団体等)
      - イ 短時間労働者については、短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律(平成五年法律第七十六号)に基づき、通常の労働者との均衡を考慮しつつ、短時間労働者の職務の内容や職務の成果(経験等)を踏まえ、その賃金や教育訓練の実施その他の待遇を決定するなど、多様な人材がそれぞれ能力を一層発揮できる雇用環境を整備すること。(経営者、関係団体等)
      - ウ 労働関係法規や福祉・介護制度関連法規等の法令を遵守した適切な運営が確保されるよう、経営者の指導監督等を行うこと。(国、地方公共団体)
    - ⑤ 健康管理対策等
      - ア 従事者が心身ともに充実して仕事ができるよう、より充実した健康診断を実施すること。また、腰痛対策等の健康管理対策の推進を図ること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)
    - ⑥ 職業配置
      - ア 従事者の労働の負担を考慮し、一定の質のサービスを提供する観点から、職員配置の在り方に係る基準等について検討を行うこと。(国)
    - ⑦ 福利厚生
      - ア 従事者の余暇活動や日常生活に対する支援を行うなど、従事者のニーズに的確に対応した福利厚生事業の推進を図ること。(経営者、関係団体等)
      - イ 福利厚生センターその他の関係団体等
    - ⑧ 適正な雇用管理の推進
      - ア 従事者に対する雇用管理に関する相談事業、介護労働者の雇用管理の改善等に関する法律(平成四年法律第六十三号)に基づき、助成金の活用を促進し、福祉・介護サービスの実態に応じた雇用管理の好事例の情報提供等に取組むこと。(経営者、関係団体等)
      - イ 業務の省力化等
    - ⑨ 業務の省力化等
      - ア IT技術や自動具を

含む福祉用具の積極的な活用等を通じて、業務の省力化に努めること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

イ サービスの提供に関する記録等の各種書類の作成に係る事務の効率化・簡素化に努めること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

ウ 従事者が安心して仕事ができるよう、日頃より医療機関や保健所等との連携に努めること。また、手洗いや消毒の励行等の感染症対策の推進を図ること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

含み福祉用具の積極的な活用等を通じて、業務の省力化に努めること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

イ サービスの提供に関する記録等の各種書類の作成に係る事務の効率化・簡素化に努めること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

ウ 従事者が安心して仕事ができるよう、日頃より医療機関や保健所等との連携に努めること。また、手洗いや消毒の励行等の感染症対策の推進を図ること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

含み福祉用具の積極的な活用等を通じて、業務の省力化に努めること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

イ サービスの提供に関する記録等の各種書類の作成に係る事務の効率化・簡素化に努めること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

ウ 従事者が安心して仕事ができるよう、日頃より医療機関や保健所等との連携に努めること。また、手洗いや消毒の励行等の感染症対策の推進を図ること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

含み福祉用具の積極的な活用等を通じて、業務の省力化に努めること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

イ サービスの提供に関する記録等の各種書類の作成に係る事務の効率化・簡素化に努めること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

ウ 従事者が安心して仕事ができるよう、日頃より医療機関や保健所等との連携に努めること。また、手洗いや消毒の励行等の感染症対策の推進を図ること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

(編集部注)「取り組むべき主体」に職能団体が入れられた方策は、ゴシックで表した。

② 従事者の負担を軽減する観点から、腰痛対策等に関する介護技術について、これまでの研究成果の評価・分析を行い、より適正かつ実践的な技術の研究及び普及を図ること。(経営者、職能団体、養成機関の団体その他の関係団体等、地方公共団体)

2 キャリアアップの仕組みの構築

① 質の高い介護福祉士や社会福祉士、保育士等を確保する観点から、資格制度の充実を図り、その周知を行うこと。また、施設長や生活相談員等の資格要件の見直しや社会福祉士事から社会福祉士へのキャリアアップの仕組みなど、福祉・介護サービス分野における従事者のキャリアパスを構築すること。(経営者、関係団体等、地方公共団体)

② 福祉・介護サービス分野におけるキャリアパスに対応した生涯を通じた研修等の充実を図ること。(経営者、職能団体その他の関係団体等、地方公共団体)

③ 従事者のキャリアアップを支援する観点から、社会福祉士等の国家資格等を取得できるよう配慮すること。また、従事者の自己研鑽が図られるよう、業務の中で、必要な知識・技術を習得できる体制(OJT)や職場内や外部の研修の受講機会等(OFF-JT)の確保に努めること。(経営者、関係団体等)

④ 従事者のキャリアアップを支援する観点から、

③ 福祉・介護サービス分野におけるキャリアパスに対応した生涯を通じた研修等の充実を図ること。(経営者、職能団体その他の関係団体等、地方公共団体)

④ 従事者のキャリアアップを支援する観点から、

④ 福祉・介護サービス分野におけるキャリアパスに対応した生涯を通じた研修等の充実を図ること。(経営者、職能団体その他の関係団体等、地方公共団体)

⑤ 従事者のキャリアアップを支援する観点から、

⑤ 従事者のキャリアアップを支援する観点から、

⑥ 福祉・介護サービス分野におけるキャリアパスに対応した生涯を通じた研修等の充実を図ること。(経営者、職能団体その他の関係団体等、地方公共団体)

⑦ 福祉・介護サービス分野におけるキャリアパスに対応した生涯を通じた研修等の充実を図ること。(経営者、職能団体その他の関係団体等、地方公共団体)

⑧ 福祉・介護サービス分野におけるキャリアパスに対応した生涯を通じた研修等の充実を図ること。(経営者、職能団体その他の関係団体等、地方公共団体)

# ソウェルクラブ(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

<p><b>■ 職員の健康管理のために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活習慣病予防健診費用助成</li> <li>●健康生活用品給付</li> <li>●スポーツクラブ</li> <li>●電話健康医療相談</li> </ul>	<p><b>■ 職員の万が一の際に</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●会員の死亡弔慰金</li> <li>●会員の配偶者の死亡弔慰金</li> <li>●会員の入院・手術見舞金</li> <li>●災害見舞金</li> </ul>	<p><b>■ 職員の資質向上のために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●海外研修</li> <li>●広報講習会</li> <li>●レク・リーダー養成講習会</li> <li>●接遇講習会</li> <li>●パソコン講習会</li> <li>●メンタルヘルズ講習会</li> </ul>	<p><b>加入できる職員</b></p> <p>■ 社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。</p> <p><b>掛金</b></p> <p>■ 掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。</p>
<p><b>■ 職員の慶事のお祝いに</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●結婚お祝品贈呈</li> <li>●出産お祝品贈呈</li> <li>●入学お祝品贈呈</li> <li>●資格取得記念品贈呈</li> <li>●永年勤続記念品贈呈</li> </ul>	<p><b>■ 職員の余暇活用のために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●指定保養所…休暇村他 7種類の宿泊施設、全国289か所</li> <li>●海外リフレッシュツアー</li> <li>●クラブ・サークル活動支援</li> <li>●テーマパーク</li> <li>●国内・海外旅行</li> <li>●レンタカー</li> <li>●カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等</li> </ul>	<p><b>■ 職員の生活サポートのために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅ローン・特別資金ローン</li> <li>●クレジットカード</li> <li>●ソウェル団体生命保険</li> </ul>	<p><b>加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル</b></p> <p><b>TEL 0120-292-711</b>  <b>FAX 0120-292-722</b>  <a href="http://www.sowel.or.jp/">http://www.sowel.or.jp/</a></p> <p>社会福祉法人 福利厚生センター      〒105-0001      東京都港区虎ノ門1-21-17 虎ノ門NNビル</p>

魅力ある職場づくりに福利厚生センターをご活用ください

【2面から】

(1) 経営者、関係団体等  
と。(経営者、関係団体等)  
④ 将来を担う人材を育てていくことが、福祉・介護サービスや経営者の社会的な評価を高めていくことにつながるという観点に立ち、福祉・介護サービス分野への就業を目指す実習生を積極的に受け入れるとともに、実習を受け入れる施設における適切な受入体制を確保すること。(経営者、関係団体等、国、地方公共団体)

4 潜在的有資格者等の参入の促進等  
(1) 介護福祉士や社会福祉士等の有資格者の活用等の促進  
介護福祉士や社会福祉士等の資格制度の普及を図るとともに、これらの有資格者の活用等の促進を図ること。(経営者、関係団体等、国、地方公共団体)

(2) 潜在的有資格者等の参入の促進  
① 潜在的有資格者等について、就業の現状や離職の理由、福祉・介護サービス分野への再就業の意向等の実態を把握すること。(関係団体等)

② 潜在的有資格者等に対して、就職説明会の実施等を通じて関心を喚起し、福祉・介護サービス分野への再就業を働きかけること。(福祉人材センター、福祉人材バンクその他の関係団体等)

③ 潜在的有資格者等のうち、再就業を希望するものに対して、再就業が円滑に進むよう、関係団体等や公共職業安定所等との十分な連携による無料職業紹介等の実施や再教育等を通じて、就業の支援に取り組むこと。(関係団体等)

こと。(福祉人材センター、福祉人材バンクその他の関係団体等、国)

④ 福祉・介護サービス分野へ就業した潜在的有資格者等について、将来にわたって安定的に仕事ができるよう、相談体制を整備するなどの、その定着の支援に努めること。(経営者、関係団体等、国、地方公共団体)

5 多様な人材の参入・参画の促進  
(1) 福祉・介護サービス以外の他の分野に従事する人材の参入の促進  
① 多様な人材を確保する観点から、福祉・介護サービス以外の他の分野に従事する者等に対して、就職説明会の実施等を通じて、福祉・介護サービス分野への関心を喚起し、就業を働きかけること。(福祉人材センター、福祉人材バンクその他の関係団体等)

② 福祉・介護サービス以外の他の分野に従事する者等のうち、福祉・介護サービス分野への就業を希望するものに対して、関係団体等と公共職業安定所等との十分な連携による無料職業紹介等の実施を通じて、就業の支援に取り組むこと。(福祉人材センター、福祉人材バンクその他の関係団体等、国)

③ 福祉・介護サービス以外の他の分野に従事している者等、福祉・介護サービス分野へ就業したもののうち、将来にわたって安定的に仕事ができるよう、相談体制を整備するなど、その定着の支援に取り組むこと。(福祉人材センター、福祉人材バンクその他の関係団体等)

④ 利用者のサービスの選択に資することを目的とした第三者評価結果の公表や情報開示等は、福祉・介護サービス分野への就業を希望する者にとっても就業先の選択に資するものであることを踏まえ、これらの推進を図ること。(経営者、関係団体等、国、地方公共団体)

(2) 高齢者等の参入・参画の促進等  
① 高齢者に対する研修等を通じて、高齢者が福祉・介護サービス分野へ就業しやすい、又は、ボランティアとして参画しやすい環境を整えるほか、これまでの就業経験の中で培ってきた経理や労務管理等の専門的知識・技能の活用を図ること。(経営者、関係団体等、国)

#### 第4 経営者、関係団体等並びに国及び地方公共団体と国民の役割

福祉・介護サービスの最大の基盤は人材であり、質の高い人材が集まらなければ、質の高いサービスの提供は困難となるという考えの下に、経営者、関係団体等並びに国及び地方公共団体がそれぞれの役割を果たし、処遇の改善等に取り組むことが重要である。

これらの関係者が十分な連携を図りつつ、さらには国民の参加も得ながら、国民的な課題として、二十一世紀を担う福祉・介護サービス分野の人材の量と質を高めていくため、誰もが生き生きと働ける魅力ある福祉・介護サービス分野の職場を確立するとともに、その社会的な評価の向上を図ることに取り組んでいく必要がある。

それぞれの役割については、以下のとおりとする。

1 経営者及び関係団体等の役割  
経営者は、健全な経営を維持し、従事者を雇用する立場から、適正な給与水準の確保を始めとする労働環境の改善や従事者のキャリアアップの支援等を行っていくことにより、一人一人の従事者がその能力を最大限に発揮することができる働きやすい環境を整備を行う役割を担っている。

特に、福祉・介護サービスに係る事業の経営においては、人材の質がサービスの質に大きな影響を与えることから、福祉・介護サービスの利用者に対して、人材というサービスの提供基盤を最大限に活かして、質の高いサービスを提供していくことが重要である。

また、経営者は、経営理念に裏打ちされた人事制度

の改革や経営者間のネットワークづくり、関係団体等による活動への協力を最大限に行う必要がある。

さらに、現在、国民は、経営状況やサービスの提供体制等の施設運営の状況についての実態を必ずしも十分に把握できる状況にはないことから、経営者は、積極的にこれらの情報を開示していくことも必要である。

他方、関係団体等は、個々の経営者や従事者のレベルでは対応することが難しい課題について、経営者や従事者の取組を支援するなど、それぞれが果たすべき役割を着実に推進する必要がある。

2 地方公共団体の役割  
地方公共団体は、事業者の指定や指導監督を行い、地域の実情に応じて、住民に必要となる福祉・介護サービスの確保するための計画を策定するほか、事業に係る費用の一部を負担する等の役割を担っている。

このため、地方公共団体は、福祉・介護制度関連法の規程の法令を遵守した適切な運営が確保されるよう、経営者に対する指導監督を行うとともに、福祉・介護サービスに関わる法人、施設、関係団体等の取組を把握しながら、個々の経営者では対応が難しい人材確保の取組や研修の実施など人材の質の向上を支援していく必要がある。

特に、都道府県において、雇用情勢を踏まえ、従事者の需給状況や就業状況に対する研修体制の整備、経営者や関係団体等のネットワークの構築など、広域的に接する機会を積極的に

設けることにより、国民一人一人が身近な問題として福祉・介護サービスに対する理解を深めていくような環境を整備していく必要がある。

また、市区町村においては、介護保険制度の保険者として位置付けられているなど、福祉・介護制度の実施主体としての立場から、必要なサービス提供体制を確保するため、都道府県との取組と連携し、ボランティア活動の振興や広報活動等を通じて、福祉・介護サービスの意義や重要性についての啓発に努めることにも、従事者に対する研修の実施や相談体制の整備、経営者や関係団体等のネットワークの構築など、地域の特色を踏まえたきめ細やかな人材確保の取組を進めていくことが重要である。

3 国の役割  
国は、事業に係る費用の一部を負担するとともに、福祉・介護制度等の制度を企画立案し、基準・報酬等を策定するという役割を担っている。

このため、人材を確保し、必要なサービスが国民に提供されるよう、国は、必要に応じて、法人や施設の規模、種類等に応じた経営者の確保のためにどのような政策が必要かを定期的に検討し、適切に福祉・介護制度等の制度の設計・見直しや報酬等の設定を行う必要がある。

また、福祉・介護政策と教育政策とが連携を図りつつ、ボランティア体験等を通じて、生徒等の成長段階に応じて福祉・介護サービスに接する機会を積極的に

設けることにより、国民一人一人が身近な問題として福祉・介護サービスに対する理解を深めていくような環境を整備していく必要がある。

また、我が国の福祉・介護制度は、国民が拠出する公的な財源による運営されており、国民一人一人がこれを大切に利用するという節度ある利用者でなければならず、このような認識なしにサービスが利用されれば、真に福祉・介護サービスが必要ない利用者に対する行き届かないおそれもある。このような意味で、国民は福祉・介護サービスを上手に利用しながら、自立した日常生活を営むことを目指していくことが求められる。

さらに、福祉・介護サービスを支える税や保険料の負担者としての立場から、国民は、必要な福祉・介護サービスの量や質の水準と併せて、これを確保するために必要となる負担の水準も考えていくことが求められる。

このほか、国民の生活を支えていくためには、公的な福祉・介護制度に基づいた福祉・介護サービスのみならず、地域社会等における支え合いを併せた重層的な支援体制を整備していくことも重要であり、国民は、ボランティア等への参画を通じて、こうした地域社会等における支え合いを充実させていくことも重要である。

#### 第5 指針の実施状況の評価・検証

国は、この指針が示す人材確保のために講ずべき措置について、福祉・介護制度の見直しの状況を踏まえ、定期的にその実施状況を評価・検証し、必要に応じてこの指針の見直しを行う

【編集部より】記事執筆のため、「支部の研修」情報は割愛しました。ご了承ください。

## ふれあい旬

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。

●定価1,020円(本体971円) ●毎月20日発行 ●B5判/80頁  
●送料300円(定期購読もしくは10冊以上のご購入で送料無料)

### 2007年 9月号 8月20日発行

**行事を工夫しよう**  
施設では、利用者の生活を潤いのあるものとしたい、四季を楽しんでいただきたいの思いからさまざまな年間行事や誕生会などを実施していますが、利用者は喜んで参加しているのでしょうか。また、利用者が重度化しているなかで、施設はどのように工夫して行事を行っているのでしょうか。そこで、本企画では、施設行事を工夫して取り組んでいる施設を紹介し、あらためて行事のもつ意味・あり方について考えます。

介護福祉士キャリアアップ誌上セミナー/介護過程におけるアセスメント/共有する記録/障害者支援の基礎知識/ICFの視点から認知症介護を見直そう/応援します!いきいきホームヘルパー/ほか

2007年3月号 介護予防にチャレンジ!—デイサービスセンターの今  
2007年4月号 介護職員の健康管理  
2007年5月号 家族とともに歩むケア

2007年6月号 認知症でもだいじょうぶ  
2007年7月号 食の充実  
2007年8月号 重度のひとへのケア

定期購読申し込み受付中! [FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい] お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号・冊数」を忘れずにご記入下さい。バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。

●お申し込みは、書店、都道府県社会福祉協議会、または下記へ●

### サービス提供責任者研修試行事業

1. 日程 (前期) 9月22日(土)~24日(月)  
(後期) 11月10日(土)~11日(日)
2. 会場 (前期) ば・る・るプラザ京都(京都市下京区京都駅前)  
(後期) 新大阪丸ビル新館(大阪市東淀川区新大阪駅前)
3. 対象者 介護福祉士資格取得後2年以上サービス提供責任者として勤務に従事した経験を有する者、又は今後サービス提供責任者として勤務しようとする者。
4. 定員 70名
5. 費用 日本介護福祉士会会員 5万円、会員以外 7万円
6. 履修科目
  - ・介護保険制度の動向
  - ・ケアマネジメントの理解
  - ・居宅介護サービス計画と訪問介護計画書の関係(予防)
  - ・サービス提供責任者の役割
  - ・居宅介護サービス計画と訪問介護計画書の関係(介護)
  - ・自職場研修
  - ・自職場の分析
  - ・気づきの確認
  - ・研修終了後自己研修
7. 申込締切 9月10日(月) 必着
8. 申し込み・問い合わせ 日本介護福祉士会事務局(担当: 神田、川端)  
TEL 03-3507-0784 FAX 03-3507-8810

### 介護実習指導者研修試行事業

1. 日程 (前期) 10月26日(金)~28日(日)  
(後期) 12月15日(土)~16日(日)
2. 会場 ハロー貸会議室新宿(東京都新宿区)
3. 対象者 介護福祉士資格取得後、実務経験が5年以上ある者
4. 定員 70名
5. 費用 日本介護福祉士会会員 5万円、会員以外 7万円
6. 履修科目
  - ・介護福祉士教育の動向と課題
  - ・介護実習の意義
  - ・実習指導者の役割(施設)
  - ・実習指導者の役割(居宅)
  - ・実習開始前の実務
  - ・実習指導の展開
  - ・実習評価
  - ・実習後の指導と評価の活用
  - ・自施設職員及び指導責任者のキャリアアップに向けて
  - ・研修途中及び終了後自己研修
7. 申込締切 10月15日(月) 必着
8. 申し込み・問い合わせ 日本介護福祉士会事務局(担当: 神田、川端)  
TEL 03-3507-0784 FAX 03-3507-8810

### リーダー研修会

今年のリーダー研修会は昨年度に引き続き、「ファーストステップ研修」の講師を養成します。受講者は前後期を通じて受講する必要があり、後期はフォローアップ研修となります。

1. 日程 (東会場) 前期 10月19日(金)~21日(日)  
後期 12月21日(金)~22日(日)  
(西会場) 前期 11月15日(木)~17日(土)  
後期 平成20年1月12日(土)~13日(日)
2. 会場 (東会場) 前期 スクエア8(東京都豊島区)  
後期 スクエア8(東京都豊島区)  
(西会場) 前期 ハートンホテル南船場、ハートンホール(大阪府大阪市)  
後期 ハートンホテル南船場(大阪府大阪市)
3. 対象者 介護福祉士資格取得後5年以上の実務経験者で、各支部長の推薦を受けた者。「ファーストステップ研修会」実施時に必ず講師を行うことのできる者。
4. 定員 各会場100名(各支部1名は必須、2名以上の参加も可能)
5. 費用 5万円(資料代、講師登録料含む)。各支部1名の前期研修会についてのみ交通費を支給する。
6. 申込締切 東会場 10月5日(金)、西会場 11月1日(木)
7. 申し込み 名鉄観光サービス新霞が関支店(担当: 下枝、朝岡)  
東京都千代田区霞ヶ関3-3-2 新霞が関ビルロビー階  
TEL 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119
8. 問い合わせ 日本介護福祉士会事務局(担当: 川端) TEL 03-3507-0784

## 学会論文募集

下記の学会で発表する論文を募集しています。詳しくは、日本介護福祉士会のホームページで。

### 第5回日本介護学会

1. 日程 12月1日(土)
2. 会場 アクロス福岡(福岡県福岡市)
3. 参加費 会員 3000円、一般 1万3千円、学生 1000円
4. 記念講演 黒澤貞夫氏(前浦和大学学長)
5. 論文その他の問い合わせ  
日本介護学会事務局(日本介護福祉士会内 TEL 03-3507-0784)
6. 申し込み 名鉄観光サービス新霞が関支店(担当: 下枝、朝岡)  
TEL 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119

### 関東・甲信越ブロック研修会

1. テーマ 「介護福祉士と自立支援」～あなたの笑顔のために出来ること～
2. 日程 9月21日(金)~22日(土)
3. 会場 甲府富士屋ホテル(山梨県甲府市)
4. 定員 500名
5. 参加費 会員 2500円、一般 5000円、学生 1000円
6. 宿泊 洋室 1泊朝食付き(3名定員) 1万6500円(懇親会費込み)  
和室 1泊朝食付き(4名定員) 1万5500円(懇親会費込み)
7. プログラム
  - (第1日目) 9月21日(金)
    - 13:00~ 開会式
    - 13:30~ 基調講演「制度改革と介護福祉士への期待」  
厚生労働省(予定)
    - 15:20~ 記念講演「ヘルプマン」～あたりまえのことを描くことで  
伝えられる想い～  
くさか里樹氏(漫画家)
    - 18:00~ 懇親会
  - (第2日目) 9月22日(土)
    - 9:00~ 分科会
      - 第1分科会 「風」感染予防・口腔ケア
      - 第2分科会 「林」身体拘束・事故防止
      - 第3分科会 「火」介護予防・認知症予防・アクティビティ
      - 第4分科会 「山」ターミナルケア
    - 11:00~ 全体会 まとめ
    - 12:00~ 閉会式
8. 申し込み・問い合わせ 山交トラベルサービス(担当: 山本、佐野、古屋)  
TEL 055-222-1300 FAX 055-222-2313

### 近畿ブロック研修会

1. テーマ 今、問われる介護福祉士の使命と役割～プロの介護福祉士を目指して～
2. 日程 10月13日(土)
3. 会場 滋賀県立長寿社会福祉センター(滋賀県草津市)
4. 定員 約400名
5. 参加費(昼食代含) 会員 3000円、非会員 5000円、学生 1000円
6. プログラム
  - 9:30~ 開会
  - 10:00~ 記念講演「笑う介護の極意、教えます!」  
袖山卓也氏(有限会社「笑う介護士」代表取締役、有料老人ホームセントレアライフ常滑 総括マネージャー)
  - 12:30~ 基調講演「社会福祉士及び介護福祉士法の改正について」  
厚生労働省(予定)
  - 13:30~ マスゲーム
  - 14:00~ 事例発表(4事例)
    - ・障害者関係
    - ・特別養護老人ホーム
    - ・高齢者グループホーム
    - ・地域密着
  - 15:10~ シンポジウム  
コーディネーター 山崎イチ子氏(花園大学社会福祉学部教授)
  - 16:10 閉会
7. 申込締切 9月20日(木)
8. 申し込み・問い合わせ 滋賀県介護福祉士会事務局(担当: 高橋、山本)  
TEL 077-567-3925 FAX 077-567-3928

介護福祉士向け専門情報誌

## 介護福祉

- ☆発行回数 年4回/春・夏・秋・冬号
- ☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)
- ☆申込み先 財団法人 社会福祉振興・試験センター  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6  
TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514  
インターネットによる申込 <http://www.sssc.or.jp>  
郵便振替口座 00120-5-138401

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

春号(19年3月発行) 特集「入浴の介助」

夏号(19年6月発行) 特集「介護人材を育て、活かす」

# 社団法人 日本介護福祉士会

## 役員候補者選出に関する公示

平成19年10月15日  
社団法人日本介護福祉士会  
選挙管理委員会

以下のとおり、社団法人日本介護福祉士会の役員候補者選出を行いますので公示します。

1. 選出する役員候補者の構成および人数  
正会員以外の理事 9人  
正会員理事 19人  
(正会員理事の内訳)  
(1) ブロック選出理事 6人(下記6ブロック各1人)  
北海道・東北、関東・甲信越、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州  
(2) 全国選出理事 13人
  1. 選出する役員の任期  
平成20年5月の通常総会から平成22年の通常総会まで
  1. 選出時期および選出方法  
(1) ブロック選出理事  
平成19年11月30日(金)  
ブロック内支部会長により構成するブロック選考委員会の合議によって選出する。  
(2) 全国選出理事  
平成20年1月21日(月)  
全国選出理事立候補者に対する代議員の郵送による投票により、票数上位13人を当選者とし選出する。
  1. 全国選出理事立候補の受付  
＜立候補受付期間＞  
平成19年11月14日(水)から11月29日(木)  
郵送によることとし、締切日の消印を有効とする。  
＜受付先＞  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎ノ門ビル3階  
社団法人日本介護福祉士会選挙管理委員会
  1. 立候補者の要件  
①立候補者は、正会員でなければならない。  
②立候補者は、正会員20人による推薦がなければならない。
  1. 立候補の方法  
立候補は、別記様式「社団法人日本介護福祉士会役員立候補届」および「社団法人日本介護福祉士会役員立候補者推薦書」(20人分)を併せて郵送により提出する。
  1. 禁止事項  
①ブロック選出理事は全国選出理事に立候補することはできない。  
②推薦者は同時に複数の立候補者を推薦することはできない。  
③推薦者は立候補できない。  
④選挙管理委員は立候補できない。また、立候補者を推薦できない。  
⑤代議員は立候補できない。立候補する場合は代議員を辞任しなければならない。
- ※補足  
①選挙管理委員会は、役員選出にかかる事務すべてを管理します。  
②別記様式「立候補届出用紙」および「推薦書」は、請求により本会事務局より送付いたします。また、本会ホームページからもダウンロード(PDF書類)が可能です。  
③立候補者名簿は、12月15日に本会ニュースおよびホームページを通じて公示します。  
④正会員以外の理事候補者および監事候補者は、規定により本年度内の理事会において選出します。  
⑤選挙管理委員会は、役員候補者名簿(正会員以外の理事、ブロック選出理事、全国選出理事、監事各候補者の名簿)を整え、平成20年度通常総会に提出します。総会において役員を選任(承認)を行います。  
⑥総会において役員の承認が得られ、正式に理事に就任した後理事会を開催して、予め「役職選考会」で内定した候補者を役職者に決定します。

## 次期役員選挙を公示

日本介護福祉士会選挙管理委員会  
期役員候補者選出に関する公示を行った。役員選出を三回目に公示する。

日本介護福祉士会生涯研修制度検討委員会はこのほど、生涯研修制度の運用に関する規定等を発表し、制度の運用を平成19年4月にさかのぼって開始した。日本介護福祉士会は平成12年から生涯研修制度の確立を目指して検討を行ってきたが、7年目にしてようやく実現の運びとなった。(関連12〜6面)

このほど発表された諸規定は、「生涯研修制度」  
「個別研修の説明」「研修修了後の認定」「生涯研修ポイント制度」「生涯研修制度免除規定」の五つである。  
今後、実践の中で改善することも予想されるが、当面はこれら運用していくことになる。また、制度を充実させるために認証機関等の

「個別研修の説明」は、それぞれの研修内容を例示したもの。研修の内容が時期や場所によって異なるのでは制度として運用することができず、恣意的な研修と見なされてしまう。それは社会的な評価を受けることは望めない。

「研修修了後の認定」は、会員が個別研修を受講した後で受け取る証明について定めたもの。日本介護福祉士会が主催する研修は、中

央研修として全国やブロックから受講生を募集して行うものと、各支部がその都道府県内の会員を対象に行う支部研修の二種類がある。中央研修では七つ、支部研修では二つの研修に修了証書(5面)が発行され、ポイントが付く。修了証書の発行と登録手数料は研修参加費用に含む。

「生涯研修ポイント制度」は、会員の研修実績をポイントにデジタル化して表現するもの。ポイント数が多ければそれだけ研修を修了した

ことになり、このポイントによって優先して受講できる研修が組まれている。ポイントは受講した時間を基本に計算する。全国大会、日本介護学会、ブロック研修はポイントが決まっているが、それ以外の研修は四十五分を一時間に換算して、一時間当たり〇・五ポイントとした。

他団体主催の研修については、全国社会福祉協議会と長寿社会開発センターの二団体が行う研修をポイントの対象にした。これらの研修を修了した会員は、例示してある「他団体研修認定書」(4面)を日本

介護福祉士会会長に提出して手続きを踏めば、日本介護福祉士会のポイントに加算することができる。

ポイントが何ポイントだったか研修を修了した時点で何時間修了したかは各自で算出する。

「生涯研修制度免除規定」は、これまでに実施された初任者研修、ファーストステップ研修、介護実習指導者研修、サービス提供責任者研修の四研修について、平成14年度までにさかのぼり、既修了者に対して生涯研修制度の同研修を修了したものと見なすために設けられた暫定的・経過措置の規定である。運用期間は平成二十四年三月までとしている。

これに該当する会員は、例示してある「研修受講免除書」(4面)を支部長に提出して、該当する研修が受講済みであることを確認する。

# 生涯研修制度スタート

介護福祉士会会長に提出して手続きを踏めば、日本介護福祉士会のポイントに加算することができる。

## 第4回常任理事会開く

九月六日に開催した第四回常任理事会では、次の事項が協議された。

①今後の学会及び全国大会開催地については、平成二十二年全国大会は宮崎県、平成二十三年度日本介護学会は沖縄県で開催することが承認された。

②選挙管理委員会より第一回委員会報告があり、選挙管理委員長に愛媛県の浅田氏が選任され、選挙告示の準備を行った。

その他

①新潟県中越沖地震災害派遣ボランティアについて報告があった。新潟県中越沖地震災害派遣ボランティア活動報告を参照のこと。

②平成二十年度の通常総会は五月二十四日と決まる。場所は未定。

③カリキュラム検討委員会は、「現在、介護福祉士養成カリキュラムの見直しが行われ、それに併せて介護福祉士養成施設協会が作業委員会が立ち上がっている。本会も職能団体として望ましい介護福祉士像を示していくことは大切であり、そのため会としてどのように考えていくかを検討する事を目的に委員会を立ち上げた」という旨の報告があった。

## 全国大会・日本介護学会 開催準備進む

十一月二、三日に広島県広島市で開催される第十四回全国大会の準備が進められている。

開催地である広島県介護福祉士会は、当日のボランティアスタッフ約百名に仕事の割り振りを行っている。メイン会場となる広島

十一月二、三日に広島県広島市で開催される第十四回全国大会の準備が進められている。

開催地である広島県介護福祉士会は、当日のボランティアスタッフ約百名に仕事の割り振りを行っている。メイン会場となる広島

国際会議場との打ち合わせもほぼ終了し、千羽鶴の準備に取りかかっている。

懇親会も楽しんでいただくことを企図している。

リーガルロイヤルホテル広島は、市内でもトップクラスのホテルで、懇親会場のロイヤルホールも豪華な部屋である。

そこで披露される広森神楽団「舞」は、太古の日本に舞台を求め、天照大御神の弟、武甕槌彦尊(たけはやすさのみこと)と大蛇の一騎打ちを演じる。

日本介護学会は全国大会の一月後の十二月二日に福岡県福岡市で開催される。記念講演は、前浦和大学学長の黒澤貞夫氏が行う。

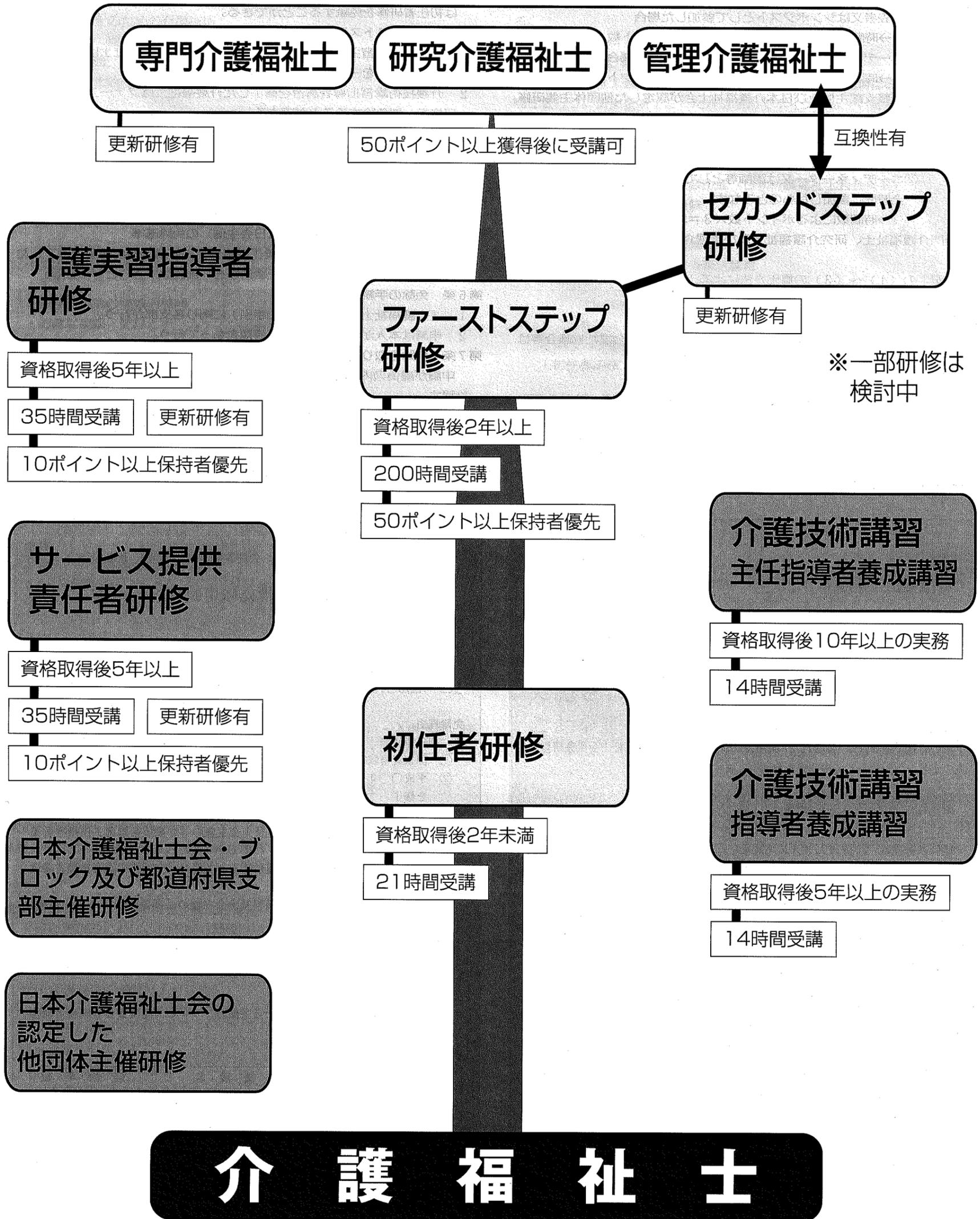
多くの会員の参加を期待します。



# 生涯研修制度の手引

## 日本介護福祉士会生涯研修制度図

(平成19年10月)



# 生涯研修制度ポイント制度

- 1 日本介護福祉士会主催、ブロック主催、都道府県支部主催研修について
- (1) 45分間で1時間と換算する。
  - (2) 1時間の研修修了で0.5ポイントとする。
  - (3) 以降1時間増すごとに0.5ポイントずつ加算する。
  - (4) ただし、以下の研修は研修時間に関係なく次のポイントとする。
    - ①全国大会=10ポイント
    - ②日本介護学会=7ポイント
    - ③ブロック研修=7ポイント
- 以下の場合には別途ポイントを加算する。
- (5) 日本介護福祉士会主催及びブロック主催研修において
    - ①発表者又はシンポジストとして参加した場合  
→時間によるポイント数×3=取得ポイント数
    - ②コーディネーター又は講師等として参加した場合  
→時間数によるポイント数×5=取得ポイント数
  - (6) 都道府県支部主催及び日本介護福祉士会が認定した他団体主催研修において
    - ①発表者又はシンポジストとして参加した場合  
→時間によるポイント数×2=取得ポイント数
    - ②コーディネーター又は講師等として参加した場合(該当研修の全時間に参加したものとみなす)  
→時間数によるポイント数×3=取得ポイント数
- 2 専門介護福祉士、研究介護福祉士及び管理介護福祉士分野の研修について
- 上記1の(1)～(3)の算出方法によるポイントに1.5を乗じたポイントを取得ポイント数とする。
- 3 他団体主催の研修について
- ・全国社会福祉協議会(都道府県社会福祉協議会・市社会福祉協議会等は除く)
  - ・長寿社会開発センター
- 以上2団体が実施する研修についてはポイント対象とする(資格取得に関する研修は除く)。ポイントの換算は、1-(1)から(3)に準ずる。
- ポイント制度の認定を受けようとする者は、研修の要綱(コピー可)、生涯研修手帳(押印のため)と140円切手を同封して、他団体研修認定伺い書を日本介護福祉士会事務局宛に送付する。

# 生涯研修制度免除規定

- 第1条 免除規定の基本方針・考え方
- 1 この免除規定は、平成14年度以降に実施された日本介護福祉士会主催の以下の4つの研修(第2条から第5条)について、暫定的措置・経過措置として設定されたものである。
  - 2 この免除規定は、日本介護福祉士会会員を対象とする。
  - 3 新たに入会した介護福祉士は初任者研修から受講するものとする。
- 第2条 初任者研修の免除基準
- 1 国家資格取得後、3年以上の実務経験を有する介護福祉士は初任者研修を免除することができる。
  - 2 本会が主催した初任者研修(または現任研修)を修了した介護福祉士は初任者研修を免除することができる。
- 第3条 ファーストステップ研修の免除基準
- 1 介護技術講習主任指導者養成講習を修了した介護福祉士はファーストステップ研修を一部免除することができる。
  - 2 介護技術講習指導者講習を修了した介護福祉士はファーストステップ研修を一部免除することができる。
  - 3 基礎研修Ⅲモデル事業を修了した介護福祉士はファーストステップ研修を一部免除することができる。
- 第4条 介護実習指導者研修(日会主催)の免除基準
- 本会が主催した施設実習指導者と実習指導教員のための研修を修了した介護福祉士は、介護実習指導者研修を一部免除することができる。
- 第5条 サービス提供責任者研修(日会主催)の免除基準
- 本会が主催したサービス提供責任者実務者研修講師養成講座を修了した介護福祉士は、サービス提供責任者研修を一部免除することができる。
- 第6条 免除の手続き
- 1 「介護福祉士生涯研修制度の手引」に則り各支部が行う。
  - 2 申請は本人が支部長に対して書類をもって行う。
- 第7条 免除の取り消し
- 申請が虚偽の内容でなされた場合は、不正が認められた時点で免除を取り消す。
- 第8条 免除規定の実施および終了
- 本規定は平成19年4月より実施され、平成24年3月で終了となる。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

日本介護福祉士会会長殿

会員番号〇〇〇〇〇〇 氏名〇〇〇〇〇〇

### 他団体研修認定伺い書

下記の日程で催される(催された)研修会について、日本介護福祉士会生涯研修制度のポイント対象としての認定をお願いします。

研修名 〇〇〇〇〇〇〇〇研修

研修主催者名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

研修日程 平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日

研修内容(簡単に記載し要綱など別添のこと)

研修受講者名  
 会員番号 〇〇〇〇〇〇  
 氏名 〇〇〇〇〇〇  
 住所 〒〇〇-〇〇〇 〇〇県〇〇〇市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 連絡先 電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇

事務局使用欄

受付日	受付者氏名	手帳返送日	備考
月 日		月 日	

平成〇〇年〇〇月〇〇日

日本介護福祉士会〇〇県支部長殿

会員番号〇〇〇〇〇〇 氏名〇〇〇〇〇〇

### 研修受講免除申請書

免除を申請する研修(レ点でチェックして下さい)

<input type="checkbox"/> 初任者研修	<input type="checkbox"/> ファーストステップ研修
<input type="checkbox"/> 介護実習指導者研修	<input type="checkbox"/> サービス提供責任者研修

免除理由

- 1 初任者研修
  - ① 国家資格取得後、実務経験〇〇年(下記欄に実務経験を記入すること)
  - ② 平成〇〇年度時、〇〇〇〇介護福祉士会主催の初任者研修又は現任研修を修了
- 2 ファーストステップ研修
  - ① 平成〇〇年度時、日本介護福祉士会主催の「介護技術講習主任指導者養成講習」を修了
  - ② 平成〇〇年度時、〇〇県介護福祉士会主催の「介護技術講習指導者養成講習」を修了
  - ③ 平成〇〇年度時、〇〇県介護福祉士会主催の「基礎研修Ⅲモデル事業」を修了
- 3 介護実習指導者研修  
平成〇〇年度時、日本介護福祉士会主催の「施設実習指導者と実習指導教員のための研修」を修了
- 4 サービス提供責任者研修  
平成〇〇年度時、日本介護福祉士会主催の「サービス提供責任者実務者研修講師養成講座」を修了

実務経験

施設種別	施設名	経験年数
		年 月
		年 月

事務局処理欄

処理日	月 日	処理者氏名	可・不可
-----	-----	-------	------

# 生涯研修制度の仕組み

## 個別研修の説明

【初任者研修】(資格取得後2年未満・免除規定あり・21時間受講)

「介護福祉士としての基本的な資質向上」として以下の内容となる。

- ・介護福祉士の専門性と職業倫理
- ・介護福祉士の法律と関連する制度政策
- ・介護福祉士の基本的態度
- ・介護福祉士のための介護技術
- ・介護過程の展開
- ・記録と報告
- ・介護福祉士のための医学知識
- ・福祉用具の意義と活用

【ファーストステップ研修】(資格取得後2年以上・免除規定あり・50ポイント保持者優先・200時間受講)

「中級管理者レベル・チームリーダー研修」として以下の内容となる。

- ・利用者の全人的理解、尊厳の理解とその展開
- ・対人援助職の倫理と理解とその展開
- ・コミュニケーション技術の応用的な展開
- ・コミュニケーション技術の応用的な展開(認知症)
- ・ケア場面での気づきと助言(1)(2)
- ・家庭や地域の支援力の活用と強化
- ・職種間連携の実践的展開
- ・的確な観察・記録とチームケアへの展開
- ・中堅職員としてのリーダーシップ
- ・セーフティマネジメント
- ・問題解決のための思考法
- ・介護職員の健康・ストレス管理
- ・自職場の分析
- ・総合学習

【セカンドステップ研修】(専門・研究・管理との互換性あり)一検討中—  
複数ユニット・事業管理者としての知識の習得、技術の修得を行う。  
ファーストステップ研修修了後50ポイント取得後に受講可能。

【専門介護福祉士・研究介護福祉士・管理介護福祉士】(ファーストステップ  
研修修了後50ポイント取得後に受講可能)一検討中—  
エキスパートを育てる研修。

《専門介護福祉士》認知症・アクティビティ・ケアマネジメント・リハビリ  
テーション介護・住環境整備・児童・身体障害・精神障  
害・知的障害(高齢者以外の障害に対する知識・技術・  
ターミナルケア・ALS患者への痰の吸引等含む)

《研究介護福祉士》キャリア開発支援システムの開発・実務研修講師・養成  
施設講師・外部研修講師・論文指導・研究方法・介護学  
の構築・講師テキストの作成

《管理介護福祉士》サービスシステムの管理(整備・改善)・人事管理、経  
営、会計に関する指導教育計画の立案・他機関との連絡  
調整、社会資源の開発

【介護実習指導者研修】(免除規定あり・10ポイント保持者優先)

実習生に対してのスーパービジョンを行い、教育機関との連携も図り、将  
来の介護福祉士を育てる。

【サービス提供責任者研修】(免除規定あり・10ポイント保持者優先)

訪問介護事業所におけるサービスの質の管理や、事業所の管理を行える知  
識を習得。

【介護技術講習】《主任指導者養成講習》《指導者養成講習》

介護技術講習における指導者の養成講習(別途受講資格要件有)

以下の内容から成り立っている。(主任指導者、指導者共通)

- ・介護技術講習の目的・介護の倫理
- ・介護過程の展開(1)(2)
- ・コミュニケーション技術
- ・排泄の介護
- ・食事の介護
- ・衣服の着脱の介護
- ・入浴の介護
- ・移動の介護等
- ・総合評価

【日本介護福祉士会主催研修】

日本介護福祉士会、ブロック、各支部のそれぞれが主催する研修。

## 研修修了後の認定

1 修了証書の発行

日本介護福祉士会名で実施の研修については、

- ・社団法人日本介護福祉士会 会長
- ・社団法人日本介護福祉士会 各支部長

2つの名義でそれぞれ修了証書を、各主催事務局より研修修了後に発行す  
る。

発行には手数料・証書代金がかかる。(研修費に含む)

2 研修履歴と、ポイントの記載について

日本介護福祉士会主催研修については、研修履歴の管理は研修主催者が手  
続きを行う。研修を修了された方は各自でポイント数を、生涯研修手帳に受  
講研修名等と共に記載して下さい。

3 修了証書の対象について

平成19年4月1日以降に修了証書を発行する研修は以下の通りである。

○社団法人日本介護福祉士会主催(日本介護福祉士会会長名)

- ・ファーストステップ研修
- ・介護実習指導者研修
- ・サービス提供責任者研修
- ・介護技術講習主任指導者養成講習
- ・介護技術講習指導者養成講習
- ・リーダー研修
- ・(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修

○社団法人日本介護福祉士会 各支部主催(各支部長名)

- ・初任者研修

研修記号-○○○○○

## 修了証書

○○ ○○様  
(会員番号○○○○○○○)

あなたは、平成○○年○○月○○日に  
実施された「初任者研修」を修了した  
ことを証します。

平成○○年○○月○○日

社団法人日本介護福祉士会○○○支部  
支部長 ○○○○○ 印

※支部の初任者研修修了証書の例

《参考》

# 日本介護福祉士会が実施した研修一覧

研修名	実施主体	1994 (平成6)	1995 (平成7)	1996 (平成8)	1997 (平成9)	1998 (平成10)	1999 (平成11)	2000 (平成12)	2001 (平成13)	2002 (平成14)	2003 (平成15)	2004 (平成16)	2005 (平成17)	2006 (平成18)	2007 (平成19)	備考
全国大会	日介	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	発足当初の名称「全国研修会」が示すように、全国の介護福祉士が一堂に会して行う研修である。
ブロック研修	ブロック	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実践研究発表が主たる内容で、全国6ブロックがそれぞれ開催している。
ブロック・リーダー研修	ブロック			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
学習会	日介	○	○													各県代表者による介護行政課題の学習。2回目は内容がリーダー研修となり、3回目以降は消滅。
公開シンポジウム	日介												○	○		介護保険制度の見直し、高齢者虐待防止。
日独交流シンポジウム	日介												○			日介と交流のあるドイツの職能団体を招聘して、学会の併設行事として行った。
支部研修会	支部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各支部が計画し、実施する研修。
ケアプラン実務者研修	日介			○	○											介護保険導入のための事前研修。
ブロック・ケアプラン実務者研修	ブロック				○	○										介護保険導入のための事前研修。
ブロック・ケアプランセミナー	ブロック						○									介護保険導入のための事前研修。
ケアプラン作成・手法講座	日介					○										介護保険導入のための事前研修。
ケアマネジメント事例研究	日介				○											介護保険導入のための事前研修。
ケアマネジメント実務者研修	日介				○											介護保険導入のための事前研修。
ケアマネジメント・リーダー研修	日介				○											介護保険導入のための事前研修。
介護支援専門員養成講座	日介				○	○										介護保険導入のための事前研修。
介護支援専門員フォローアップセミナー	日介						○									介護保険導入のための事前研修。
要介護認定実務者研修	日介						○									介護保険導入のための事前研修。
ブロック・ケアマネジメント研修	ブロック							○	○	○	○					介護保険実施のための研修。
介護支援専門員実務研修講師養成研修	日介							○								介護保険実施のための研修。
介護支援専門員現任研修	日介									○	○	○		○	○	介護保険実施のための研修。(日介方式ケアプランの研修)
ブロック・ケアマネジャー・リーダー研修	ブロック										○					介護保険実施のための研修。
介護支援専門員レベルアップ研修	日介												○			介護保険実施のための研修。
専任教員実務者研修	日介				○											後継者育成を課題に、養成施設教員を中心の研修。
介護福祉士教育のあり方研究大会	日介					○										後継者育成を課題に、養成施設教員を中心の研修。
教員養成研修	日介							○	○							後継者育成を課題に、養成施設教員を中心の研修。
施設実習指導者と実習指導者のための研修	日介									○	○	○	○	○		養成施設の教員と施設の実習指導者の研修。
介護実習指導者研修試行事業	日介														○	
全国リーダー研修	日介					○										
介護福祉士リーダー研修	日介							○	○	○	○	○				現任研修の講師養成。
介護福祉士リーダー研修(講師養成)	日介													○	○	ファーストステップ講師養成。
介護福祉士フォローアップ研修	日介							○								
現任研修講師養成講座	日介					○	○									現任研修導入のための事前研修。
現任研修	支部						○	○	○							全支部で現任研修を始める。
初任者研修	支部									○	○	○	○	○	○	全支部で初任者研修を始める。
介護基礎学	日介						○									介護の学術的基礎についての研修。
日本介護学会	日介										○	○	○	○	○	毎年1回開催。
サービス提供責任者研修	日介							○								訪問介護計画書の考え方と作成方法についての研修。
サービス提供責任者研修	支部													○	○	訪問介護適正化事業の研修。
サービス提供責任者実務者研修講師養成研修	日介								○	○	○	○		○		訪問介護適正化事業のサービス提供責任者研修の講師養成。
サービス提供責任者研修試行事業	日介														○	
介護相談員研修	日介								○							
管理者(運営者)セミナー	日介										○	○	○	○		介護保険事業の施設・在宅の管理者・運営者を育成する研修。
専門性の確立を目指す研修会	日介										○	○	○			痴呆性高齢者ケア、キネステティック介護技術、研修主催者と講師のための接遇。
専門性向上研修(講師養成研修)	日介												○	○		介護技術の講師のための接遇、認知症介護を例に講義法。
介護技術講習主任指導者養成講習	日介												○	○	○	介護技術講習の講師養成研修。
介護技術講習指導者養成講習	支部												○	○	○	介護技術講習の講師養成研修。
認知症専門介護福祉士モデル事業(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修	日介													○		認知症専門介護福祉士の養成プログラム検討。
ファーストステップ研修試行事業	日介													○		
ファーストステップ研修	支部														○	平成19年度から支部で実施。

# 支部の研修

※研修参加の際は、生涯研修手帳をお忘れなく!

## 秋田県介護福祉士会

### 【ステップアップ研修】

▽日程 十月二十六日(金)

▽会場 秋田県児童会館講堂

▽定員 五十名(会員・準会員のみのみ)

▽参加費 五百円(昼食代)

▽お問い合わせ・申し込み先 千葉県介護福祉士会(043・248・1451)

## 東京都介護福祉士会

### 【現任研修会】

▽日程 平成二十年一月十三日(日)

▽会場 北とぴあ

▽定員 三十名(介護福祉士七名)

▽参加費 無料、一

▽お問い合わせ・申し込み先 秋田県介護福祉士会(090・2027・0294)

## 千葉県介護福祉士会

### 【研修会】

▽日程 十一月十日(土)

▽会場 千葉県社会福祉センター大研修室

▽定員 八十名

▽参加費 会員・準会員 五百円、一般 三千円

▽お問い合わせ・申し込み先 千葉県介護福祉士会(090・2027・0294)

## 新潟県介護福祉士会

### 【ファーストステップ研修】

▽日程 十一月十日(土)

▽会場 新潟県社会福祉センター大研修室

▽定員 八十名

▽参加費 会員・準会員 五百円、一般 三千円

▽お問い合わせ・申し込み先 新潟県介護福祉士会(025・281・5331)

## 静岡県介護福祉士会

### 【介護技術ステップアップ研修会】

▽日程 十一月六日(火)

▽会場 サンクア21

▽定員 五十名

▽お問い合わせ・申し込み先 静岡県介護福祉士会(054・233・0818)

▽日程 十一月一日(木)

▽会場 有料老人ホーム

▽定員 三十名(両日とも)

▽参加費 会員 四千円、一般 八千円

▽お問い合わせ・申し込み先 静岡県介護福祉士会(054・233・0818)

## 石川県介護福祉士会

### 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 石川県地場産業振興センター新館

▽定員 二百五十名

▽参加費 (材料費込み) 会員 二千五百円、一般 五千円、学生 千五百円

▽お問い合わせ・申し込み先 石川県介護福祉士会(076・234・1151)

## 京都府介護福祉士会

### 【合同研修会】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 淀之水高等学校

▽定員 三百名

▽参加費 五千円

▽お問い合わせ・申し込み先 京都府介護福祉士会(075・801・8060)

## 長崎県介護福祉士会

### 【研修会】

▽日程 十一月十七日(土)

▽会場 諫早市社会福祉会館

▽定員 八十名

▽参加費 正会員千円、非会員二千円

▽お問い合わせ・申し込み先 長崎県介護福祉士会(095・222・3710)

## 沖縄県介護福祉士会

### 【サービス提供責任者実務研修(初任者)】

▽日程 十一月十七日(土)

▽会場 沖縄県総合福祉センター

▽定員 五十名

▽お問い合わせ・申し込み先 沖縄県介護福祉士会(098・887・3344)

▽定員 七十名

▽対象 大阪府内在住の介護福祉士

▽受講料 無料

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

▽定員 七十名

▽対象 大阪府内在住の介護福祉士

▽受講料 無料

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

▽定員 七十名

▽対象 大阪府内在住の介護福祉士

▽受講料 無料

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

▽定員 七十名

▽対象 大阪府内在住の介護福祉士

▽受講料 無料

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

▽定員 七十名

▽対象 大阪府内在住の介護福祉士

▽受講料 無料

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

▽定員 七十名

▽対象 大阪府内在住の介護福祉士

▽受講料 無料

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 【介護福祉士国家試験全国一斉模範試験】

▽日程 十一月九日(日)

▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館

▽定員 二百五十名

▽参加費 二日間で約十四時間

▽お問い合わせ・申し込み先 宮崎県介護福祉士会(098・887・3344)

## 中央研修やブロック研修を次々に開催

七月は、大阪府の新丸ビル新館で二十八日から二十九日まで、「ファーストステップ講師養成フォローアップ研修会」(西会場)が行われた。すでに開催された東会場と合わせて七十二名が本研修を修了した。

八月には介護技術講習主任指導者養成講習会が、二十五、

### 北海道・東北ブロック研修会

1. テーマ 介護福祉士「新たな期待と使命」  
—「トータルケアワーカー」を目指して—
2. 日程 11月22日(木)～23日(金)
3. 会場 ハーネル仙台  
(宮城県仙台市青葉区本町2-12-7)
4. 参加人員 300名
5. 参加費 会員 1000円、非会員・一般 3000円、学生 無料  
懇親会費 5000円
6. 内容  
 (第1日目) 11月22日(木)  
 12:00～ 受付  
 12:45～ 開会式典  
 13:30～ 基調講演 厚生労働省(予定)  
 15:10～ 記念講演  
 講師:田中雅子(日本介護福祉士会名誉会長)  
 18:00～ 懇親会(ホテル法華クラブ仙台)  
 (第2日目) 11月23日(金)  
 9:30～ シンポジウム  
 「認知症高齢者の生活を支えるためのカンファレンスの実際」  
 シンポジスト 加藤 誠氏(介護老人保健施設せんだんの丘相談室副室長)  
 山田殊美氏( // 介護支援専門員)  
 松永小枝子氏( // 介護士長)  
 若生利津子氏( // 栄養口腔ケア室主任)  
 齋藤宏樹氏( // 作業療法士)  
 遠藤忠宣氏(せんだんの丘指定居宅介護支援事業所管理者)  
 コーディネーター 蓬田隆子氏(宮城県認知症グループホーム連絡協議会会長)  
 11:30～ 開会式典  
 7. 申込締切 11月1日(木) 必着  
 8. 申し込み・問い合わせ 名鉄観光サービス仙台支店(担当:小山・村上)  
 TEL 022-227-3611 FAX 022-261-4623  
 E-mail: 1-sendai@mwt.co.jp  
 9. その他の問い合わせ 宮城県介護福祉士会事務局  
 TEL 022-393-8557 FAX 022-393-8558

### 東海・北陸ブロックリーダー研修会

1. テーマ 「認知症の理解」—センター方式を使用して—
2. 日程 11月24日(土)
3. 会場 静岡県労政会館  
(静岡県静岡市黒金町5-1)
4. 定員 80名
5. 参加費 会員 1000円、一般 3000円、学生 1000円  
交流会費 6000円程度
6. 講師 助川末枝保氏(特別養護老人ホームじょうもんの郷施設長)
7. プログラム  
 9:40～ 受付  
 10:00～ 講義  
 13:00～ 講義・演習  
 16:00～ まとめ  
 18:00～ 交流会(別会場)  
 8. 申込締切 10月31日(水) 必着  
 9. 申し込み・問い合わせ 静岡県介護福祉士会事務局  
 TEL 054-253-0818 FAX 054-253-0829

### 介護支援専門員現任研修会

～ICFの視点を含めた日本介護福祉士会方式  
アセスメント・ケアプラン(改訂版)を学ぶ～

1. 日時 12月7日(金)～9日(土)
2. 会場 TKP御茶ノ水会議室  
(東京都千代田区神田淡路町2-11 加藤ビル3階)
3. 参加対象  
 ①社団法人日本介護福祉士会会員  
 ②介護技術講習主任指導者養成講習および指導者養成講習の修了者  
 ③その他一般
4. 定員 100名
5. 申込締切 11月30日(金) 必着
6. 内容  
 (第1日目) 12月7日(金)  
 事例を中心に日本介護福祉士会方式アセスメントについて理解を深める。  
 (第2日目) 12月8日(土)  
 介護予防の事例を基に、アセスメント、ケアプラン、評価について学ぶ。  
 (第3日目) 12月9日(日)  
 介護サービスの事例を基に、アセスメント、ケアプラン、評価について学ぶ。  
 7. 申込方法 申し込み用紙に必要事項を記入の上、日本介護福祉士会事務局  
 まで。研修当日は生涯研修手帳をご持参ください。  
 8. 参加費用 会員 3万円、一般 5万円(資料代含む)  
 昼食代 1000円  
 9. 問い合わせ先 社団法人日本介護福祉士会事務局  
 TEL 03-3507-0784 FAX 03-3507-8810

### 新潟県中越沖地震

### ボランティア活動を終了

七月に発生した新潟県中越沖地震の被災者に対する日本介護福祉士会のボランティア派遣活動は、地元の新潟県介護福祉士会と協力して、七月二十四日から八月十三日まで行われた。この間、日本介護福祉士会は延べ十名三十三日間、新潟県介護福祉士会は延べ五十七名百二十三日間のボランティアを避難所などに派遣し、入浴介助や介護予防などの活動を行った。

### ボランティアに参加して

私は平成十六年の中越地震の時にボランティアとして参加しました。地震発生後すぐに友人に連絡をとりました。今回の地震は海沿いの場所ですが、原発があることなどで、居ても立ってもいられない状況です。日介事務局より、ボランティア参加について連絡があり、八月一日始発で新潟に出発しました。飛行場も、新潟市内も何

ある。この間の各支部及び会員の皆様のご支援と協力に厚く感謝いたします。

のことでした。

ひとつ陰りはありませんでしたが、高速道路が波打っています。ブルーシートが家の屋根にかかっています。地震の後を物語っています。新潟県介護福祉士会のメンバーがボランティアのリーダーシップを担い、仕事を調整しながら、頑張っていました。福祉センターに到着し案内を受けました。動ける人は仕事か家の片付けに行き、昼間はいい(福岡・江頭希代子記)

介護福祉士向け専門情報誌

## 介護福祉

- ☆発行回数 年4回/春・夏・秋・冬号
- ☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)
- ☆申込み先 財団法人 社会福祉振興・試験センター  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6  
TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514  
インターネットによる申込 <http://www.sssc.or.jp>  
郵便振替口座 00120-5-138401

### 専門性が支える介護福祉の充実のために

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

夏号(19年6月発行) 特集「介護人材を育て、活かす」

秋号(19年9月発行) 特集「介護リスクマネジメント—サービスの質の向上を目指して—」

# 社団法人 日本介護福祉士会

## 福祉士法改正案が可決・成立

### 24年度から試験一元化

#### 社会的評価の向上が課題に

社会福祉士及び介護福祉士法の一部を改正する法律案は十一月二十八日、参議院本会議で賛成多数で原案通り可決され、成立した。福祉士法制定から二十年を経て、介護福祉士制度は、定義や義務規定の見直し、資格取得方法の一元化など大幅な改革が実施される。

参議院先議で六月に修正議決して衆議院に送付されていた同法案は、七月の参議院議員選挙を挟んで十一月六日に衆議院を通過、再度参議院の議決を必要とした。この間に厚生労働省が「社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針」(福祉人材確保指針)を告示したのは、法改正の環境整備に奏功したと言えよう。法案の内容は、六月の参議院での審議でほとんどの問題点は論議されていた。准介護福祉士の問題は法案が修正され、附則において「施行後五年を目処」に「検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずることが規定された。衆議院厚生労働委員会の審議では、社会福祉士に対する質疑が目立ったものの、介護福祉士に関するものは福祉人材確保指針や国家試験の受験者負担の軽減などで、ほとんどの意見が

ようとする人は、この間に合格しなければ、養成課程の勉強と併せて二十三十万円の費用がかかってくる。附帯決議にあるように負担軽減の配慮が強く望まれる。

#### カリキュラム検討委が報告書提出

介護福祉士の教育のあり方に関する検討会は十一月二十六日、厚生労働省社会・援護局長中村秀一氏に養成カリキュラムに関する中間まとめの報告書を出した。報告書は日本介護福祉士会ホームページに掲載。

## 正会員理事予定者出揃う

### 次期役員選出 全国選出理事は無投票

十月十五日に公示された次期役員選出について、十二月三日に選挙管理委員会が行われ、その結果が「役員候補者選出に関する公示」として発表された。全国選出理事は、定数十三名に対して立候補者が同数であったため選挙管理規則第十五条に基づき無投票による当選が決定した。

#### 役員候補者選出に関する公示

平成十九年十二月十五日 社団法人日本介護福祉士会 選挙管理委員会

正会員理事の全国選出理事立候補者がありましたので、以下のとおり公示します。△全国選出理事選挙について▽ 定数十三名に対し十三名の立候補があり、全員につ

ブロック名	氏名	所属支部名
北海道・東北	斎藤 幸子	山形県
関東・甲信越	山田 仁美	長野県
東海・北陸	外丸 妙美	石川県
近畿	吉本 香代	兵庫県
中国・四国	三橋 一久	鳥取県
九州	因利恵	福岡県

氏名	所属支部名
岡田 史	新潟県
羽山 政弘	北海道
野上 薫子	神奈川県
及川ゆりこ	静岡県
松本 光子	長野県
三浦 晃史	大分県
石橋 真二	香川県
田中 安平	鹿児島県
内田千恵子	東京都
山田 慶子	富山県
前田 薫	宮城県
木村 晴恵	京都府
草加 昭子	岡山県



## 第14回全国大会 広島で開催さる

第十四回全国大会は、介護福祉士制度ができてから二十年目の節目年に開催された。大会テーマはそのことを意識して設定し、以下のような二つの提言を行った。

- 1、介護の社会的認知を高めるために、職能団体としての機能をさらに充実します。
- 2、倫理綱領を遵守し、介護を必要とする人の尊厳を守り、「命と生活」の守り手になります。
- 3、魅力ある「職業」としての確立をめざし、やりがいと安心と誇れる職場づくりに努めます。
- 4、研修の質・量を充実し、受講しやすいシステムづくりと環境をつくれます。
- 5、社会の発展に寄与するために、介護に関する政策提言を行います。

#### 衆議院の附帯決議(抜粋)

政府は、本法の施行に当たって、次の事項について適切な措置を講ずべきである。一 介護福祉士の資質の向上を図るため、教育カリキュラム等の見直しに当たっては、養成施設ルート、福祉系高校ルート及び実務経験ルートのそれぞれにおいて、同等の水準の知識及び技能が担保されるよう措置すること。

二 社会福祉士及び介護福祉士の社会的評価に見合った処遇の確保を図るため、介護報酬の見直しならびに介護保険事業の充実等に努めること。三 福祉・介護労働の魅力を高めるため、「社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針」に基づき、施策として、社会福祉士及び介護福祉士の雇用管理や労働条件の改善の促進、生涯を通じた能力開発及びキャリアアップの支援、潜在マインドの就業促進等の実効性ある福祉・介護労働力確保対策を総合的に推進すること。

四 介護職員の任用については、介護福祉士を基本とすることを念頭に置きつつ、介護福祉士への円滑な移行を促進するため、その施策の在り方を十分検討すること。五 (略) 六 実務経験ルートに新



# 前後期研修の3事業 一斉に開催

### ○介護実習指導者研修試行事業

介護実習指導者研修試行事業の前期日程が十月二十六日、東京都新宿区で開催された。

これまでの実習は介護サービスを提供している全体から見ると狭い領域のなかで行われていたが、介護保険制度は施設から在宅という方向が示されており、実習で学ぶべきものは施設サービスも含めた在宅サービスにも着目していかなければならない。

それを踏まえて、力のある実習指導者の養成は必要不可欠となる。平成十八年度全国社会福祉協議会の「介護サービス従事者の研修体系のあり方について(厚生労働省老人保健健康増進等事業)」の報告書を参考に、日本介護福祉士会が取り組むべき研修として実施された。

受講生は普段から次代の介護福祉士を育てる立場にいる方から今後指導する立場になりたいという方が集って切磋琢磨した。

後期は十二月十五、十六日に行われる。

○リーダー研修会  
十月十九日より財団法人社会福祉振興・試験センターの助成を受け、本年度のリーダー研修会が開催されている。東会場、西会場の前期日程が終了した。

今年度のリーダー研修会は前年度のプロダムより大幅に変更し、受講生には考え、発表することを多く経験していただくという意

図がこめられている。

今後、後期日程で教授法を学び、このリーダー研修を修了した方々は介護福祉士のリーダーとして、次代の介護福祉士を育てるためのファーストステップ研修の講師として活躍することになる。そのため、前期日程終了後の課題は各テーマについて二十字、三つのテーマで計六千字と受講生には少々厳しいものとなった。

後期日程は東会場十二月二十一日・二十二日、西会場は十二月二十三日・二十四日に開催され、受講生は後期日程までにレポートを提出しなければならぬ。

○サービス提供責任者研修試行事業  
十一月十一日の両日、

また一日目終了後、受講生及び講師が参加し懇親会が行われた。懇親会では受講生同士の間でも増え、食事を採りながら各自の職場の現況等話し合っており、介護福祉の枠を超えた世間話等で盛り上がった。

また一日目終了後、受講生及び講師が参加し懇親会が行われた。懇親会では受講生同士の間でも増え、食事を採りながら各自の職場の現況等話し合っており、介護福祉の枠を超えた世間話等で盛り上がった。

また一日目終了後、受講生及び講師が参加し懇親会が行われた。懇親会では受講生同士の間でも増え、食事を採りながら各自の職場の現況等話し合っており、介護福祉の枠を超えた世間話等で盛り上がった。

また一日目終了後、受講生及び講師が参加し懇親会が行われた。懇親会では受講生同士の間でも増え、食事を採りながら各自の職場の現況等話し合っており、介護福祉の枠を超えた世間話等で盛り上がった。

## 新潟県中越沖地震災害支援に 感謝状と寄付贈呈

日本介護福祉士会は十一月一日、新潟県中越沖地震災害に関する支援活動に対して新潟県よりの感謝状を贈呈された。贈呈式には石橋真二会長が出席し、泉田裕彦新潟県知事から感謝状を手渡された(写真上)。

十一月十六日には、石橋会長が中央共同募金会を訪れ、斎藤十朗会長に義援金七十三万円を寄付した(写真下)。能登半島地震の時は石川県支部を通じて石川県社会福祉協議会へ義援金を寄付したが、今回は中



この度の中越沖地震における介護ボランティア活動について報告させていただく前に、まず、全国の皆様からいただきました様々なご支援に、この場をお借りいたしまして心よりお礼申し上げます。本誌にありがたいと思います。

被災状況とボランティアの必要性についての情報交換を行いました。今回は災害救助法に基づいて福祉避難所が設置され、在宅で要支援・要介護とされていた人々は一般の避難所ではなく、福祉避難所の専門的な見守りのなかで避難生活がとれるようになっていきました。この福祉避難所は新潟県老人福祉施設協議会が中心となり、会員施設からの職員派遣で運営されていきました。

新潟県から介護ボランティア派遣の依頼が来たのは地震発生後五日目の二十日です。在宅での介護ニーズの調査、避難所での介護予防事業、一般の避難

## 近畿ブロック 事例報告で活発な質疑 利用者本位の介護を研修

### 研修会

十月十三日、滋賀県立長寿社会福祉センターにおいて近畿ブロック研修会が開催された。開会にあたり、石橋真二日本介護福祉士会会長が主催者挨拶を述べ、

午後十時から「笑う介護の極意、教えます」と題して、有限会社「笑う介護士」代表取締役の山崎卓也氏による記念講演が行われた。

利用者本位の介護の在り方を、情熱を込めた語り口調で約一時間三十分

にわたって講演して下さった。

昼食後は、習田由美子氏(厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室・介護技術専門官)より、「社会福祉士及び介護福祉士の行政報告がなされた。

その後、ロビーにおいては、障書を持つ人たちに和太鼓演奏や手作り楽器演奏が盛大に行われ、研修会に参加頂いた会員・一般・学生の皆さんから拍手喝采がわき起こった。

事例発表では、コーディネーターに山崎イチ子氏(花園大学社会福祉学部社会福祉学科教授)を迎え、重症心身障害児施設 社会福祉法人ひむこ学園医療福祉センター草津、社会福祉法人ゆたか会 特別養護老人ホーム清風荘、認知症高齢者グループホーム 株式会社アイスクエアあたらハウス甘井、小規模多機能型施設 NPO法人しみんふくし滋賀、の皆さんの四事例が報告され、参加者から熱心な質問が寄せられ、質疑応答が交わされた。

## 書評 『介護現場のリスクマネジメント』

本書は介護のプロへの応援誌『ふれあいケア』(全国社会福祉協議会発行)に三年余にわたって連載された「介護現場のリスクマネジメント」の総集編です。「介護事故・サービス管理・財産管理・災害対策・個人情報保護・関係機関との連携」の六つのパートと三十五の事例で構成されています。どのパートも日常的に直面しがちな事例の問題提起を受けて、カンファレンスの実施で課題の焦点化を図り、さらに法律家の視点から解説しています。

介護サービスが社会サービスになり、契約などの取決めが必要になり、サービスの質が問われ、尊厳の保持と自立支援が求められる時代です。自立支援の実行過程にはさまざまなリスクが伴います。このリ

スクを最小にするのが専門性です。私たちは介護のプロとして、リスクを最小にする努力をしているかどうかを点検しなければなりません。

それは介護のプロの皆さまがどのような仕事をしたかと考えているのかという姿勢と重なります。

特に、介護現場におけるリスクマネジメントの課題は、介護サービスの考え方や介護技術のモデルの確立として介護サービスの標準化の議論でもあります。職場で理念や価値観を共有するために、また質の高いサービス提供を目標とするために座右に置いて、実践の参考にするをお勧めします。

本書は介護のプロへの応援誌『ふれあいケア』(全国社会福祉協議会発行)に三年余にわたって連載された「介護現場のリスクマネジメント」の総集編です。「介護事故・サービス管理・財産管理・災害対策・個人情報保護・関係機関との連携」の六つのパートと三十五の事例で構成されています。どのパートも日常的に直面しがちな事例の問題提起を受けて、カンファレンスの実施で課題の焦点化を図り、さらに法律家の視点から解説しています。

## ふれあいケア

2008年 1月号 12月20日発行

**特集 介護職員が語る「2008年、こんな年にしたい」**

- ◆ケアが多様化しているなかで、利用者の尊厳を保持するためにがんばっている介護職員はどのような課題をもって介護にあたっているのでしょうか。
- ◆本特集では、介護職員が2008年をどのようにしたいか夢を語ってもらいます。

---

**介護福祉士キャリアアップ誌上セミナー/介護過程におけるアセスメント/共有する記録/障害者支援の基礎知識/ICFの視点から認知症介護を見直そう/応援します!いきいきホームヘルパー/ほか**

2007年7月号 食の充実	2007年10月号 車いすのエキスパートになろう
2007年8月号 重度のひとへのケア	2007年11月号 認知症のひとの思いを受け止めよう
2007年9月号 仕事を工夫しよう	2007年12月号 ボランティアとの協働でパワーアップ

**定期購読申込み受付中!** [FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい] お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号、冊数」を忘れずにご記入下さい。バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。

●お申し込みは、書店、都道府県社会福祉協議会、または下記へ●

**全社協** 社会福祉 全国社会福祉協議会 出版部  
〒100-8980 東京都千代田区千代田3-3-2 新霞が関ビル  
TEL: 03-3581-9511

(注文用) FAX: 03-3581-4666 E-mail: zenshakyos@shakyo.or.jp

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ 福祉の本出版目録 <http://www.fukushinohon.gr.jp>

# (仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修

1. 日程 前期:平成20年1月19日(土)~21日(月)  
後期:平成20年2月2日(土)~3日(日)
2. 研修の基本的ねらい  
介護福祉士として、実践的な認知症介護に関する知識・技術を身につける。
3. 研修内容
  - ①認知症介護に関わる介護福祉士の専門性について学ぶ。
  - ②認知症高齢者の行動や心理、関わる側の介護行為の意味するところについて、介護の言語化を図ることを目的に、認知症介護に関わる軽度~重度に至る各段階の複数ケースの事例検討を行う。
  - ③生活支援における『生活』の意味するところと、介護福祉士として目指すべき認知症介護の基本理念についての理解を深める。
4. 講師 森 繁樹氏(障害者支援施設竜ノ口寮寮長)  
宮島 渡氏(高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ施設長)  
他著名講師陣
5. 受講対象者
  - ①日常的に認知症ケアを実践している人。
  - ②受講終了後、その学びを活かしリーダーとなれる人。
  - ③各支部より推薦を受けた人。
6. 定員 30名程度
7. 参加費用(宿泊費別途) 会員5万円 非会員7万円
8. 参加申し込み方法  
申込書に必要事項を記入の上、各都道府県介護福祉士会に申し込む。  
※受講には、都道府県支部長の推薦が必要です。
9. 問い合わせ先 社団法人日本介護福祉士会事務局  
TEL:03-3507-0784 FAX:03-3507-8810

## 支部の研修

- ※研修参加の際は、生涯研修手帳をお忘れなく!
- 茨城県介護福祉士会  
【介護福祉士国家試験対策講座実技指導】指導者事前勉強会  
▽日程 一月十九日(土)  
▽会場 茨城県総合福祉会館多目的ホール  
▽内容 「基本技術と応用の確認」  
▽定員 五十名  
【研修会】  
▽日程 一月二十七日(日)  
▽会場 茨城県総合福祉会館  
▽内容 「基本技術と応用の確認」  
▽定員 五十名
- 群馬県介護福祉士会  
【研修会】  
▽日程 一月二十六日(土)  
▽会場 群馬県社会福祉センター  
▽内容 「アセスメントツールの講義と事例説明」等  
▽講師 茨城県介護福祉士会役員(現介護支援専門員)  
▽参加費 会員 千円、会員以外 三千円  
【実技アセスメント指導講座】  
▽日程 内容 二月三日(日) 基本の部、十七日(日) 試験対策の部  
▽会場 茨城県総合福祉会館多目的ホール  
▽定員 共に五十名  
▽受講料 四千円(二日間受講は七千円)  
▽問い合わせ・申し込み先 茨城県介護福祉士会(029-3354-5322)
- 栃木県介護福祉士会  
【研修会】  
▽日程 一月二十四日(日)  
▽会場 東奥学園高等学校介護実習室  
▽問い合わせ・申し込み先 青森県介護福祉士会(017-7331-2006)
- 宮崎県介護福祉士会  
【ケアマネジメント研修会】  
▽日程 一月十三日(日)  
▽会場 宮崎県総合福祉センター  
▽内容 「ケアマネジメントについて」~社会保障制度活用による新たなケアマネジメント~  
▽講師 片岡靖子氏(久留米大学文学部社会福祉学科学科准教授)  
▽定員 百名  
▽受講料 会員 無料、会員外 三千円
- 滋賀県介護福祉士会  
【初任者研修】  
▽日程 三月六日(木)、十二日(水)、十五日(土)の三日間  
▽会場 滋賀県立長寿社会福祉センター(三日目は、華頂社会福祉専門学校)  
▽内容 「介護福祉士の専門性と職業倫理」「介護福祉士の法律と関連する制度施策」他  
▽対象者 介護福祉士資格取得後二年未満の方  
▽定員 四十五名  
▽受講料 会員 八千円、非会員 一万三千円  
▽問い合わせ・申し込み先 滋賀県介護福祉士会(077-567-3925)
- 神奈川県介護福祉士会  
【医療行為と隣り合わせの生活行為のガイドライン公開講座】  
▽日程 二月十一日(月)  
▽会場 東京しごとセンター  
▽定員 五十名  
▽受講料 三千円  
【オムツはし学会沖縄】  
▽日程 二月十一日(月)  
▽会場 読谷村総合福祉センター  
▽内容 「医療行為と隣り合わせの生活行為について」講師 篠崎良勝氏(八間・二十一時間のプログラムで行われており、十月二十七日に第一回が行われ、とりハリ研究所代表)▽参加費 二千円
- 福岡県介護福祉士会からのお願い  
「博多どんたく 港まつり」の参加者を募集します  
毎年ゴールデンウィーク期間中一番多くの人でにぎわう福岡市民の祭り「博多どんたく 港まつり」に、二〇〇八年度も福岡県介護福祉士会として七回目の参加をする運びとなりました。  
五月三日に行われるパレードに総勢百名以上にて参加していた去年までと趣向を変え、二〇〇八年度は全国の介護福祉士の皆様と共に、介護福祉士会をアピールしていただこうと思っております。  
是非とも全国からの多くの参加をお待ちしております。
- 福岡県介護福祉士会事務局  
TEL 092-474-7015  
FAX 092-436-5234
- 東京都介護福祉士会(03-5624-2821)  
【中堅職員のためのスキルアップ研修セミナー】  
▽日程 会場 第四回(一月二十六日(土))サンシッポ(富山県総合福祉会館)第五回(二月二十四日(日))富山県民会館  
▽内容 講師 第四回(「働きがいある職場づくり」燃え尽き症候群の対処法)堀田聡子氏(東京大学社会科学研究所助手)第五回(「認知症ケア」ICFの視点を活かしたケアプラン実践 諏訪さゆり氏(認知症介護研究・研修センター主任研修主幹)▽定員 五十名  
▽受講料 一講座当たり会員 二千五百円、非会員 四千円  
▽問い合わせ・申し込み先 富山県介護福祉士会(076-422-2442)

介護福祉士向け専門情報誌

# 介護福祉

- ☆発行回数 年4回/春・夏・秋・冬号
- ☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)
- ☆申込み先 財団法人 社会福祉振興・試験センター  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6  
TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514  
ホームページ <http://www.sssc.or.jp>  
郵便振替口座 00120-5-138401

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

冬号(19年12月発行) 特集「これからの認知症ケア」

春号(20年3月発行) 特集「介護におけるモチベーションとストレスマネジメント」

# 社団法人 日本介護福祉士会

## 第2回都道府県会長会開く

### 組織強化が最大の課題 意欲的に20年度事業計画を検討



平成十九年度第二回都道府県介護福祉士会会長会が一月二十五・二十六日の二日間、神奈川県横浜市のウィング横浜で開催された。議論は組織強化に関する事に集中した。

開会の後、後藤憲治氏(厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長補佐)から「介護福祉士制度の見直し等について」の講演を聞いた。テーマは「介護福祉士制度の見直し」と「人材確保指針の見直し」について、社会福祉士及び介護福祉士法の改正を始めて、厚生労働省が次々と打ち出している施策について詳しい説明がなされた。

### 会長・副会長の立候補 3月14日まで受け付け

選挙管理委員会は二月十五日付で、「役職者の互選に関する公示」を行った。四月まで受け付ける。

また、会員の所属支部が転居などで変更したときの事務処理についても、会費や会員の権利等についての手続が確認された。

岡山支部が法人化  
岡山県介護福祉士会は昨年五月から県と社団法人化の折衝を行ってきたが、一月八日、岡山県知事から社

### 教育内容等の見直しに意見提出

厚生労働省は昨年十二月十七日、「社会福祉士及び介護福祉士養成課程における教育内容等の見直し案」を発表し、一月十日締切でパブリック・コメントを募集した。これは、改正社会福祉士及び介護福祉士法が成立したことに伴って、新しい教育カリキュラムが平成二十一年四月一日から実施されることに伴うもの。

に提出していたが、今回のパブリック・コメントにも以下の意見を提出した。

#### 意見

●教育カリキュラム  
教育カリキュラムについては、日本介護福祉士会が平成十九年十一月に提出した「介護福祉士の教育のあり方に関する検討会報告書」の内容を十分に反映し、継続教育・生涯教育とあいまって「求められる介護福祉士」が養成できるような教育内容にするべく、介護福祉士を魅力ある職業として確立出来るような観点で見直ししていただきたい。

に欠かさない要素となること、以下の通り修正した方が望ましい。

役職者の互選に関する公示  
平成二十年二月十五日  
社団法人日本介護福祉士会  
選挙管理委員会

訂正 前号(八十三号)一面「福祉士法改正案が可決・成立」の記事中で、平成二十五年一月に行われる国家試験について「第二十四回」としていましたが、誤りですので削除します。

**第15回全国大会にご参加を**

- 日程 9月20日(土)～21日(日)
- 場所 伊香保温泉「ホテル天坊」(群馬県渋川市)

※開催要綱及び申込書は近日中に日介ホームページに掲載予定です。  
お申し込みは、国際トラベルサービス(株)(TEL 027-345-6700)まで。



# 日本介護学会記念講演

皆さん、こんにちは。皆さんにお会いするのは久しぶりですね。

私は重度の障害者の施設で三十年ほど、生活相談員などとして働いてきました。介護が行われていたのですが、当時は学問的にはほとんど確立されていませんでした。国立の場合は「看護助手」という肩書きでしたから、主導権は看護師にあったのです。

昭和六十三年に「社会福祉士及び介護福祉士法」ができて、ガラッと変わりました。そのころは、介護というものは介護技術中心でした。食事を差し上げるとか、おむつを交換するとか、お風呂を介助するとかで、そういう目に見える介護が中心だったわけです。

ところが時代が移ってきても、認知症の方が大増えしてきました。そういう方が増えてくると、「私の気持ちはどうですか」というような目に見えない、形に示せないものが、介護技術で非常によくウエートを占めてきたのです。体の不自由さを介護によってどう補うかに介護があったのです。さらに人間としてどうかわかるかというところに介護が来ているのです。

縦横の平面形から、高さという三次元の深みを持った介護技術に移ってきたのです。これは実は大変困難な仕事なのです。私は介護は、ほかの分野にはない学問的特徴を持った業務であると思っています。

●介護の専門性

「介護福祉の専門性を考察するためには、二つの視点がある。一つは理論から考察する場合である。つまり介護福祉の専門性とは何かの問い(定義・理論)から演繹的に見ていく方法である。二つは実践の場合から表証的に見ていく方法である。すなわち帰納的方法である。一人の生活の事柄をよく見る。そして他の事例から共通の因子を見いだして法則性を見いだすのである。専門性は二つの両者を併用して構築するのである。すなわち理論は実践の場から

かされなければならない。一方実践は理論的な根拠(エビデンス：evidence)をもって行われる。つまり専門性は理論と実践は統合的になるという裏付けされる(Bottom-up)である。

文章を書くのが難しくなりませんが、介護福祉という仕事は人間の幸せを保障する業務です。それ以上の言葉はありません。人間は一生を通じて精いっぱい生きてきて、一生を終るといってさであるのです。

われわれがAさんBさんの介護をするというその事例は、世界に一つしかありません。これを個別性といいますが、この個別性というものをよって、われわれは仕事をしているのです。

## 介護福祉における専門性

浦和大学客員教授 黒澤 貞夫氏

### 生活自立支援から

しかし、幸せというのは人間普通の原理です。そうすると、個別と普通を、人間共通の願いと個別の原理を結びつけるということが学問の基礎だということになります。

介護という学問は、人間の掲げた高い理想と、個別の事例とが非常に密接に結びついて、網の目のようになって組み立てられているのです。

次は、生活支援の「生活」に考えてみます。

「まずすべての学問的基礎は人間の生活の現実(現象)から導かれるのである。すなわち介護福祉のよべきものは、人間の生活の幸福を自指すものであり、健康で文化的な生活を維持・改

善するところである。このことに関するニーズは、現実の生活から生じるものである。そのニーズの充足(解決)は生活の場において行われるのである。

この課題の考察については、二つの視点を見ることになる。一つは、幸福追求権は人権の基本権(憲法第二三条)であり、健康で文化的な生活の営みの保障は生存権(憲法第二五条)として国家の掲げる至高(最高の)規範である。これらは介護福祉における「理念価値」である。

すなわち介護福祉は人間の英知の結晶と将来へのあるべき姿を価値という根拠をもって行われる。二つは介護福祉は個人のニーズ充足の使命を担っている。これは個人のニーズであるが、そのことは人間生活のありようという普遍的課題を含んでいる(レジメより)。

介護には必ず、理念が指すものがあり、実践は、現実の生活を解決するところにある。その人との十分な人間関係に基づいて、片方を理念価値、現実を実践価値と呼ぶ二つの価値観で行っているわけである。

実践価値というものは、現実の生活を解決すること。別の言い方をすると「ニーズの充足」といいます。つまり、必要ものを満たすこと。このたびのICFの大きな

人間はモチベーションをどのように形成するかというところが、介護過程の中で生かされなければいけないのです。ケアマネジャーのプランニングは、ホームヘルパーや介護福祉士の手で実行されます。介護過程はさまざまデータをどのように整理して、最終的にケアプランにまとめていくかという道筋です。

皆さんが「私は介護福祉士だ」と自信を持って主張していただくには、どうして科学的、客観性という根拠を持つ必要があるのか。私は経験があるからやっているわけだけではない。科学的な根拠があるからやっているわけだけではない。科学的な根拠があるからやっているわけだけではない。

人間はモチベーションをどのように形成するかというところが、介護過程の中で生かされなければいけないのです。ケアマネジャーのプランニングは、ホームヘルパーや介護福祉士の手で実行されます。介護過程はさまざまデータをどのように整理して、最終的にケアプランにまとめていくかという道筋です。

皆さんが「私は介護福祉士だ」と自信を持って主張していただくには、どうして科学的、客観性という根拠を持つ必要があるのか。私は経験があるからやっているわけだけではない。科学的な根拠があるからやっているわけだけではない。

皆さんが「私は介護福祉士だ」と自信を持って主張していただくには、どうして科学的、客観性という根拠を持つ必要があるのか。私は経験があるからやっているわけだけではない。科学的な根拠があるからやっているわけだけではない。

皆さんが「私は介護福祉士だ」と自信を持って主張していただくには、どうして科学的、客観性という根拠を持つ必要があるのか。私は経験があるからやっているわけだけではない。科学的な根拠があるからやっているわけだけではない。

皆さんが「私は介護福祉士だ」と自信を持って主張していただくには、どうして科学的、客観性という根拠を持つ必要があるのか。私は経験があるからやっているわけだけではない。科学的な根拠があるからやっているわけだけではない。

皆さんが「私は介護福祉士だ」と自信を持って主張していただくには、どうして科学的、客観性という根拠を持つ必要があるのか。私は経験があるからやっているわけだけではない。科学的な根拠があるからやっているわけだけではない。

皆さんが「私は介護福祉士だ」と自信を持って主張していただくには、どうして科学的、客観性という根拠を持つ必要があるのか。私は経験があるからやっているわけだけではない。科学的な根拠があるからやっているわけだけではない。

皆さんが「私は介護福祉士だ」と自信を持って主張していただくには、どうして科学的、客観性という根拠を持つ必要があるのか。私は経験があるからやっているわけだけではない。科学的な根拠があるからやっているわけだけではない。

介護福祉で言う主体性は、私も変わる、あなたも変わる。シャン・ピアジェという学者が、自然科学と人間の科学を分ける分水嶺は主体性を用いるかどうかの違いにあると言っています。われわれは、血圧の測定や関節可動域や血糖値の測定や嚥下困難などさまざまな検査・測定・診断のデータを使います。それはあくまでも介護のための手段であってそのデータそのもので仕事をしているわけではないのです。例えば、糖尿病のデータを活かしながら、どのように食事介助をしていくか。どうしたらバランスの取れた食事を嚥下困難な方にとりていただくかというところから、専門性が出てきます。そこに人間の主体性というものが生まれるのです。

アセスメントは判断作用なのです。情報を集めるだけで判断になるわけではなく、人間の主観が入って判断が出るから、ケアプランが作れるのです。その判断は、私がしたのですから主観なのです。その主観が、どのようにデータを使っているか、どのように利用者の意見をとり入れているか、そのことを判断作用の中に入れているかということが関係するのです。つまり、私も変わります。私も成長します。あなたも変わってくださいます。ですから、簡単な答えが出るはずがありません。

そのときのキーワードは何でしょうか。主体性です。介護福祉で言う主体性は、私も変わる、あなたも変わる。シャン・ピアジェという学者が、自然科学と人間の科学を分ける分水嶺は主体性を用いるかどうかの違いにあると言っています。われわれは、血圧の測定や関節可動域や血糖値の測定や嚥下困難などさまざまな検査・測定・診断のデータを使います。それはあくまでも介護のための手段であってそのデータそのもので仕事をしているわけではないのです。例えば、糖尿病のデータを活かしながら、どのように食事介助をしていくか。どうしたらバランスの取れた食事を嚥下困難な方にとりていただくかというところから、専門性が出てきます。そこに人間の主体性というものが生まれるのです。

アセスメントは判断作用なのです。情報を集めるだけで判断になるわけではなく、人間の主観が入って判断が出るから、ケアプランが作れるのです。その判断は、私がしたのですから主観なのです。その主観が、どのようにデータを使っているか、どのように利用者の意見をとり入れているか、そのことを判断作用の中に入れているかということが関係するのです。つまり、私も変わります。私も成長します。あなたも変わってくださいます。ですから、簡単な答えが出るはずがありません。

そのときのキーワードは何でしょうか。主体性です。介護福祉で言う主体性は、私も変わる、あなたも変わる。シャン・ピアジェという学者が、自然科学と人間の科学を分ける分水嶺は主体性を用いるかどうかの違いにあると言っています。われわれは、血圧の測定や関節可動域や血糖値の測定や嚥下困難などさまざまな検査・測定・診断のデータを使います。それはあくまでも介護のための手段であってそのデータそのもので仕事をしているわけではないのです。例えば、糖尿病のデータを活かしながら、どのように食事介助をしていくか。どうしたらバランスの取れた食事を嚥下困難な方にとりていただくかというところから、専門性が出てきます。そこに人間の主体性というものが生まれるのです。

アセスメントは判断作用なのです。情報を集めるだけで判断になるわけではなく、人間の主観が入って判断が出るから、ケアプランが作れるのです。その判断は、私がしたのですから主観なのです。その主観が、どのようにデータを使っているか、どのように利用者の意見をとり入れているか、そのことを判断作用の中に入れているかということが関係するのです。つまり、私も変わります。私も成長します。あなたも変わってくださいます。ですから、簡単な答えが出るはずがありません。

そのときのキーワードは何でしょうか。主体性です。介護福祉で言う主体性は、私も変わる、あなたも変わる。シャン・ピアジェという学者が、自然科学と人間の科学を分ける分水嶺は主体性を用いるかどうかの違いにあると言っています。われわれは、血圧の測定や関節可動域や血糖値の測定や嚥下困難などさまざまな検査・測定・診断のデータを使います。それはあくまでも介護のための手段であってそのデータそのもので仕事をしているわけではないのです。例えば、糖尿病のデータを活かしながら、どのように食事介助をしていくか。どうしたらバランスの取れた食事を嚥下困難な方にとりていただくかというところから、専門性が出てきます。そこに人間の主体性というものが生まれるのです。

アセスメントは判断作用なのです。情報を集めるだけで判断になるわけではなく、人間の主観が入って判断が出るから、ケアプランが作れるのです。その判断は、私がしたのですから主観なのです。その主観が、どのようにデータを使っているか、どのように利用者の意見をとり入れているか、そのことを判断作用の中に入れているかということが関係するのです。つまり、私も変わります。私も成長します。あなたも変わってくださいます。ですから、簡単な答えが出るはずがありません。

この講演の全文は、学術専門誌「介護福祉」第二十九号に収録されています。お問い合わせは日本介護福祉士会事務局

## ソウエルクラブ(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

**■職員の健康管理のために**

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康医療相談

**■職員の万が一の際に**

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

**■職員の資質向上のために**

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルズ講習会

**加入できる職員**

- 社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。

**■職員の慶事のお祝いに**

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

**■地域に密着した事業**

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)

**■職員の生活サポートのために**

- 住宅ローン・特別資金ローン
- クレジットカード
- ソウエル団体生命保険

**■各種情報提供**

- 会員情報誌、ソウエルクラブニュース
- ホームページ

魅力ある職場づくりに福利厚生センターをご活用ください

加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル

**TEL 0120-292-711**

**FAX 0120-292-722**

<http://www.sowel.or.jp/>

社会福祉法人 福利厚生センター  
〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1-21-17 虎ノ門NNビル



# 支部の研修

※研修参加の際は、生涯研修手帳をお忘れなく！

宮崎県介護福祉士会

【研修会】  
 ▽日程 三月九日(日)  
 ▽会場 JA・AZM本館  
 ▽内容・講師 「日介版自立支援アセスメント・ケアプラン」講師 田中雅子(日本介護福祉士会名誉会長)、「介護保険制度の現状と今後の展望について」講師 中野修一

師 川中孝之氏(厚生労働省老健局介護保険指導室長)

▽参加費 会員 七千円、非会員 一万円  
 ▽定員 四十名

【訪問介護サービス提供責任者実務者研修会】  
 ▽日程 三月十五日(土)、十六日(日)  
 ▽会場 宮崎県福祉総合センター人材研修館大研修室  
 ▽内容 「認知症について」「サービス提供責任者の役割」「居宅介護支援計画と訪問介護計画との関係アセスメント力を学ぶ」「訪問介護計画書の作成及び見直し」

▽講師 宮崎県介護福祉士会研修部サービス提供責任者講師養成研修受講者  
 ▽定員 百名

群馬県介護福祉士会

【研修会】  
 ▽日程 三月十五日(土)  
 ▽会場 群馬県社会福祉総合センター大ホール  
 ▽内容 「介護に笑いを！明日からあなたも介護が楽しくなる」

▽講師 神山卓也氏(有笑介護士)  
 ▽定員 三百名

東京都介護福祉士会

【介護支援専門員実務研修のための補講研修】  
 ▽日程 会場 二月二十四日(日) 東京しごとセンター地下講堂、五月三十一日(土) ティアラこうとう大会議室

▽参加費 無料(資料代五百円)、非会員 五千円  
 ▽問い合わせ 申し込み先 群馬県介護福祉士会(027-2255-6226)

広島県介護福祉士会

【高齢者虐待防止研修会】  
 ▽日程 三月一日(土)  
 ▽会場 広島県立総合体育館大会議室

▽参加費 無料  
 ▽問い合わせ 申し込み先 広島県介護福祉士会(082-2254-3016)

山口県介護福祉士会

【総会並びに記念講演会】  
 ▽日程 四月二十日(日)  
 ▽会場 山口県セミナーパーク 山口県セミナーパーク講堂

▽参加費 会員 五百円、非会員 千円  
 ▽定員 四百名

山口県動物園(旭川市旭山動物園園長)

▽講師 小菅正夫氏(旭川市旭山動物園園長)  
 ▽講演会聴講代 会員 無料、会員外 三千円  
 ▽問い合わせ 申し込み先 山口県介護福祉士会(083-924-2783)

【総会並びに記念講演会】  
 ▽日程 四月二十日(日)  
 ▽会場 山口県セミナーパーク 山口県セミナーパーク講堂

▽参加費 無料  
 ▽問い合わせ 申し込み先 山口県介護福祉士会(083-924-2783)

介護福祉士向け専門情報誌

## 介護福祉

☆発行回数 年4回/春・夏・秋・冬号  
 ☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)  
 ☆申込み先 財団法人 社会福祉振興・試験センター  
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6  
 TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514  
 ホームページ <http://www.sssc.or.jp>  
 郵便振替口座 00120-5-138401



## 第5回日本介護学会福岡で開催

### 8名が論文発表を行う

今年度で第五回を数える日本介護学会が十二月一日、アクロス福岡(福岡県福岡市)を会場に開催された。九州近県を始めとする全国各地より約三百名が参加した。

プログラムは午前十時より、石橋真二学会長の開会挨拶で始まった。

午前中は前浦和大学学長で、現在は客員教授の黒澤貞夫氏による記念講演「介護福祉における専門性・生活自立支援から」が行われた。(関連2面)

午後の研究発表では木村晴恵学会委員長が座長を務め、投稿総数二十五編の中から、査読委員会により採用された八編の発表が行われた。発表タイトルと研究発表者は以下のとおり。

(発表順)

- 「特別養護老人ホームにおける拘縮予防の取り組み」栗下康夫
- 「介護職員の離職に関する一考察」柳澤利之
- 「家族の統制によるターミナルケアの捉え方」小車淑子
- 「形態別介護技術(演習)の教育方法を探る」水谷なほみ
- 「介護事故・ヒアリング体験とリスクマネジメントの現状」床島絵美

六、「経営はすかんく再び経口からおいしい食事を」山本美佐

七、「老人保健施設における在宅復帰の現状と課題」退所者の分析から」藤井哲治

八、「介護保険施設等における抑制しないケアの実現に向けた介護相談員の役割」

「介護相談員派遣事業の活動経験を踏まえて」濱田佐知子

それぞれの発表では参加者との質疑応答が行われた。参加者からは「質疑の時間をもう少し長くして欲しい等の意見が出された。また、研究発表後には黒澤貞夫氏による全体の講評が行われた。黒澤氏は全体にわたる講評として、「皆さんの研究方法がしっかりしていても良かった。今後ますますの研鑽を積まれることを願っております」と述べた。

最後に木村晴恵学会委員長の開会挨拶があり、「事例検討にどうもありがとうございます。研究発表へと繋いでいけるか。それが介護福祉士にとっての課題です」と述べた。

平成二十年度の日本介護学会は、富山県で開催される予定である。

なお、記念講演及び発表論文は「介護福祉士」第九号に掲載している。

### 38名が計5日間取り組む

【(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修】

一月十九日から二十一日(前期)及び二月二日、三日(後期)の計五日間、東京都の八重洲ホールで

「(仮称)認定専門介護福祉士(認知症)養成研修」が行われ、全国から集まった三十八名の受講生が講義やグループワークに熱心に取り組んだ。

森繁樹氏(障害者支援施設 龍ノ口寮寮長)、宮島渡氏(高齢者総合福祉施設 アレアンさなだ施設長)の講師陣からは、「共感」することの大切さや事例検討を数多く行うことの重要性が繰り返し語られた。講義は、「生活支援の介護とは何か」「生活を支えるケア

## 平成20年度通常総会

1. 日時 5月24日(土) 10:30~16:00  
 2. 場所 株式会社損害保険ジャパン 2階 大会議室  
 ※代議員の皆様には、都道府県支部を通じて詳細を連絡いたします。

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

冬号(19年12月発行) 特集「これからの認知症ケア」  
 春号(20年3月発行) 特集「介護におけるモチベーションとストレスマネジメント」

# 社団法人 日本介護福祉士会

## 平成20年度改選役員予定者名簿 (50音順・平成20年4月1日現在)

理事構成	氏名	現職	所属支部
正会員理事	石橋 真二	社会福祉法人旭川荘顧問	香川県
	内田千恵子		東京都
	及川ゆりこ	特別養護老人ホーム「いづてラス」開設準備室長	静岡県
	岡田 史	新潟医療福祉大学准教授	新潟県
	木村 晴恵	特別養護老人ホーム洛東園施設長	京都府
	草加 昭子	社団法人岡山県介護福祉士会事務局長	岡山県
	田中 安平	鹿児島国際大学准教授	鹿児島県
	野上 薫子		神奈川県
	羽山 政弘	慈啓会特別養護老人ホーム介護課長補佐	北海道
	前田 薫	社会福祉法人まりあ副施設長	宮崎県
ブロック選出理事	松本 光子	千曲市社会福祉協議会ふれあい福祉センター戸倉所長	長野県
	三浦 晃史	身体障害者療護施設修光園係長	大分県
	山田 麗子	社会福祉法人とやま虹の会法人本部教育運動部長	富山県
	因 利恵	福岡県介護福祉士会会長	福岡県
	斎藤 幸子	山形短期大学講師	山形県
	外丸 妙美	養護(盲)老人ホーム自生園施設長	石川県
	島山 仁美	須崎市社会福祉協議会在宅介護係長	長野県
	三橋 一久	特別養護老人ホーム美和あすなろ主任生活相談員	鳥取県
	吉本 香代	ケアハイツイたいみ主査	兵庫県
	正会員以外の理事	岡田 守功	社団法人全国老人保健施設協会副会長
沖藤 典子		作家	
熊谷 和正		全国老人福祉施設協議会副会長	
鈴木 利定		社団法人日本介護福祉士養成施設協会副会長	
柄本一三郎		上智大学大学院総合人間科学研究科教授	
長橋 茂		社団法人シルバーサービス振興会常務理事	
仁田ミチ子		全国身体障害者施設協議会副会長	
堀田 力		さわやか法律事務所、弁護士	
村田 幸子		社会福祉評論家	
澤村 廣一		澤村公認会計士共同事務所、公認会計士	
監事	白仁田敏史	有限会社あんのん代表取締役	長崎県

# 会長選挙 無投票に



## 選管、理事会を開催 次期役員予定者が出揃う

平成二十、二十一年度の執行体制を決める役員改選は、会長への立候補者が石橋真二(現会長一人)だった。この結果、無投票当選となり、五月の平成二十年度総会の選任を経て次期執行部が発足することとなった。

日本介護福祉士会選挙管理委員会(以下「選管」)は三月十八日、会長選挙に関する公示(別掲)を行った。次期会長には石橋真二、副会長には木村晴恵、羽山政弘、内田千恵子がそれぞれ内定者となった。二十一日には、年に二回開かれる理事会(写真)が霞が関東京会議館で行われ、正会員以外の理事と監事を選出した。これで、すでに選出されている正会員理事

### 会長選挙に関する公示

平成二十年三月十八日  
社団法人日本介護福祉士会  
選挙管理委員会

また、同条(二)により、木村晴恵氏、羽山政弘氏、内田千恵子氏の三名を副会長内定者とします。

先に公示した「役職者の互選に関する公示」に基づき、会長立候補者について以下のとおり公示します。

△会長選挙について▽  
立候補者が一名のため、正副会長の互選規程第六條(一)により立候補者石橋真二氏を無投票当選とし、会長内定者とします。

△備考▽  
役職者の互選規程(選挙方法)  
第八條 理事予定者は、役員選挙会において、次の各号のとおり役職候補者を選考する。  
(一) 会長の選考は、全国選出理事予定者による立候補とし、無記名投票により

最多得票者を次期会長候補(以下「会長内定者」という。)とする。  
ただし、得票数が同数の場合はくじ引きにより決する。

立候補者が一人の場合は無投票とする。  
(二) 副会長の選考は、会長立候補者が立候補時に三人以内の副会長候補者を全国選出理事より指名し、公示する。会長内定に伴い次期副会長候補(以下「副会長内定者」という。)とする。

## 厚労省 4月に省令を告示 介護福祉士制度 試験一元化に前進

厚生労働省は三月三日、社会福祉士及び介護福祉士養成課程における教育内容等の見直し案に関するパブ

リックコメントに対する厚労省の考え方を取りまとめ発表した。同時に、見直しの基本的な枠組みも整理したものを添付した。パブコメには三百七十九通、延べ九百八件の意見が寄せられた。日本介護福祉士会も主に実習を中心に意見を提出した。厚労省の回答のうちから日介に関するものは別掲の通りである。

厚労省は今回のパブコメで、新カリキュラムに対する様々な意見のとりまとめを終了した。それらの意見を踏まえた関係省令の改正案を公表して、三月十二日まで、引き続き意見募集を行った。

こうした一連の手続きを踏まえて、厚労省は四月に改正社会福祉士及び介護福祉士法の関係省令を告示する予定である。具体的な細目が定められ、法改正の主目的である国家試験による資格取得の一元化に向けて一歩を踏み出したこととなる。

### 介護福祉士の教育内容等に関する意見(一)(抜粋)

○資格取得時の介護福祉士の養成目標においては、介護に関する知識、技術の修得のみならず、「介護の本質論」・「介護観の確立」等、介護教育の柱となるような目標を付け加えるべき。

(答) ○御指摘の「介護の本質論」・「介護観の確立」については、資格取得時の介護福祉士の養成目標の中に「他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につける」「介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させる」との意義について理解できる「利用者ができるだけなじみのある環境

で日常的な生活が送れるよう、利用者一人一人の生活している状態を的確に把握し、自立支援に資するサービスを総合的、計画的に提供できる能力を身につける」「人権擁護の視点、職業倫理を身につける」等が目標として立てられており、(実習施設・事業Ⅱ)の介護職員中の介護福祉士の割合について、

・介護福祉士の比率が三割以上であることとしているが、これを四割以上すべき。

(答) ○実習施設・事業Ⅱについては、介護福祉士が介護をするための基本的な思考過程である介護過程を

学ぶための実習であるため、実習指導者や実習生のモデルとなる介護福祉士の配置は重要と考えております。基本的に実習生が実習施設にいる間、介護福祉士が指導できるような勤務が組める体制がとれることも重要と考えています。介護福祉士の割合については、以上の趣旨を明確にしつつ、実習先の負担感も考慮しながら常勤の介護職員に占める介護福祉士の比率が三割以上という要件にいたしました。

・実習施設・事業(Ⅰ)についても、実習指導者研修の受講を義務付けるべき。

(答) ○実習施設・事業(Ⅰ)の基準において、三年以上の実務経験を有する者が位置づけられているが、これを削除すべき。また、実習指導者研修についても修了することが望ましいこととするべき。

(答) ○実習施設・事業(Ⅰ)についても、実習施設・事業(Ⅱ)と同様の実習指導者の要件として実習指導者研修と五年以上の実務経験を課すべきという御意見ですが、様々な施設で実習をしていただきたいということ、実習施設の確保という点から要件を緩和いたしました。養成施設が実習施設を選定する中で、御指摘のような実習指導者のいる実習施設を積極的に選定していただきたいと考えております。

『ケアプラン作成マニュアル』改訂版を発刊  
『生活7領域から考える日本介護福祉士会方式の自立支援アシスタント・ケアプラン作成マニュアル』が改訂され、中央法規出版から出版された。これまで要望の多かったデータ集もCDの付録となった。定価は二千二百円(税別)。ぜひ活用下さい。

## 平成20年度通常総会

- 日時 5月24日(土) 10:30~16:30
  - 場所 株式会社損害保険ジャパン 2階 大会議室
- ※代議員の皆様には、都道府県支部を通じて詳細を連絡いたします。

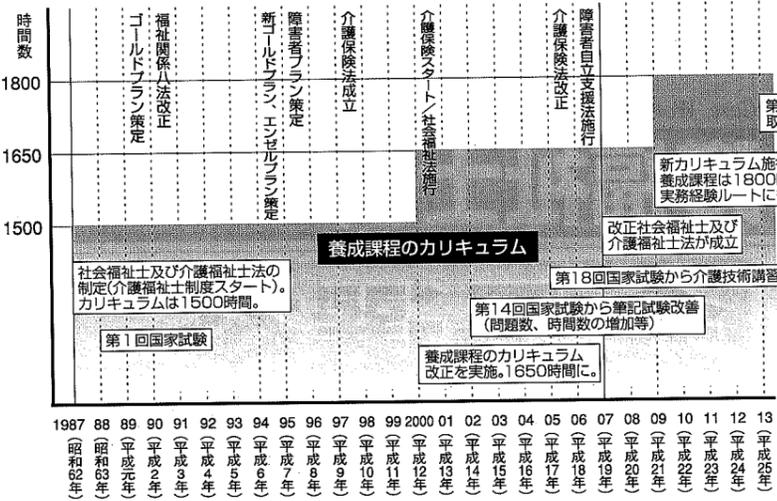
新カリキュラム

重み増す実習指導  
介護福祉士の位置づけ鮮明に

養成施設の新カリキュラムの実施まで、あと一年。介護福祉士制度創設後二十年間の教育体系が大きく変わろうとしている。授業時間の増加に加えて、教育体系は三つの領域に再編成された。

養成施設の新カリキュラムの実施まで、あと一年。介護福祉士制度創設後二十年間の教育体系が大きく変わろうとしている。授業時間の増加に加えて、教育体系は三つの領域に再編成された。教育内容についての国の基準も従来とは違って、基本となる教育内容を示したものと、養成施設で弾力的運営が図れるようにした。一定の基準の中で科目

教育課程の変遷



人が多い。今回の実務経験・福祉系高校の合格者数は、六万八千・五千である。平成二十五年からの資格取得の一元化が始まる。この比率は大きく変わる可能性がある。現在は受験していない養成施設の卒業生が参加している。養成施設の数が増えることとは考えにくいので、今の卒業生と同じくすれば二万人強である。この参加組の合格率はかなり高いことが予想される。

日、全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議を開き、訪問介護員養成研修1級課程について、平成二十四年度を目処に介護職員基礎研修に一元化する方針を発表した。2級課程については当分の間、養成を継続するとしている。

●実習指導者研修事業  
実習指導者については今年度から、日本介護福祉士会が介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修事業を中央福祉学院とともに行うことになった。

●教員資格の位置づけ  
養成課程の見直しで、教員資格における介護福祉士の位置づけが強化・拡大してきた。

●養成施設や福祉系高校で合格している受験者の勉強時間もかなりのものがあるが、直接受験できるので幅がもてる。受験資格を獲得するために勉強時間の枠がはめられることは、受験者の減少となりそうである。

●基礎研修に一元化  
厚生労働省は二月二十七

受験者14万、合格者7万の傾向続く

第20回国家試験

合格者の内訳

(1) 性別

区分	男	女	計
人数(人)	13,005	60,297	73,302
割合(%)	17.7	82.3	100.0

(2) 職種別

区分	割合
総数	100.0%
社会福祉施設の介護職員等	46.0
老人福祉施設の介護職員等	41.3
身体障害者福祉施設の介護職員等	3.7
保護施設、児童福祉施設の寮母等	0.8
その他の社会福祉施設の介護職員等	0.2
訪問介護員	30.5
介護老人保健施設の介護職員	9.6
医療機関(療養型病床群等)の看護補助者	6.4
福祉系高等学校(専攻科を含む)	7.0
その他	0.5

(3) 年齢別

年齢区分(歳)	割合(%)
~20	4.7
21~30	21.6
31~40	25.3
41~50	29.6
51~60	17.3
61~	1.5
計	100.0

第二十回介護福祉士国家試験合格者が三月三十一日に発表された。今回の受験者数は十四万三千名弱、合格者数は七万三千三百名で、ともに昨年を若干下回った。逆に合格率は五・三%と上回った。

職種別では、社会福祉施設職員の割合が八ポイント増え、訪問介護員は減った。中でも老人福祉施設職員が増えている。

●教員資格の位置づけ  
養成課程の見直しで、教員資格における介護福祉士の位置づけが強化・拡大してきた。

●養成施設や福祉系高校で合格している受験者の勉強時間もかなりのものがあるが、直接受験できるので幅がもてる。受験資格を獲得するために勉強時間の枠がはめられることは、受験者の減少となりそうである。

●基礎研修に一元化  
厚生労働省は二月二十七

●教員資格の位置づけ  
養成課程の見直しで、教員資格における介護福祉士の位置づけが強化・拡大してきた。

●養成施設や福祉系高校で合格している受験者の勉強時間もかなりのものがあるが、直接受験できるので幅がもてる。受験資格を獲得するために勉強時間の枠がはめられることは、受験者の減少となりそうである。

ソウエルクラブ(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

- 職員の健康管理のために  
●生活習慣病予防健診費用助成  
●健康生活用品給付  
●スポーツクラブ  
●電話健康医療相談
- 職員の慶事のお祝いに  
●結婚お祝品贈呈  
●出産お祝品贈呈  
●入学お祝品贈呈  
●資格取得記念品贈呈  
●永年勤続記念品贈呈
- 地域に密着した事業  
●会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)
- 職員の万が一の際に  
●会員の死亡弔慰金  
●会員の配偶者の死亡弔慰金  
●会員の入院・手術見舞金  
●災害見舞金
- 職員の余暇活用のために  
●指定保養所・休暇村他7種類の宿泊施設、全国289か所  
●海外リフレッシュツアー  
●クラブ・サークル活動支援  
●テーマパーク  
●国内・海外旅行  
●レンタカー  
●カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等
- 職員の資質向上のために  
●海外研修  
●広報講習会  
●レク・リーダー養成講習会  
●接遇講習会  
●パソコン講習会  
●メンタルヘルズ講習会
- 職員の生活サポートのために  
●住宅ローン・特別資金ローン  
●クレジットカード  
●ソウエル団体生命保険
- 各種情報提供  
●会員情報誌、ソウエルクラブニュース  
●ホームページ

加入できる職員  
●社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。

掛金  
●掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。

加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル  
TEL 0120-292-711  
FAX 0120-292-722  
http://www.sowel.or.jp/  
社会福祉法人 福利厚生センター  
〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1-21-17 虎ノ門ビル

# 支部の研修

- 三重県介護福祉士会**
  - 【十周年記念講演会】
    - ▽日程 四月十二日(土)
    - ▽会場 三重県社会福祉会館
    - ▽内容 三重県社会福祉会館
  - 【三周年記念講演会】
    - ▽日程 四月十二日(土)
    - ▽会場 三重県社会福祉会館
    - ▽内容 三重県社会福祉会館
- 香川県介護福祉士会**
  - 【会員交流会】
    - ▽日程 四月十九日(土)
    - ▽会場 国分寺会館
    - ▽参加費 昼食代五百円
  - 【月例研修会】
    - ▽日程 五月十日(土)
    - ▽会場 国分寺会館
    - ▽内容 「介護実技研修と福祉機器について」
    - ▽参加費 会員千円、会員外三千円
- 山口県介護福祉士会**
  - 【総会記念講演会】
    - ▽日程 四月二十日(日)
    - ▽会場 山口県セミナーパーク
    - ▽内容 「命のメッセージ」
    - ▽講師 小菅正夫氏(旭川市旭山動物園園長)
    - ▽日程 五月三十一日(土)
    - ▽会場 山口県セミナーパーク
    - ▽内容 「介護実践におけるリスクマネジメント」
    - ▽講師 山田滋氏(株)あいおいリスクコンサルティング
    - ▽定員 百五十名
    - ▽参加費 会員千円、一般八百円
  - 【総会記念講演会】
    - ▽日程 四月二十日(日)
    - ▽会場 山口県セミナーパーク
    - ▽内容 「介護実践におけるリスクマネジメント」
    - ▽講師 山田滋氏(株)あいおいリスクコンサルティング
    - ▽定員 百五十名
    - ▽参加費 会員千円、一般八百円
- 富山県介護福祉士会**
  - 【研修会】
    - ▽日程 四月二十日(日)
    - ▽会場 富山県介護福祉士会事務所
    - ▽内容 「事例研究から論文作成」講座
    - ▽講師 坂本洋一氏(和洋女子大学教授)
    - ▽定員 二十名、参加希望の方は事前に連絡を
  - 【研修会】
    - ▽日程 五月三十一日(土)
    - ▽会場 サンシップやま
    - ▽内容 「生活の活性化を図るために、脳の機能と介護のあり方」
    - ▽講師 遠藤英俊氏(国立長寿医療センター包括診療部長)
    - ▽定員 九十名
    - ▽参加費 会員二千円、一般八千円
- 和歌山県介護福祉士会**
  - 【サレハ提供責任者研修会】
    - ▽日程 四月十九日(土)
    - ▽会場 県民交流プラザ
    - ▽内容 県民交流プラザ
    - ▽定員 八十名
    - ▽参加費 会員無料、一般三千円
  - 【公開講座】
    - ▽日程 五月十八日(日)
    - ▽会場 広島県立生涯学習センター
    - ▽内容 「宅老所よりあいの実践を通じて」
    - ▽講師 下村恵美子氏(宅老所よりあいの代表)
    - ▽定員 二百四十名
    - ▽参加費 無料
- 長野県介護福祉士会**
  - 【総会記念講演会】
    - ▽日程 五月十七日(土)
    - ▽会場 ミラ・フード館
    - ▽内容 「介護福祉士に求められる新しい姿と考える」
    - ▽講師 柴田範子日本介護福祉士会副会長
    - ▽日程 五月十八日(日)
    - ▽会場 福島県総合農業センター
    - ▽内容 「介護福祉士会副会長」
    - ▽講師 柴田範子日本介護福祉士会副会長
- 岩手県介護福祉士会**
  - 【研修会】
    - ▽日程 四月二十六日(土)
    - ▽会場 いわて県民情報交流センター(アイナ)
    - ▽内容 「教育分野における福祉的課題」
    - ▽講師 矢幅清司氏(文部科学省)
    - ▽定員 百五十名
    - ▽参加費 無料
- 福島県介護福祉士会**
  - 【総会記念講演会】
    - ▽日程 五月十八日(日)
    - ▽会場 福島県総合農業センター
    - ▽内容 「介護福祉士会副会長」
    - ▽講師 柴田範子日本介護福祉士会副会長
- 熊本県介護福祉士会**
  - 【総会記念講演会】
    - ▽日程 六月八日(日)
    - ▽会場 熊本市流通情報会館
    - ▽内容 「英大朗と考える明るい介護現場」
    - ▽講師 英大朗さん(モノマネタレント)
    - ▽日程 六月八日(日)
    - ▽会場 熊本市流通情報会館
    - ▽内容 「英大朗と考える明るい介護現場」
    - ▽講師 英大朗さん(モノマネタレント)
- 京都府介護福祉士会**
  - 【総会記念講演会】
    - ▽日程 六月十五日(日)
    - ▽会場 京都社会福祉会館
    - ▽内容 「介護福祉士における専門性・生活自立支援から」
    - ▽講師 黒澤貞夫氏(浦和大学客員教授)
    - ▽日程 六月十八日(土)
    - ▽会場 京都府介護福祉士会(075-801-8060)
    - ▽内容 「介護福祉士会」
    - ▽講師 黒澤貞夫氏(浦和大学客員教授)
- 岡山県介護福祉士会**
  - 【研修会】
    - ▽日程 六月二十一日(土)
    - ▽会場 きらめきプラザ
    - ▽内容 「タクティルケアを体験しよう。介護職にとっての緩和ケアとは!」
    - ▽講師 株式会社日本スウェーデン福祉研究所
    - ▽日程 六月八日(日)
    - ▽会場 東海学院大学短期
    - ▽内容 「素晴らしき、この介護の仕事」
    - ▽講師 袖山卓也氏
- 岐阜県介護福祉士会**
  - 【総会記念講演会】
    - ▽日程 六月八日(日)
    - ▽会場 東海学院大学短期
    - ▽内容 「素晴らしき、この介護の仕事」
    - ▽講師 袖山卓也氏
- 静岡県介護福祉士会**
  - 【総会記念講演会】
    - ▽日程 五月十日(土)
    - ▽会場 県民交流プラザ
    - ▽内容 「素晴らしき、この介護の仕事」
    - ▽講師 袖山卓也氏
- 富山県介護福祉士会**
  - 【研修会】
    - ▽日程 六月二十二日(土)
    - ▽会場 サンシップやま
    - ▽内容 「ICFの視点に基づくケアプラン作成」の強化
    - ▽日程 六月二十二日(土)
    - ▽会場 サンシップやま
    - ▽内容 「ICFの視点に基づくケアプラン作成」の強化
- 富山県介護福祉士会**
  - 【研修会】
    - ▽日程 六月二十二日(土)
    - ▽会場 サンシップやま
    - ▽内容 「ICFの視点に基づくケアプラン作成」の強化
    - ▽日程 六月二十二日(土)
    - ▽会場 サンシップやま
    - ▽内容 「ICFの視点に基づくケアプラン作成」の強化
- 富山県介護福祉士会**
  - 【研修会】
    - ▽日程 六月二十二日(土)
    - ▽会場 サンシップやま
    - ▽内容 「ICFの視点に基づくケアプラン作成」の強化
    - ▽日程 六月二十二日(土)
    - ▽会場 サンシップやま
    - ▽内容 「ICFの視点に基づくケアプラン作成」の強化
- 富山県介護福祉士会**
  - 【研修会】
    - ▽日程 六月二十二日(土)
    - ▽会場 サンシップやま
    - ▽内容 「ICFの視点に基づくケアプラン作成」の強化
    - ▽日程 六月二十二日(土)
    - ▽会場 サンシップやま
    - ▽内容 「ICFの視点に基づくケアプラン作成」の強化

\*福岡県は、県の方針で社団法人の総会は2回行う。

## ふれあいケア

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。

●定価1,020円(本体971円) ●毎月20日発行 ●B5判/80頁 ●送料300円(定期購読もしくは10冊以上のご購入で送料無料)

**定期購読申込み受付中!** [FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい] お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号・冊数」を忘れずにご記入下さい。バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。

●お申し込みは、書店、都道府県社会福祉協議会、または下記へ●

**全社協** 社会福祉 全国社会福祉協議会 出版部  
〒100-8980東京都千代田区霞が関3-3-2新館が関ビル  
TEL: 03-3581-9511

## 2008年5月号 4月21日発行

### 介護福祉士はどう変わるのか

◆社会福祉士及び介護福祉士法が制度発足以来、20年で初めて本格的な見直しが行われました。今改正では介護福祉士の資質向上のため、現状では国家試験を受けずに資格を取得できる大学・専門学校卒業生に国家試験を課すことや、履修時間を増やすことなどが盛り込まれたほか、認知症の介護など、ニーズの多様化・高度化に対応できるよう、介護福祉士の定義規定や義務規定が見直されました。本特集では、制度改正の概要を紹介しながら、今回の制度改正が現場にどのような影響を与えるのか、介護職員の視点から検討します。

**その人らしい生活を支援する介護過程/危険予知能力を鍛えよう/介護職員のメンタルヘルスケア/旬を召し上げ/ふれあいケアのHint&Tips/高齢者のからだに気になる症状/ほか**

2007年11月号 認知症のひとの思いを受け止めよう 2008年2月号 チームケアを推進する力  
2007年12月号 ボランティアとの協働でパワーアップ 2008年3月号 小規模多機能型居宅介護の今  
2008年1月号 介護職員が語る「2008年、こんな年にしたい」 2008年4月号 利用者の夜を支える介護

**【注文用】 FAX: 03-3581-4666 E-mail: zenshakyos@shakyo.or.jp**  
福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ 福祉の本出版目録 <http://www.fukushinhon.gr.jp>

# 第15回全国大会開催要綱

1. テーマ 「魅力ある介護福祉士」  
—時代が求める介護福祉士を目指して—
  2. 期 日 9月20日(土)～21日(日)
  3. 会 場 伊香保温泉「ホテル天坊」  
(群馬県渋川市伊香保町396-20)
  4. 参加人数 600名
  5. 内 容
- <第1日目> 9月20日(土) 全体会
- 13:00～ 全体会  
開会式典  
基調講演 厚生労働省(予定)  
記念講演 星野 富弘氏  
報 告 「生涯研修制度について」
- 18:00～ 「ホテル天坊」にて懇親会
- <第2日目> 9月21日(日)
- 9:00～ 第1分科会①「認知症高齢者への自立支援」  
座長: 森 繁樹氏(社会福祉法人旭川荘)  
第1分科会②「認知症高齢者への自立支援」  
座長: 宮島 渡氏(高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ施設長)
- 第2分科会 「在宅生活(高齢者・障害者等)への自立支援」  
座長: 奥西栄介氏(神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授)
- 第3分科会 「福祉・介護現場の人材育成」  
座長: 是枝祥子氏(大妻女子大学人間関係学部教授)
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 全体会  
シンポジウム「介護福祉士をとりまく環境について」  
—福祉・介護現場の春を目指して—
- 15:00～ 分科会報告
- 15:15～ 閉会式典
- <併設展示会> (会期を通じて設定)  
「ホテル天坊」内に展示ブースを設定し、書籍販売等を行います。
6. 参加費 会員/3000円、一般/1万円、学生/1000円
  7. 申し込み先  
国際トラベルサービス株式会社(担当: 箱田)  
TEL/027-362-8673 FAX/027-362-8410
  8. 問い合わせ先  
社団法人日本介護福祉士会事務局(担当: 神田)  
TEL/03-3507-0784 FAX/03-3507-8810

# 第15回全国大会で あなたの研究成果を発表してください!

- <事例発表の申込方法>
1. 事例発表の希望者は「事例発表申込書」に必要事項を記入し、事務局宛てにFAXまたはEメールで送付してください。(郵送の場合も同日必着)  
申込締切は7月18日(金) 必着です。  
送付先 FAX: 03-3507-8810  
Eメール: webmaster@jaccw.or.jp
  2. 発表事例は、開催要綱の第1～第3分科会のテーマより選択してください。
  3. 申込事例は本会で選考のうえ発表事例を決定し、本人宛て通知します。
  4. 選考に際しては、会員を優先させていただきます。
  5. 発表事例は抄録原稿を大会資料冊子に掲載し、分科会において決められた時間内で口頭発表していただきます。(発表、質疑応答合わせて10分程度)
  6. 事例発表者は予め申し出てパソコンプロジェクター等を使用することができます。
- <抄録の提出>
1. 事例発表者には、事前に発表要旨の抄録を提出していただきます。  
抄録提出締切りは8月8日(金) 必着です。
  2. 抄録は必ずパソコンまたはワープロで作成し、フロッピーディスクの送付もしくはEメールによる提出とします。
  3. パソコンで作成する場合、文章はWord、表データはExcelで作成してください。
  4. ワープロで作成する場合は、紙に印刷した抄録原稿とMS-DOS変換して保存したフロッピーを併せて提出してください。
  5. 原稿量はおおむねA4用紙で4枚程度とします。
- (注) 発表者の大会参加費用は全て本人負担とします。

## 事例発表申込書

フリガナ		会員番号	所属支部名
氏 名	(男・女)		
勤務先名	TEL		
	FAX		
住 所	Eメール		
業 種	施設サービス・在宅サービス・その他 具体的に( )	職 種	
自 宅	TEL		
	FAX		
	Eメール		
連絡先	1. 勤務先 2. 自宅 どちらかに○をつけて下さい。		
テーマ および 副 題			
発表概要・ 内容			
使用機材	1. 使用しない 2. パソコン・プロジェクター 3. その他( )		

## 介護福祉士海外研修事業の 派遣団員を募集

(財)社会福祉振興・試験センターによる介護福祉士海外研修・調査事業の参加者募集が始まりました。詳細及び参加申込書は、日本介護福祉士会のホームページをご覧ください。

【介護福祉士海外研修のお知らせ】

▼目的  
海外福祉先進国における社会福祉の相談援助の方法、技能及び介護技術等について実地に研修・調査を行い、介護福祉士の資質の向上並びに社会福祉の発展に資することを目的とする。

▼研修期間  
九月六日(土)～二十日(土)の十五日間

▼研修・調査プログラム  
スウェーデンのファルケンベルグ市を予定。

▼派遣対象者  
次の各号に該当し、社団法人日本介護福祉士会の推薦を受けた者(同会の会員であるか否かは問わない)。

①現に介護業務に従事している者

②平成二十年十二月末日現在において、二十五歳以上

五十歳未満の者であり、介護福祉士の資格取得後三年以上の者

③研修・調査終了後も引き続き介護業務に従事する意思を有する者

④過去に、当センターの海外研修に参加したことのない者

▼費用 (財)社会福祉振興・試験センターが負担

▼選考 書類選考により決定する。なお、八月八日(金)にオリエンテーションを行う予定。

▼参加申込書類提出期限  
五月九日(金) 必着

▼書類提出および照会先  
社団法人日本介護福祉士会(東京都港区虎ノ門一丁目二十二番三 西勤虎ノ門ビル3F)、電話 03-3507-0784 FAX 03-3507-8810

事務局人事  
日本介護福祉士会の事務局体制は、四月一日から左記のようになった。

▼事務局長 宇都宮邦義  
▼事務局次長 根岸 暁  
▼事務局主任 塩崎壽紀

## 平成20年度年会費振替のお知らせ

平成二十年年度年会費の指定口座からの振替を、左記日程で行います。つきましては、前日までに口座へ入金をお願いいたします。

○五月二十六日(月)

○口座振替をされている継続会員の皆様  
会費納入について不明な点がありましたら、日本介護福祉士会事務局へお問い合わせ下さい。

介護福祉士向け専門情報誌

# 介護福祉

- ☆発行回数 年4回/春・夏・秋・冬号
- ☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)
- ☆申込み先 財団法人 社会福祉振興・試験センター  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6  
TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514  
ホームページ http://www.sssc.or.jp  
郵便振替口座 00120-5-138401

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

- 春号(20年3月発行) 特集「介護におけるモチベーションとストレスマネジメント」
- 夏号(20年6月発行) 特集「介護研究の進め方」



# 社団法人 日本介護福祉士会

## 石橋体制が二期目に

### 平成20年度通常総会

## 介護福祉士を魅力ある職業 として確立していく

### 全議案を原案通り承認

平成二十年通常総会は、五月二十四日(土)、株式会社損害保険ジャパン大会議室で開催された。代議員定数百九十七名に対し出席代議員百五十二名、委任状二十二名、欠席二十三名。総会議事は原案通り承認され可決した。

### 副会長に内田、木村、羽山の各氏



午前中は、堀井奈津子氏(厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長)による記念講演「これからの介護福祉士——介護福祉士への期待——(第2面掲載)」が行われた。午後からの開会式典には、来賓として松尾武昌氏(社会福祉法人全国社会福祉協議会常務理事)、山口保氏(社団法人日本介護福祉士養成施設協会常務理事)の方々が臨席した。



午前中は、堀井奈津子氏(厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長)による記念講演「これからの介護福祉士——介護福祉士への期待——(第2面掲載)」が行われた。午後からの開会式典には、来賓として松尾武昌氏(社会福祉法人全国社会福祉協議会常務理事)、山口保氏(社団法人日本介護福祉士養成施設協会常務理事)の方々が臨席した。

## 介護従事者にも配慮を

### 参議院厚生労働委員会で意見陳述

五月十三日、参議院の厚生労働委員会において、介護福祉士会名譽会長・社会福祉協議会介護給付費分科会委員の四名が出席した。田中名譽会長は意見陳述の中で、介護従事者に対する規制を見直す政府提出法案は基本的に賛成できるものであるが、①業務管理体制の整備義務付けについては、介護従事者の事務負担が過重な

## 介護労働者の確保・定着について意見陳述

五月二十日、厚生労働省の開催した第四回介護労働者の確保・定着等に関する研究会において、業界団体のヒアリングとして石橋真二会長ら三名が出席し、意見陳述を行った。石橋会長は、介護職の給与水準を始めとする様々な労働条件の改善や、人員配置基準の見直し、さらに研修及びキャリアアップの仕組みを構築することの重要性に関する意見を述べた。

その後行われた委員との質疑応答では、一度他産業に転職をした労働者は、介護の仕事に対する魅力を感じて

はいるものの、生活のすることを考えた場合、再度介護の仕事に就くことが難しくなっている現状についても述べられた。(意見詳細は2面に掲載)

昨年見直された「社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針」(人材確保基本指針)については、行政、経営者、関係団体が一丸となって実行していく必要があり、現在介護現場が置

## 署名活動を 実施しています！

反映させていきたいと考えています。緊急ではあります。が、この趣旨にご賛同

## 座談会を開催

五月二十日、東京都千代田区の法曹会館において、堀井奈津子氏(厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長)、沖藤典子氏(作家、日本介護福祉士会理事)、石橋真二会長の三名に

## 平成20年度 第1回都道府県会長会

日程 7月11日(金)~12日(土)

場所 ウィリング横浜

※詳細は追ってご連絡いたします。

また審議終了後、諏訪徹氏(社会福祉法人全国社会福祉協議会中央福祉人材センター副部長代理)による講演「介護福祉士——ファーストステップ研修について」が行われた。内容は、①ファーストステップ研修及び同試行事業について②ファーストステップ研修の成果・意義③試行事業から見えてきたもの④介護福祉士のキャリアアップシステム検討の動き⑤認知症介護実践者研修修了へのみなし等⑥終わりにかけて—介護福祉士会への期待であり、ファーストステップ研修の更なる充実の必要性を話された。

# 介護労働者の確保・定着等に関する研究会ヒアリング

## 石橋真二会長意見陳述（抜粋）

○現在の介護労働の状況について

・介護労働は人の尊厳を守り、生活、生命、人生を支える大切な役割を担う重要な職業にもかかわらず、他の産業などと比較しても給与が安すぎるなど労働対価としての評価があまりにも低すぎる。また、介護の仕事は、介護保険制度の導入などから利用者本位の介護、個別的な介護、予防からターミナルまで幅広い介護、ユニットケアへの対応、認知症への対応など以前と比べて介護の内容が多様となり、介護者はより高度な専門性が求められ、介護の現場の労働内容はより高度化している。

○定着率を高めるために必要な措置について

・介護職の定着を高めるためには、給与面の改善をはじめとした労働条件の改善は当然として、働き甲斐がある職場環境を作るために、優れたリーダーの養成や施設長などの質の確保が必要であり、チームリーダーの任用資

格、施設長の資格の見直しなど含めたキャリアパスを活用することが必要と考えられる。なお、介護福祉士などの専門性の高い人材を配置した場合や、一定の研修を終了したものに對して、介護報酬の加算の仕組みが導入されるなどより質の高い人材が評価される必要がある。

○潜在介護福祉士への介護関連職種への求職活動を促すために必要なこと

・平成六年九月に旧労働省において「職場における腰痛予防対策指針」が示されたが、この指針を介護事業所等において実行性あるものにするにも介護現場の実態を把握し、介護従事者の健康を守る施策を講じることが重要である。

○定着率を高める観点から必要な労働環境の改善について

・生涯、意欲を持って働ける環境作りとし、賃金向上などの労働条件の改善やキャリアアップの仕組みを導入することは当然のことであり、安心して働けるように経営母体が安定する仕組みも必要。

○厚生労働省への要望について

・介護職の労働条件の改善・キャリアアップの仕組みなど介護福祉士の社会的評価の向上のため、人材確保基本指針を実効性あるものにするための取組を期待したい。そのためには、介護報酬の改定に結びつけるような仕組みの検討も含めて、現在、

に保育所を設けるなど、また、夜勤や変則勤務を少なくし多様な働き方を望む者に対して、働きやすい環境を整えることも必要である。

・あわせて、介護福祉士の待遇の向上やキャリアアップの仕組みを確保し、介護を魅力ある仕事としていくことが介護現場への再就職には欠かせない。

・また、介護の職場は女性が多く、結婚、出産、育児など家庭と仕事を両立できるような支援策として、職場に保育所を設けるなど、また、夜勤や変則勤務を少なくしたり、パート的な働き方も行いやすいようにするなど、多様な働き方を望む者に対して、働きやすい労働環境を整えることも必要である。

・また、民間企業の参入や非営利法人の事業所などが増えてきており、福利厚生が十分でないことも大きな課題であるので、福利厚生面での充実が図れるような仕組みも検討していただきたい。

・現在、厚生労働省が賃金等介護労働者の実態や介護事業者の経営実態について調査を行っていることについて聞いています。これらの調査結果を詳細に分析していただき、平成二十一年の改定時に適切な報酬の設定を行っていただくことも、事務負担軽減等の様々な措置についても、可能なものから早急に実施に移していただくなど、幅広い施策を総合的に講じていただきたい。

・今後、さらには後期高齢者が増え、安心できる高齢期の生活を実現するために介護サービスが適切に提供され、質の良いサービスが利用者へ提供される必要がある。そのためには介護労働者への正当な評価を行えるような介護報酬の見直しをしていただき、国民が安心して暮らすことができるような介護保険制度の構築や障害者が安心して暮らすことができるような障害者自立支援法の見直しなど社会保障の充実を目指して幅広い施策を講じていただきたい。

・国民に対して、介護福祉に関する普及啓発を促進するために「介護の日」を設けていただきたい。

どで活用できることも必要である。

・当会では今後も、潜在介護福祉士に対して再就職のための研修を行うこととしている。また、地域の福祉人材センターと連携をしていくことが大切だと考えている。

・また、介護の職場は女性が多く、結婚、出産、育児など家庭と仕事を両立できるような支援策として、職場に保育所を設けるなど、また、夜勤や変則勤務を少なくしたり、パート的な働き方も行いやすいようにするなど、多様な働き方を望む者に対して、働きやすい労働環境を整えることも必要である。

・また、民間企業の参入や非営利法人の事業所などが増えてきており、福利厚生が十分でないことも大きな課題であるので、福利厚生面での充実が図れるような仕組みも検討していただきたい。

・現在、厚生労働省が賃金等介護労働者の実態や介護事業者の経営実態について調査を行っていることについて聞いています。これらの調査結果を詳細に分析していただき、平成二十一年の改定時に適切な報酬の設定を行っていただくことも、事務負担軽減等の様々な措置についても、可能なものから早急に実施に移していただくなど、幅広い施策を総合的に講じていただきたい。

・今後、さらには後期高齢者が増え、安心できる高齢期の生活を実現するために介護サービスが適切に提供され、質の良いサービスが利用者へ提供される必要がある。そのためには介護労働者への正当な評価を行えるような介護報酬の見直しをしていただき、国民が安心して暮らすことができるような介護保険制度の構築や障害者が安心して暮らすことができるような障害者自立支援法の見直しなど社会保障の充実を目指して幅広い施策を講じていただきたい。

・国民に対して、介護福祉に関する普及啓発を促進するために「介護の日」を設けていただきたい。

MONTHLY **介護保険情報**

介護保険に関する情報をいち早く総合的に提供する月刊誌

本誌は、介護保険に関する最新の行政情報やサービス現場の情報を提供する月刊誌です。毎号、介護保険に関わる“旬”な話題をさまざまな角度から掘り下げて、実践的でわかりやすい情報提供をめざします。

平成12年創刊 B5判・月刊・毎月1日発行  
年間購読料11,340円（税込・送料小負担・自動継続・前納制）  
1部945円（税込・送料は実費負担願います）  
※バックナンバーをお求めの方は在庫を確認しますのでお問い合わせください。

株式会社 社会保険研究所 ホームページアドレス <http://www.shaho.co.jp/shaho>  
〒101-8522 東京都千代田区内神田2-4-6 WTC内神田ビル ☎(03)3252-7901 FAX(03)3252-7977

# 会総演 通常 記念 講演

# これからの介護福祉士

厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 堀井 奈津子氏

介護福祉士の存在感を高めていく重要な時期を迎えています

介護福祉士を巡る現状  
介護福祉士の登録者推移をみると、平成十九年九月末の総数は六十三万九千三百五十四人、国家試験受験者も右肩上がりが増え

五・一％。一方で「認められていない」と答えたのは二十九・九％です。

い、など、介護福祉士自身が抱く理想もあります。しかし、現状の期待との間には、ギャップもあります。

このようなことから、これからの介護福祉士に求められるものとして、次の十二点が挙げられ、今回の一連の制度改正も、このようない目標を念頭に置いているのです。

このように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

述べているように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

は、平成五年に策定されましたが、昨年八月に十四年ぶりに見直されました。

は、介護従事者等の賃金をはじめとする処遇の改善に資するための施策の在り方について検討を加え、必要があると思われるものは、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとされています。介護福祉士、介護従事者等を通じて、関係者による様々な取組が行われているのです。

また、一人一人の介護福祉士だけが担う役割ではありません。職能団体の力も重要になります。現在、介護福祉士会で実施している研修等も、さら

「介護福祉士制度」に関する連した最近の動きをみると、平成十九年八月に「福祉人材確保指針」が改定されました。そして改正社会福祉士及び介護福祉士法の改正法が平成十九年十二月に公布されました。さらに平成二十一年四月には介護福祉士の養成課程におけるカリキュラム等の見直しが行われることになってい

一方、平成十七年九月の統計から推計すると、およそ二十万人の方が介護福祉の仕事に就いていない、いわゆる潜在的介護福祉士となっています。

国家資格だから、というところで資格をとってもその専門性の評価については、給与や業績に反映されたり、職場や利用者から信頼されている人もいれば、そうでない人もいます。この原因は何なのでしょう。

また、さきほどみたように、処遇面などに関する明確な評価がなされているのでしょうか。国家資格だから、ということでは資格はとりましたが、キャリアアップとして位置づけられているのでしょうか。

このようなギャップの原因は様々です。ただ、このような現実に対して行政としては、介護福祉士という資格の質の向上と、その社会的な評価を高めるための努力やキャリアアップの支援、就労環境の整備等に努めていく必要があります。

このように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

述べているように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

は、介護従事者等の賃金をはじめとする処遇の改善に資するための施策の在り方について検討を加え、必要があると思われるものは、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとされています。介護福祉士、介護従事者等を通じて、関係者による様々な取組が行われているのです。

また、一人一人の介護福祉士だけが担う役割ではありません。職能団体の力も重要になります。現在、介護福祉士会で実施している研修等も、さら

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

このような法の改正や教育カリキュラムの見直しの目的は何で、何故このような動きになっているのでしょうか。

今や介護福祉士制度の発足から二十一年、一人一人の介護福祉士、職能団体、国及び行政関係者が一体となって、介護福祉士に対するさまざまな期待に応え、介護福祉士の存在感を高めていくべき重要な時期を迎えていることは間違いありません。

制度発足以来、初めてといていい位の大きな制度改正の内容について考えるとき、個々の介護福祉士の方には、常にこのことを念頭に置いていただきたいと思

次に「職場において介護福祉士としての専門性を認知されているか」という問いに対して、「認められていない」と答えたのは五

「収入や身分が安定しているから」という動機は五・三％しかありません。認知症の家族の介護について相談したい、という利用者、社会からの期待です。また、施設等でリーダー的存在になる、キャリアアップのきっかけとした

このように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

述べているように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

は、介護従事者等の賃金をはじめとする処遇の改善に資するための施策の在り方について検討を加え、必要があると思われるものは、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとされています。介護福祉士、介護従事者等を通じて、関係者による様々な取組が行われているのです。

また、一人一人の介護福祉士だけが担う役割ではありません。職能団体の力も重要になります。現在、介護福祉士会で実施している研修等も、さら

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

今や介護福祉士制度の発足から二十一年、一人一人の介護福祉士、職能団体、国及び行政関係者が一体となって、介護福祉士に対するさまざまな期待に応え、介護福祉士の存在感を高めていくべき重要な時期を迎えていることは間違いありません。

制度発足以来、初めてといていい位の大きな制度改正の内容について考えるとき、個々の介護福祉士の方には、常にこのことを念頭に置いていただきたいと思

次に「職場において介護福祉士としての専門性を認知されているか」という問いに対して、「認められていない」と答えたのは五

「収入や身分が安定しているから」という動機は五・三％しかありません。認知症の家族の介護について相談したい、という利用者、社会からの期待です。また、施設等でリーダー的存在になる、キャリアアップのきっかけとした

このように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

述べているように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

は、介護従事者等の賃金をはじめとする処遇の改善に資するための施策の在り方について検討を加え、必要があると思われるものは、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとされています。介護福祉士、介護従事者等を通じて、関係者による様々な取組が行われているのです。

また、一人一人の介護福祉士だけが担う役割ではありません。職能団体の力も重要になります。現在、介護福祉士会で実施している研修等も、さら

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

今や介護福祉士制度の発足から二十一年、一人一人の介護福祉士、職能団体、国及び行政関係者が一体となって、介護福祉士に対するさまざまな期待に応え、介護福祉士の存在感を高めていくべき重要な時期を迎えていることは間違いありません。

制度発足以来、初めてといていい位の大きな制度改正の内容について考えるとき、個々の介護福祉士の方には、常にこのことを念頭に置いていただきたいと思

次に「職場において介護福祉士としての専門性を認知されているか」という問いに対して、「認められていない」と答えたのは五

「収入や身分が安定しているから」という動機は五・三％しかありません。認知症の家族の介護について相談したい、という利用者、社会からの期待です。また、施設等でリーダー的存在になる、キャリアアップのきっかけとした

このように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

述べているように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

は、介護従事者等の賃金をはじめとする処遇の改善に資するための施策の在り方について検討を加え、必要があると思われるものは、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとされています。介護福祉士、介護従事者等を通じて、関係者による様々な取組が行われているのです。

また、一人一人の介護福祉士だけが担う役割ではありません。職能団体の力も重要になります。現在、介護福祉士会で実施している研修等も、さら

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

今や介護福祉士制度の発足から二十一年、一人一人の介護福祉士、職能団体、国及び行政関係者が一体となって、介護福祉士に対するさまざまな期待に応え、介護福祉士の存在感を高めていくべき重要な時期を迎えていることは間違いありません。

制度発足以来、初めてといていい位の大きな制度改正の内容について考えるとき、個々の介護福祉士の方には、常にこのことを念頭に置いていただきたいと思

次に「職場において介護福祉士としての専門性を認知されているか」という問いに対して、「認められていない」と答えたのは五

「収入や身分が安定しているから」という動機は五・三％しかありません。認知症の家族の介護について相談したい、という利用者、社会からの期待です。また、施設等でリーダー的存在になる、キャリアアップのきっかけとした

このように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

述べているように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

は、介護従事者等の賃金をはじめとする処遇の改善に資するための施策の在り方について検討を加え、必要があると思われるものは、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとされています。介護福祉士、介護従事者等を通じて、関係者による様々な取組が行われているのです。

また、一人一人の介護福祉士だけが担う役割ではありません。職能団体の力も重要になります。現在、介護福祉士会で実施している研修等も、さら

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

今や介護福祉士制度の発足から二十一年、一人一人の介護福祉士、職能団体、国及び行政関係者が一体となって、介護福祉士に対するさまざまな期待に応え、介護福祉士の存在感を高めていくべき重要な時期を迎えていることは間違いありません。

制度発足以来、初めてといていい位の大きな制度改正の内容について考えるとき、個々の介護福祉士の方には、常にこのことを念頭に置いていただきたいと思

次に「職場において介護福祉士としての専門性を認知されているか」という問いに対して、「認められていない」と答えたのは五

「収入や身分が安定しているから」という動機は五・三％しかありません。認知症の家族の介護について相談したい、という利用者、社会からの期待です。また、施設等でリーダー的存在になる、キャリアアップのきっかけとした

このように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

述べているように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

は、介護従事者等の賃金をはじめとする処遇の改善に資するための施策の在り方について検討を加え、必要があると思われるものは、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとされています。介護福祉士、介護従事者等を通じて、関係者による様々な取組が行われているのです。

また、一人一人の介護福祉士だけが担う役割ではありません。職能団体の力も重要になります。現在、介護福祉士会で実施している研修等も、さら

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

今や介護福祉士制度の発足から二十一年、一人一人の介護福祉士、職能団体、国及び行政関係者が一体となって、介護福祉士に対するさまざまな期待に応え、介護福祉士の存在感を高めていくべき重要な時期を迎えていることは間違いありません。

制度発足以来、初めてといていい位の大きな制度改正の内容について考えるとき、個々の介護福祉士の方には、常にこのことを念頭に置いていただきたいと思

次に「職場において介護福祉士としての専門性を認知されているか」という問いに対して、「認められていない」と答えたのは五

「収入や身分が安定しているから」という動機は五・三％しかありません。認知症の家族の介護について相談したい、という利用者、社会からの期待です。また、施設等でリーダー的存在になる、キャリアアップのきっかけとした

このように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

述べているように、介護福祉士が利用者のニーズに対応した介護を提供し、その社会的評価を高めていくための向上が不可欠です。

は、介護従事者等の賃金をはじめとする処遇の改善に資するための施策の在り方について検討を加え、必要があると思われるものは、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとされています。介護福祉士、介護従事者等を通じて、関係者による様々な取組が行われているのです。

また、一人一人の介護福祉士だけが担う役割ではありません。職能団体の力も重要になります。現在、介護福祉士会で実施している研修等も、さら

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

また、中小零細な規模の事業所で就労している介護福祉士に対しては、様々な形で職能団体が支え、力になり、情報を提供することもあってほしい。潜在的な介護福祉士の掘り起こしや登録等を行い、さまざまな形で集約した介護福祉士の声を、政策提言として国民や国会、行政に発信する、ということもあってほしい。

# 平成19年度事業報告書

## I 法人の概況

1. 設立年月日  
平成十二年六月二十六日（任意団体設立：平成六年二月十二日）
2. 定款に定める目的  
本会は、介護福祉士の職業倫理及び専門性の確立、介護福祉に関する専門的教養及び研究の推進並びに介護に関する知識の普及を図り、介護福祉士の資質及び社会的地位の向上に資するとともに、国民の福祉の増進に寄与することを目的とする。
3. 定款に定める事業内容  
(1) 介護福祉士の職業倫理並びに専門的知識及び技術の向上に関する事業  
(2) 介護福祉に関する調査研究に関する事業  
(3) 介護福祉士教育機関その他関係団体との連携及び協力に関する事業  
(4) 介護福祉の普及啓発に関する事業  
(5) 介護福祉士の相互福祉に関する事業  
(6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

種類	当期末	前期末比増減
正会員	四一、五二四	二、四三五(増)
賛助会員	一一一	二(増)
名誉会員	一	一

※正会員については、定款第七条及び第八条第四項の規定に従い整理した。

6. 主たる事務所の状況  
主たる事務所：東京都港区虎ノ門一丁目二十二番十三号 西勘虎ノ門ビル三階
7. 役員等に関する事項  
(別表一) 省略
8. 職員に関する事項

職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男子 六名	〇名	歳	二年八月
女子 二名	一名	歳	三年六月
合計(男女均)	八名	四十五歳	三年二月

## II 事業の状況

1. 介護福祉士の職業倫理並びに専門的知識及び技術の向上に関する事業  
(1) 専門分野に関する事業  
○生涯研修制度検討委員会

○当年度においては七回の委員会を開催し、生涯研修体系について検討を行った。また、ファーストステップ研修の諸規程を検討した。

○介護福祉士初任者研修のカリキュラムを見直し、テキストの改訂を行った。

○ファーストステップ研修の講師養成・テキスト作成の検討を行った。

○生涯研修手帳の運用を開始した。

○ケアマネジメント研究会  
(改訂版) 社団法人日本介護福祉士会方式「生活七領域から考える生活援助を基礎とした自立支援アセスメント・ケアプラン」を作成した。

○介護の専門性に関する研究機関の設置の検討  
・前年度に引き続き、「(仮称) 認定専門介護福祉士(認知症) 養成研修」を行う中で検討した。

(2) 各種研修に関する事業  
①日本介護福祉士会員が広く参加する研修  
○全国大会の開催(広島県)  
○ブロック研修会の充実(ブロック研修及びブロックリーダー研修)  
②総合的なキャリアアップを目的とする研修(生涯研修)プログラムに則って実施  
○初任者研修の実施  
・都道府県支部において実施した。

○ファーストステップ研修試行事業の実施  
・静岡県、東京都、新潟県、長野県、愛知県、神奈川県、京都府、福岡県、近畿ブロックにおいて実施。

○リーダー研修の実施  
・ファーストステップ研修の講師養成を東西会場において実施した。(東京都・大阪府)

○ファーストステップ講師養成フォローアップ研修会の実施  
・ファーストステップ研修が円滑に実施されるよう東西会場において実施した。(東京都、大阪府)

○(仮称) 認定専門介護福祉士(認知症) 養成研修の実施  
・東京都において実施した。  
○介護実習指導者研修の実施  
・東京都において実施した。

○生涯研修制度検討委員会  
③職能的研修

○サービス提供責任者研修の実施  
・大阪府、京都府において実施した。

○介護支援専門員現任研修(ICFの視点を含めた「日介方式アセスメント・ケアプラン(改訂版)」を学ぶ)の実施  
・東京都において実施した。

④その他の研修  
○介護福祉士海外研修・調査への会員参加及び募集協力を行った。  
主 催：財団法人社会福祉振興・試験センター  
派遣国：スウェーデン  
実施期間：平成十九年九月十五日～九月二十九日

2. 介護福祉に関する調査研究に関する事業  
○第七回介護福祉士の就労実態と専門性の意識に関する調査  
・より良い介護サービスの提供に資すること等を目的として、時代の変遷とともに介護福祉士に求められているものおよび就労実態に関する調査結果をまとめた報告書を配布した。

○介護福祉士の給与に関する調査  
・求人案内情報等の資料を収集し、介護福祉士の給与実態に関して、調査結果をまとめた報告書を配布した。

3. 介護福祉士教育機関その他関係団体との連携及び協力に関する事業  
○当年度は、各団体と連携し、「別表二・省略」のとおり連携強化を図った。

○介護技術講習会主任指導者養成講習会の実施  
・北海道において実施した。

○介護技術講習会指導者養成講習会の実施  
・都道府県支部において実施した。

○第二十回介護福祉士国家試験(実技試験)の実地試験委員として、九十四名を派遣した。

4. 介護福祉の普及啓発に関する事業  
○介護相談  
・全国一斉介護相談「敬老の日・老人保健福祉週間の活動に協力実施支部において実施した。(参考資料参照)

○日本介護福祉士会ニュースの発行  
・当年度は通巻七十九号から八十四号を偶数月十五日に隔月発行した。支部を通じて全会員に送付するほか、有償購読者八十一(介護福祉士養成施設、その他個人・団体)に送付している。

○リーフレット(入会案内)・ポスターの作成  
・入会を促進するためリーフレットのデザインを一新し、また、ポスターを作成し、適宜配布した。

○ホームページによる情報提供  
・昨年度に引き続き、速やかな情報更新を行った。

○介護福祉士国家試験受験対策事業の実施(模擬試験等)  
・介護福祉士国家試験受験支援のための、全国一斉模擬試験の実施(参考資料参照)

○介護福祉士国家試験解答速報の福祉新聞への掲載  
○「受験せよみなる」の福祉新聞への掲載  
○介護支援専門員全国一斉模擬試験の実施(参考資料参照)

○各種出版物の発行  
・介護福祉士初任者のための実践ガイドブック  
・生活七領域から考える自立支援アセスメント・ケアプラン作成マニュアル(Ver. 1.4)

5. 介護福祉士の相互福祉に関する事業  
○会員専用福利厚生制度(安心三重奏)の団体加入促進に取り組んだ。  
○昨年度に引き続き、会員証付帯福利厚生制度の充実に取り組んだ。

6. その他本会の目的を達成するために必要な事業  
○制度政策検討委員会  
・当年度においては五回の委員会を開催し、介護保険制度等の見直しの検討を行い、また、社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正における政策提言について検討し、要望書を国に提出した。

○学術研究活動  
・第五回日本介護学会を福岡県において実施した。

○学術専門誌「介護福祉士」八号及び九号を刊行した。

○組織財政運営(諸会議の開催)  
・通常総会一回  
・理事会二回  
・常任理事会八回  
・正会員理事懇談会二回  
・都道府県会長会二回  
・都道府県事務局担当者会議一回  
・研修委員会一回  
・全国大会実行委員会二回  
・選挙管理委員会三回  
・選挙制度検討委員会一回  
・収益事業検討委員会一回  
・カリキュラム検討委員会九回  
・ブロック会議(各ブロックで二回)

○介護福祉士初任者のための実践ガイドブック  
・生活七領域から考える自立支援アセスメント・ケアプラン作成マニュアル(Ver. 1.4)

○介護福祉士の相互福祉に関する事業  
○会員専用福利厚生制度(安心三重奏)の団体加入促進に取り組んだ。  
○昨年度に引き続き、会員証付帯福利厚生制度の充実に取り組んだ。

6. その他本会の目的を達成するために必要な事業  
○制度政策検討委員会  
・当年度においては五回の委員会を開催し、介護保険制度等の見直しの検討を行い、また、社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正における政策提言について検討し、要望書を国に提出した。

○学術研究活動  
・第五回日本介護学会を福岡県において実施した。

○学術専門誌「介護福祉士」八号及び九号を刊行した。

○組織財政運営(諸会議の開催)  
・通常総会一回  
・理事会二回  
・常任理事会八回  
・正会員理事懇談会二回  
・都道府県会長会二回  
・都道府県事務局担当者会議一回  
・研修委員会一回  
・全国大会実行委員会二回  
・選挙管理委員会三回  
・選挙制度検討委員会一回  
・収益事業検討委員会一回  
・カリキュラム検討委員会九回  
・ブロック会議(各ブロックで二回)

○介護福祉士初任者のための実践ガイドブック  
・生活七領域から考える自立支援アセスメント・ケアプラン作成マニュアル(Ver. 1.4)

○介護福祉士の相互福祉に関する事業  
○会員専用福利厚生制度(安心三重奏)の団体加入促進に取り組んだ。  
○昨年度に引き続き、会員証付帯福利厚生制度の充実に取り組んだ。

6. その他本会の目的を達成するために必要な事業  
○制度政策検討委員会  
・当年度においては五回の委員会を開催し、介護保険制度等の見直しの検討を行い、また、社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正における政策提言について検討し、要望書を国に提出した。

○学術研究活動  
・第五回日本介護学会を福岡県において実施した。

○学術専門誌「介護福祉士」八号及び九号を刊行した。

○組織財政運営(諸会議の開催)  
・通常総会一回  
・理事会二回  
・常任理事会八回  
・正会員理事懇談会二回  
・都道府県会長会二回  
・都道府県事務局担当者会議一回  
・研修委員会一回  
・全国大会実行委員会二回  
・選挙管理委員会三回  
・選挙制度検討委員会一回  
・収益事業検討委員会一回  
・カリキュラム検討委員会九回  
・ブロック会議(各ブロックで二回)

○介護福祉士初任者のための実践ガイドブック  
・生活七領域から考える自立支援アセスメント・ケアプラン作成マニュアル(Ver. 1.4)

○介護福祉士の相互福祉に関する事業  
○会員専用福利厚生制度(安心三重奏)の団体加入促進に取り組んだ。  
○昨年度に引き続き、会員証付帯福利厚生制度の充実に取り組んだ。

6. その他本会の目的を達成するために必要な事業  
○制度政策検討委員会  
・当年度においては五回の委員会を開催し、介護保険制度等の見直しの検討を行い、また、社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正における政策提言について検討し、要望書を国に提出した。

○学術研究活動  
・第五回日本介護学会を福岡県において実施した。

○学術専門誌「介護福祉士」八号及び九号を刊行した。

○組織財政運営(諸会議の開催)  
・通常総会一回  
・理事会二回  
・常任理事会八回  
・正会員理事懇談会二回  
・都道府県会長会二回  
・都道府県事務局担当者会議一回  
・研修委員会一回  
・全国大会実行委員会二回  
・選挙管理委員会三回  
・選挙制度検討委員会一回  
・収益事業検討委員会一回  
・カリキュラム検討委員会九回  
・ブロック会議(各ブロックで二回)

(会員の加入促進)  
・都道府県会長会において提言を行い、具体的な目標数を決定し、各支部はその達成の取り組みを行った。

・本会活動の積極的な周知に努め、賛助会員の獲得を図るなどとして組織基盤を整備した。

・都道府県介護福祉士会の健全な発展のため、社団法人化を支援した。

・社団法人化支部 七支部(うち十九年度は、広島県、大阪府、岡山県)

○補助金事業  
(公的助成の確保を図り、事業の充実を図った。)

・厚生労働省「介護現場における医療的ニーズに関する認識及び対応等に関する調査研究事業」の実施  
・独立行政法人福祉医療機構「専門性の高い介護福祉士のあり方に関する調査研究事業」の実施  
・財団法人社会福祉振興・試験センター「リーダー研修会」の実施  
・第三者評価事業  
・東京都第三者評価事業の評価機関として認証を受け、評価を行った。  
グループホーム一件、評価者の養成十六名(継続研修を含む)  
・各支部の実施状況  
・富山県、長野県、静岡県、京都府、福岡県で実施した。

○災害時協力活動  
・「能登半島地震」において被災者の方々に対する義援金を募集し、二六一、〇一四円を石川県共同募金会を通じて寄付した。  
・「新潟県中越沖地震」において災害救援ボランティアを派遣し、また、被災者の方々に対する義援金を募集し、七三七、八二七円を中央共同募金会を通じて寄付した。

○災害時協力活動  
・「能登半島地震」において被災者の方々に対する義援金を募集し、二六一、〇一四円を石川県共同募金会を通じて寄付した。  
・「新潟県中越沖地震」において災害救援ボランティアを派遣し、また、被災者の方々に対する義援金を募集し、七三七、八二七円を中央共同募金会を通じて寄付した。

○災害時協力活動  
・「能登半島地震」において被災者の方々に対する義援金を募集し、二六一、〇一四円を石川県共同募金会を通じて寄付した。  
・「新潟県中越沖地震」において災害救援ボランティアを派遣し、また、被災者の方々に対する義援金を募集し、七三七、八二七円を中央共同募金会を通じて寄付した。

○災害時協力活動  
・「能登半島地震」において被災者の方々に対する義援金を募集し、二六一、〇一四円を石川県共同募金会を通じて寄付した。  
・「新潟県中越沖地震」において災害救援ボランティアを派遣し、また、被災者の方々に対する義援金を募集し、七三七、八二七円を中央共同募金会を通じて寄付した。

# 平成20年度事業計画書

## 1. 介護福祉士の職業倫理並びに専門的知識及び技術の向上に関する事業

○介護福祉士の資質向上等を目的として研修を実施する。

### (1) 専門分野に関する事業

○生涯研修制度検討委員会・生涯研修システムを運営し、認証制度を実施する。

○更に継続してシステムの普及・推進について検討を行う。

○ファーストステップ研修の講師養成・テキスト作成を行い、事業運営に必要な通信教育部門、認定認証部門、研修評価部門等を設置する。

○認証制度のシステムを実施し、生涯研修手帳が効果的に活用できるよう支援する。

○ケアマネジメント研究会  
(新改訂版) 社団法人日本介護福祉士会方式「生活七領域から考える生活援助を基盤とした自立支援アセスメント・ケアプラン」を都道府県向け普及を図る。

○介護福祉士をベースとしたケアマネジャーのあり方について検討する。

○各支部はケアマネジメント部会の設置を検討する。

○介護の専門性に関する研究委員会及び部門の設置について検討する。

○専門介護福祉士 (認定専門介護福祉士等) 養成のための研究部門設置に向けて委員会を設ける。

○介護職のための事例研究、研究方法及び発表の仕方などについての研修及び支援を行う委員会を設置し、全国大会、学会発表を促進するとともに専門性の向上・確立を目指す。

(2) 各種研修に関する事業

○日本介護福祉士会会員が広く参加する研修  
○全国大会の開催

○全ての介護福祉士の研究意欲を高めるとともに、介護福祉実践場面での知識・技術の向上を図るため時宜に合ったテーマに沿って、講演、分科会等開催県を全支部が支援し、実施する。(開催県＝群馬県)

○ブロック研修会の開催 (各ブロックで主催)

○介護福祉士としての資質の向上を図るため、介護問題を巡る最新のテーマに基づいた研修会を実施する。

○総合的なキャリアアップを目的とする研修 (生涯研修プログラムに則って実施)

○初任者研修 (各支部実施)  
○初任者を対象として研修を実施する。

○ファーストステップ研修

○国の法令、通知の改正を見込みつつ、各支部で円滑な事業実施が出来るよう研修事業を行う。

○リーダー研修の実施  
○ファーストステップ研修の講師養成をさらに充実させる目的として実施する。

○専門研修  
○(仮称) 認定専門介護福祉士 (認知症) 養成研修の実施

○介護実習指導者研修の実施  
○施設及び養成校における実習の指導に当たる者に必要な知識・技術を付与することを目的として研修を実施する。

○これからの実習指導者養成に求められる研修カリキュラム及びテキスト作成を行う。

○各県で研修が実施出来るように指導者研修会を実施する。

○サービス提供責任者研修の実施

○サービス提供責任者実務者研修講師養成研修 (各ブロック実施)

○介護保険制度で多くの介護福祉士がその責務を担うサービス提供責任者を育成する者に対し、必要な知識を付与することを目的として実施する。

○サービス提供責任者講師養成研修の実施  
○各支部主催サービス提供責任者研修開催の支援を行う

○介護支援専門員現任研修  
○日本介護福祉士会方式アセスメント・ケアプランの見直しに伴い、その学習について研修を実施する。

○介護技術講習会主任指導者・指導者養成研修主任指導者・指導者養成研修を実施する。

○主任指導者養成研修は中央実施、指導者養成研修は支部実施

○その他の研修  
○海外研修の実施

○海外研修センター実施の海外研修  
○海外研修の実施

○海外研修の実施

○海外研修の実施

○海外研修の実施

○海外研修の実施

○海外研修の実施

○海外研修の実施

○海外研修の実施

への会員参加

○その他時宜に応じて必要な研修を行う。

## 2. 介護福祉に関する調査研究に関する事業

○就労実態と専門性の意識に関する調査研究

○より良い介護サービスの提供に資することを目的として、時代の変遷とともに介護福祉士に求められているものおよび就労実態に関する調査を実施し、介護福祉士の現況と今後の方向性について研究する。

○介護に関する調査  
○介護現場におけるサービスの質の確保に関する調査研究

○多様化、複雑化する介護現場における利用者者の安全の確保やサービスの質の向上のための仕組みについて調査し、検討する。(リスクマネジメント、ひやり、ハット等に関する調査)

○保健・医療・福祉の各団体との連携強化  
○必要に応じ他団体、機関、研究所等との連携  
○後継者の育成

○日本介護福祉士養成施設協会等の団体と協力し、後進の育成を図るとともに講師育成を図る。

○各支部事業への支援協力  
○介護福祉士国家試験 (実技試験) の実地試験委員派遣協力。

## 3. 介護福祉士教育機関その他関係団体との連携及び協力に関する事業

○各団体と連携し事業をすすめることにより一層、会の公益性を発揮させる。

○保健・医療・福祉の各団体との連携強化  
○必要に応じ他団体、機関、研究所等との連携  
○後継者の育成

○日本介護福祉士養成施設協会等の団体と協力し、後進の育成を図るとともに講師育成を図る。

○各支部事業への支援協力  
○介護福祉士国家試験 (実技試験) の実地試験委員派遣協力。

## 4. 介護福祉の普及啓発に関する事業

○介護福祉士に対する国民の要望に応え、本会の役割を普及させるため、各種事業を展開する。

○人材確保促進キャンペーンの実施 (介護職のイメージアップキャンペーン等)

○介護相談  
○全国一斉介護相談「敬老の日・老人保健福祉週間」の活動に協力実施

○日本介護福祉士会ニュースの充実・発行 (年六回)

○ポスター及びパンフレットの作成  
○ホームページによる情報提供 (内容の一層の充実を図る)

○調査研究事業の情報提供  
○介護福祉士国家試験受験対策事業の実施 (模擬試験等)

○介護福祉士国家試験回答速報の福祉新聞への掲載

○介護福祉士国家試験回答速報の福祉新聞への掲載

○介護福祉士国家試験回答速報の福祉新聞への掲載

○介護福祉士国家試験回答速報の福祉新聞への掲載

○介護福祉士国家試験回答速報の福祉新聞への掲載

○介護福祉士国家試験回答速報の福祉新聞への掲載

「受験せよな」の福祉新聞への掲載

○介護支援専門員実務研修受講試験受験対策事業の実施 (模範試験等)

○介護に関する出版物の発行

## 5. 介護福祉士の相互福祉に関する事業

○会員相互の連携強化を図るための事業を実施

○各種保険制度への団体加入 (安心三重奏)

○会員証付帯福利厚生制度の充実

## 6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

○制度政策検討に関する事業  
○介護福祉士の労働条件の改善・社会的評価の向上に対する取り組みを図る。

○介護保険制度、自立支援法・医療行為・国家試験・介護福祉教育・外国人労働者などの介護福祉士制度に関する政策・提言については委員会を設け、調査研究、研修部門と連携して検討する。

○行政を始めとする各委員会等に参画し提言していく。なお、国民、市民に向けての情報発信を積極的に行う。

○倫理委員会を設置し、会員の倫理規定や倫理綱領を見直す。

○組織財政運営  
○会議を開催し、健全な本会運営を図る

○総会、理事会及び常任理事会の開催  
○各種委員会及び選挙管理委員会の運営

○各支部策定の「一員加入促進計画」に基づいて介護福祉士登録者の本会への加入を促進し、組織基盤を確立する。

○本会活動の積極的な周知に努め、賛助会員の獲得を図るなどとして組織基盤を整備する。

○本会及び都道府県介護福祉士会の健全な発展のため、公益社団法人認定を目指す。

○公的助成の確保を図り、事業の充実を目指す。

○災害救援事業の充実  
○災害救援マニュアルの作成及びシンポジウムの実施

○学術研究活動  
○日本介護学会の運営と第18回学術集会の開催 (開催県＝富山県)

○会員の実践・研究業績を広く周知し、生かすために専門誌「介護福祉士」(年二回)を発行する。

○第三者評価事業の実施  
○東京都の第三者評価事業への参画や各支部が実施する場合の支援を行う。

○介護サービスの情報の公表事業

○介護サービスの情報の公表事業

○介護サービスの情報の公表事業

○介護サービスの情報の公表事業

○介護サービスの情報の公表事業

○介護サービスの情報の公表事業

# ソウエルクラブ(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

**■職員の健康管理のために**

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康医療相談

**■職員の慶事のお祝いに**

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

**■地域に密着した事業**

- 会員交流事業 (旅行・観劇・スポーツ大会等)

**■職員の万が一の際に**

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

**■職員の余暇活用のために**

- 指定保養所・休暇村他 7種類の宿泊施設、全国289か所
- 海外リフレッシュツアー
- クラブ・サークル活動支援
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

**■職員の資質向上のために**

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会

**■職員の生活サポートのために**

- 住宅ローン・特別資金ローン
- クレジットカード
- ソウエル団体生命保険

**■各種情報提供**

- 会員情報誌、ソウエルクラブニュース
- ホームページ

**加入できる職員**

■社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。

**掛金**

■掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。

加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル

TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
http://www.sowel.or.jp/  
社会福祉法人 福利厚生センター  
〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1-21-17虎ノ門NNビル



魅力ある職場づくりに福利厚生センターをご活用ください

# 平成20年度 一般会計収支計算書 平成19年度

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位:円)

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>I 事業活動収支の部</b>			
1. 事業活動収入			
(1)会費収入	236,000,000	248,000,000	△ 12,000,000
①入会金収入	15,000,000	15,000,000	0
②年会費収入	219,000,000	231,000,000	△ 12,000,000
年会費収入	216,000,000	228,000,000	△ 12,000,000
過年度年会費収入	3,000,000	3,000,000	0
③賛助会費収入	2,000,000	2,000,000	0
(2)事業収入	30,730,000	46,740,000	△ 16,010,000
①研修会費収入	10,000,000	10,000,000	0
②介護技術講習事業収入	1,000,000	2,500,000	△ 1,500,000
③協賛金収入	3,000,000	2,000,000	1,000,000
④購読料収入	200,000	240,000	△ 40,000
⑤生涯研修手帳頒布収入	30,000	3,000,000	△ 2,970,000
⑥ファーストステップ研修会手数料収入	500,000	0	500,000
⑦手数料収入	15,000,000	28,000,000	△ 13,000,000
⑧委託料収入	1,000,000	1,000,000	0
第三者評価事業収入	1,000,000	1,000,000	0
(3)補助金等収入	37,001,000	4,000,000	33,001,000
①リーダー研修助成事業収入	4,000,000	4,000,000	0
②国庫補助収入	33,001,000	0	33,001,000
③老人保健健康増進等事業収入	0	0	0
(4)寄付金収入	0	0	0
①寄付金収入	0	0	0
(5)災害活動費収入	0	0	0
①災害活動費預り金受入収入	0	0	0
(6)雑収入	150,000	60,000	90,000
①雑収入	150,000	60,000	90,000
受取利息収入	100,000	10,000	90,000
雑収入	50,000	50,000	0
事業活動収入計	303,881,000	298,800,000	5,081,000
2. 事業活動支出			
(1)事業費支出	214,351,000	209,300,000	5,051,000
①研修費支出	53,401,000	24,700,000	28,701,000
②調査研究費支出	2,500,000	3,500,000	△ 1,000,000
③広報費支出	8,000,000	8,900,000	△ 900,000
④組織費支出	7,600,000	8,400,000	△ 800,000
⑤専門研究費支出	1,400,000	2,500,000	△ 1,100,000
⑥その他事業費支出	30,400,000	40,800,000	△ 10,400,000
⑦会員証作成費支出	50,000	1,500,000	△ 1,450,000
⑧支部活動費支出	108,000,000	114,000,000	△ 6,000,000
⑨学術研究活動費支出	3,000,000	5,000,000	△ 2,000,000
(2)管理費支出	87,100,000	89,400,000	△ 2,300,000
①人件費支出	42,500,000	42,500,000	0
②顧問料支出	900,000	900,000	0
③事務所費支出	6,500,000	6,500,000	0
④通信運搬費支出	2,500,000	2,500,000	0
⑤事務費支出	9,500,000	10,000,000	△ 500,000
⑥渉外費支出	1,800,000	1,800,000	0
⑦租税公課支出	1,200,000	1,200,000	0
⑧会議費支出	22,200,000	24,000,000	△ 1,800,000
事業活動支出計	301,451,000	298,700,000	2,751,000
事業活動収支差額	2,430,000	100,000	2,330,000
<b>II 投資活動収支の部</b>			
1. 投資活動収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
①基本財産取得支出	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000
②固定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000
投資活動収支差額	△ 1,000,000	△ 3,000,000	2,000,000
<b>III 財務活動収支の部</b>			
1. 財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
<b>IV 予備費支出</b>	1,000,000	0	1,000,000
当期収支差額	430,000	△ 2,900,000	3,330,000
前期繰越収支差額	24,257,634	24,042,174	215,460
次期繰越収支差額	24,687,634	21,142,174	3,545,460

(注) 1. 借入金限度額 なし 2. 債務負担額 なし

(注1) アイ・ジー・オー(有)、(有)グッド・プランナー、新日本法規出版(株)、名鉄観光サービス(株)、東洋羽毛工業(株)、(社)日本介護福祉士養成施設協会、(株)トータル保険サービス、(株)ジャパンケアサービス、医歯薬出版(株)、(株)ニチイ学館、酒井医療(株)、中央法規出版(株)(2口)、学校法人読売理工学院、(有)筒井書房、厚有出版(株)、大塚製薬(株)、(株)全国教育振興会、(社)全国老人福祉施設協議会、学校法人上智社会福祉専門学校、第一法規(株)、(株)損害保険ジャパン(2口)、(株)ジャパン保険サービス(敬称略)(22団体)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
<b>I 事業活動収支の部</b>			
1. 事業活動収入			
(1)会費収入	248,000,000	223,697,000	24,303,000
①入会金収入	15,000,000	15,245,000	△ 245,000
②年会費収入	231,000,000	206,052,000	24,948,000
年会費収入	228,000,000	202,576,000	25,424,000
過年度年会費収入	3,000,000	3,476,000	△ 476,000
③賛助会費収入(注1)	2,000,000	2,400,000	△ 400,000
(2)事業収入	46,740,000	36,499,031	10,240,969
①研修会費収入	10,000,000	10,301,000	△ 301,000
②介護技術講習事業収入	2,500,000	944,000	1,556,000
③共催事業収入	0	0	0
④協賛金収入	2,000,000	1,792,735	207,265
⑤購読料収入	240,000	201,000	39,000
⑥生涯研修手帳頒布収入	3,000,000	4,188,660	△ 1,188,660
⑦手数料収入	28,000,000	18,751,636	9,248,364
⑧委託料収入	1,000,000	320,000	680,000
第三者評価事業収入	1,000,000	320,000	680,000
(3)補助金等収入	4,000,000	13,323,000	△ 9,323,000
①リーダー研修助成事業収入	4,000,000	4,000,000	0
②老人保健健康増進等事業収入	0	9,323,000	△ 9,323,000
(4)寄付金収入	0	10,000	△ 10,000
①寄付金収入	0	10,000	△ 10,000
(5)災害活動費収入	0	0	0
①災害活動費預り金受入収入	0	0	0
(6)雑収入	60,000	322,979	△ 262,979
①雑収入	60,000	322,979	△ 262,979
受取利息収入	10,000	204,534	△ 194,534
雑収入	50,000	118,445	△ 68,445
事業活動収入計	298,800,000	273,852,010	24,947,990
2. 事業活動支出			
(1)事業費支出	209,300,000	187,964,430	21,335,570
①研修費支出	24,700,000	21,564,403	3,135,597
②調査研究費支出	3,500,000	10,676,959	△ 7,176,959
③広報費支出	8,900,000	8,139,516	760,484
④組織費支出	8,400,000	6,648,815	1,751,185
⑤専門研究費支出	2,500,000	2,507,984	△ 7,984
⑥その他事業費支出	40,800,000	35,502,063	5,297,937
⑦会員証作成費支出	1,500,000	774,690	725,310
⑧支部活動費支出	114,000,000	97,650,000	16,350,000
⑨学術研究活動費支出	5,000,000	4,500,000	500,000
(2)管理費支出	89,400,000	84,448,767	4,951,233
①人件費支出	42,500,000	42,202,282	297,718
②顧問料支出	900,000	793,750	106,250
③事務所費支出	6,500,000	6,368,634	131,366
④通信運搬費支出	2,500,000	2,688,428	△ 188,428
⑤事務費支出	10,000,000	9,044,147	955,853
⑥渉外費支出	1,800,000	1,748,970	51,030
⑦租税公課支出	1,200,000	906,600	293,400
⑧会議費支出	24,000,000	20,695,956	3,304,044
(3)他会計への繰入金支出	0	591,883	△ 591,883
①特別会計(医療機構)への繰入金支出	0	24,699	△ 24,699
②特別会計(学会)への繰入金支出	0	567,184	△ 567,184
事業活動支出計	298,700,000	273,005,080	25,694,920
事業活動収支差額	100,000	846,930	△ 746,930
<b>II 投資活動収支の部</b>			
1. 投資活動収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
①基本財産取得支出	3,000,000	0	3,000,000
②固定資産取得支出	0	631,470	△ 631,470
投資活動支出計	3,000,000	631,470	2,368,530
投資活動収支差額	△ 3,000,000	△ 631,470	△ 2,368,530
<b>III 財務活動収支の部</b>			
1. 財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
<b>IV 予備費支出</b>	0	0	0
当期収支差額	△ 2,900,000	215,460	△ 3,115,460
前期繰越収支差額	24,042,174	24,042,174	0
次期繰越収支差額	21,142,174	24,257,634	△ 3,115,460

平成19年度特別会計決算、平成20年度特別会計予算についてはホームページをご覧ください。

# 第6回日本介護学会

日程：12月6日 (土)～7日 (日)

会場：富山観光ホテル  
富山市呉羽町7538

第6回日本介護学会で発表いただく研究事例を広く皆様より募集いたします。

日頃の実践結果をぜひ発表してください。

論文は、学会の投稿規程によりますので、詳細につきましては日本介護学会までお問い合わせいただくか、本会ホームページをご参照ください。

締め切り：7月31日 (木) 当日消印有効

投稿規定に従い、「論文」「調査報告」「実践報告」の区分を明記してください。

問い合わせ先 日本介護学会事務局 (社団法人日本介護福祉士会内)  
TEL 03-3507-0784

## 東海・北陸ブロック研修会

1. テーマ 「尊厳ある生を支える介護」  
- 利用者の安全・安心を守り、利用者と介護福祉士がともに元気を分かち合える介護を目指します。 -
2. 日程 7月19日 (土)～20日 (日)
3. 会場 山代温泉 ホテル「雄山閣」(石川県加賀市)
4. 定員 300名
5. 参加費 会員3000円 一般8000円 学生1000円
6. プログラム  
(第1日目)  
13:00～ 開会式  
13:30～ 行政説明 厚生労働省 (予定)  
15:00～ 記念講演 (仮題)「これからの介護福祉士に求められる介護とは何か」  
大田仁史氏 (茨城県立健康プラザ管理者)  
18:00～ 懇親会  
(第2日目)  
9:00～ 分科会  
第1分科会 「医療行為」  
「緊急時・終末期に介護福祉士がどう向き合うか」  
司会：端久美氏 (特別養護老人ホーム福寿園副施設長)  
助言者：田中雅子 (社団法人日本介護福祉士会名誉会長)  
第2分科会 「認知症」  
「認知症高齢者とどう付き合うか」  
司会：境田史氏 (グループホームレインボー1)  
助言者：石原俊彦氏 (介護老人保健施設福久ケアセンターサービスマネージメント部長)  
第3分科会 「やりがいのある仕事」  
「魅力ある職場作りにチャレンジ」  
司会：愛宕悦子 (石川県介護福祉士会副会長)  
助言者：荒木重嗣氏 (新潟青陵大学短期大学部人間総合学科教授)  
11:00～ 全体会 まとめ  
12:00～ 閉会式
7. 問い合わせ先 石川県介護福祉士会事務局  
TEL 076-234-1151

# 平成二十一年度(第三十七回) 民間社会福祉施設職員 海外研修生の募集

中央競馬馬主社会福祉財団では、外国の施設において知識・技能を習得し、我が国の社会福祉サービスの向上に資することを志向する民間社会福祉施設の直接処遇職員に対し、助成金を交付する海外研修事業を実施しています。

研修方法は、最初にデンマーク又はアメリカで二週間の合同研修を行い、その研修経験を元に各人が個別に設定した研修テーマにより個別研修を行います。なお、研修国は原則三カ国以内とされています。

研修の時期等は四月初旬からで、二カ月から四カ月までの承認された期間です。助成金は、承認された期間に応じて滞在費が航空運賃等と合わせ交付されます。助成額は、三カ月の場合合百六十万円以内となっております。

なお、海外研修の対象職種及び応募方法は次の通りですが、詳細な内容については、末尾記載の企画・管理部へお問い合わせください。

**【対象職種】**  
①生活指導員 ②職業指導員 ③児童指導員 ④心理・職能判定員

**【募集人員】**  
十人程度

**【応募方法】**  
応募書類を施設の長が

**【対象要件】**  
①年齢 二十七歳以上四十五歳以下の者  
②経歴年数 五年以上の者  
③研修・研究する具体的なテーマを有する者  
④英語の日常会話及び研修科目の専門用語の知識を有する者

**【試験期日】**  
平成二十年九月十八日(木)から十九日(金)

**【合格発表】**  
平成二十年九月下旬

**【問い合わせ】**  
(財)中央競馬馬主社会福祉財団 企画・管理部  
TEL 03-5472-5581

都道府県(政令指定都市・中核市)を経由して財団へ提出する。

**【推薦方法】**  
都道府県(政令指定都市・中核市)は、施設の長より申請のあった者の中から一名ないし二名を選定し、財団に推薦する。

**【推薦期限】**  
平成二十年八月三十一日

**【選考方法】**  
①書類審査  
②実地試験

## 九州ブロック研修会

1. テーマ 「介護福祉士を取り巻く現状と課題-魅力ある専門職を目指して-」
2. 日程 9月12日 (金)～13日 (土)
3. 会場 鹿児島県民交流センター (鹿児島県鹿児島市)
4. 定員 600名
5. 参加費 会員3000円 一般6000円 学生1000円
6. プログラム  
(第1日目)  
13:00～ 開会式典  
13:30～ 基調講演 厚生労働省 (予定)  
15:15～ 分科会  
第1分科会 認知症  
座長：白仁田敏史 (日本介護福祉士会監事)  
第2分科会 福祉レク  
座長：松園タミ子 (鹿児島県介護福祉士会理事)  
第3分科会 フットケア (爪切り)  
座長：牧尾美由紀 (鹿児島県介護福祉士会理事)  
第4分科会 ターミナルケア  
座長：田中安平 (鹿児島県介護福祉士会会長)  
第5分科会 障害者自立支援制度の行方  
座長：原田啓介 (鹿児島県介護福祉士会理事)  
(第2日目)  
9:30～ 特別講演 松尾清美氏 (佐賀大学医学部准教授)  
13:00～ 記念講演 岩本昭雄氏 (鹿児島子ども研究センター所長)  
岩本綾氏 (いのちと心をつなぐネットワーク「えほんの会AYA」日本ダウン症協会会員)  
14:30～ 閉会式
7. 問い合わせ先 鹿児島県介護福祉士会事務局  
TEL 099-206-3050

# ふれあいケア

2008年 7月号 6月20日発行

### 特集 効果的なケアカンファレンスを開こう

◆質の高いサービス提供のために、職員間で情報を共有化し、課題を分析し、サービスを組み立てる会議の充実には欠かすことができません。介護の現場ではさまざまな会議が開催されますが、それぞれの会議の目的や生活に応じて開催方法、進行方法を検討する必要があります。本企画では、施設におけるケアカンファレンスを運営していく上での留意点を確認し、各職種の意見を引き出しながら論議を集約し、チームケアの充実に役立てていくための工夫についてアドバイスします。

### 好評連載

その人らしい生活を支援する介護過程/危険予知能力を鍛えよう/介護職員のメンタルヘルスクエ/旬を召し上げ/ふれあいケアのHint&Tips/高齢者のからだに気になる症状/ほか

### バックナンバー

2008年1月号	介護職員が語る「2008年、こんな年にしたい」	2008年4月号	利用者の夜を支える介護
2008年2月号	チームケアを推進する力	2008年5月号	介護福祉士はどう変わるのか
2008年3月号	小規模多機能型居宅介護の今	2008年6月号	新人職員に伝えたい「介護の魅力」

### 定期購読申込み受付中!

【FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい】お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号、冊数」を忘れずにご記入下さい。バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。

●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ●

全社協 社会福祉法 全国社会福祉協議会出版部  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
TEL: 03-3581-9511

〈注文用〉 FAX: 03-3581-4666 E-mail: zensyakyo-s@shakyo.or.jp

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ 福祉の本出版目録 検索 ▶▶ http://www.fukushinohon.gr.jp

# 第15回全国大会開催要項

1. テーマ 「魅力ある介護福祉士」  
ー時代が求める介護福祉士を目指してー
2. 期 日 9月20日(土)～21日(日)
3. 会 場 伊香保温泉「ホテル天坊」  
群馬県渋川市伊香保町396-20
4. 参加人数 600名
5. プログラム  
 <第1日目>9月20日(土)  
 13:00～ 全体会  
 開会式典  
 基調講演 厚生労働省(予定)  
 記念講演 依萌子氏  
 報告 「生涯研修制度について」  
 17:00 1日目終了  
 18:30～ 「ホテル天坊」にて懇親会  
 <第2日目>9月21日(日)  
 9:00～ 分科会  
 第1分科会①「認知症高齢者への自立支援」  
 座長：森繁樹氏(介護付有料老人ホーム「結びの杜ホーム」所長兼  
 三世代交流センターよしい川所長兼旭川荘研修センター所長)  
 第1分科会②「認知症高齢者への自立支援」  
 座長：宮島渡氏(高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ施設長)  
 第2分科会「在宅生活(高齢者・障害者等)への自立支援」  
 座長：奥西栄介氏(神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授)  
 第3分科会「福祉・介護現場の人材育成」  
 座長：是枝祥子氏(大妻女子大学人間関係学部教授)  
 12:00～ 昼食  
 13:00～ 全体会  
 シンポジウム  
 テーマ「介護福祉士をとりまく環境について」  
 ー福祉・介護現場の春を目指してー  
 15:00～ 分科会報告  
 15:15～ 閉会式典  
 15:30 第15回全国大会閉幕  
 <併設展示会>  
 ホテル天坊内に展示ブースを設置し、書籍販売等を行います。  
 6. 参加費 会員3000円 一般10000円 学生1000円  
 7. 申し込み先 JTB総合提携店  
 国際トラベルサービス株式会社  
 TEL 027-362-8673 FAX 027-362-8410  
 受付時間：平日9:00～18:00 日祝祭日は休業日  
 8. 問い合わせ先 社団法人日本介護福祉士会事務局  
 TEL 03-3507-0784

## 第15回全国大会であなたの研究成果を発表してください!

<事例発表の申込方法>

1. 事例発表の希望者は「事例発表申込書」に必要事項を記入し、事務局宛てにFAXまたはEメールで送付してください。  
 申込締切は7月25日(金)必着です。(郵送の場合も同日必着)  
 送付先 FAX : 03-3507-8810  
 Eメール: webmaster@jaccw.or.jp
2. 発表事例は、第1～第3分科会のテーマより選択してください。  
 第1分科会: 「認知症高齢者への自立支援」  
 第2分科会: 「在宅生活(高齢者・障害者等)への自立支援」  
 第3分科会: 「福祉・介護現場の人材育成」
3. 申込事例は本会で選考のうえ発表事例を決定し、ご本人宛て通知します。
4. 選考に際しては、会員を優先させていただきます。
5. 発表事例は抄録原稿を大会資料冊子に掲載し、分科会において決められた時間内で口頭発表していただきます。(発表、質疑応答合わせて10分程度)
6. 事例発表者は予め申し出てパソコン・プロジェクター等を使用することができます。

<抄録の提出>

1. 事例発表者には、事前に発表要旨の抄録を提出していただきます。  
 抄録提出締切りは8月8日(金)必着です。
  2. 抄録は必ずパソコンまたはワープロで作成し、フロッピーディスクの送付もしくはEメールによる提出とします。
  3. パソコンで作成する場合、文章はWord、表データはExcelで作成してください。
  4. ワープロで作成する場合は、紙に印刷した抄録原稿とMS-DOS変換して保存したフロッピーを併せて提出してください。
  5. 原稿量はおおむねA4用紙で4枚程度とします。
- 注) 発表者の大会参加費用は全て本人負担とします。

### 事例発表申込書

フリガナ		会員番号	所属支部名
氏名	(男・女)		
勤務先名	TEL		
住所	FAX		
	Eメール		
業種	施設サービス・在宅サービス・その他 具体的に( )	職種	
自宅	〒	TEL	
		FAX	
		Eメール	
連絡先	1. 勤務先 2. 自宅 どちらかに○をつけて下さい。		
テーマ および 副題			
発表概要・内容			
使用機材	1. 使用しない 2. パソコン・プロジェクター 3. その他( )		

申込先: 社団法人日本介護福祉士会  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13 西勘虎ノ門ビル3階  
 FAX: 03-3507-8810 E-mail: webmaster@jaccw.or.jp  
申込締切: 平成20年7月25日(金)必着

### 支部の研修

#### 鳥取支部研修情報

- 【初任者研修会】  
 ▼日程 七月十七日(木)、七月二十  
 五日(金)、七月三十日(水)  
 ▼会場 地域交流センター「アゼリ  
 アホール」(鳥取県倉吉市)  
 ▼問い合わせ先 鳥取県介護福祉士会  
 TEL 0857-591-6336

#### 広島支部研修情報

- 【介護福祉士職場復帰応援セミナー】  
 ▼日程 六月二十八日(土)  
 ▼会場 広島市中区地域福祉センター  
 ▼内容 「最近の福祉現場について」  
 ・演習「介護技術を思いだそう!」  
 ・対象 介護福祉士有資格者で、現  
 在介護の仕事から離れている人  
 ▼参加費 無料  
 ▼申し込み・問い合わせ先 社団法  
 人広島県介護福祉士会  
 TEL 082-254-3016

### 近畿ブロック リーダー研修

- ▼日時 八月十六日(土) 十四時～  
 十七日(日) 十二時  
 ▼会場 洛西ふれあいセンター保養  
 研修センター ふれあい会館(京都  
 府京都市)  
 ▼テーマ  
 ・介護職員の人材確保について  
 ・社団法人化への取り組みについて  
 ・参加者同士の意見交換 等  
 ▼問い合わせ先 京都府介護福祉士会  
 TEL 075-801-8060

介護福祉士向け専門情報誌

## 介護福祉

- ☆発行回数 年4回/春・夏・秋冬号
- ☆購読料(年) 3,440円(4合分・送料含む)
- ☆申込み先 財団法人 社会福祉進行・試験センター  
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOビル  
 TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514  
 インターネットによる申込 <http://www.sssc.or.jp>  
 郵便振替口座 00120-5-138401

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

夏号(20年6月発行)特集「介護研究の進め方」

秋号(20年9月発行)特集「介護における医学的知識」



# 社団法人 日本介護福祉士会

# 11月11日が 「介護の日」に決まる

## 福祉人材フォーラムを開催 魅力ある介護の職場づくりとは

7月27日(日)、東京国際フォーラムにて「福祉人材フォーラム」(主催/厚生労働省、社会福祉法人全国社会福祉協議会)が開催された。

冒頭挨拶で、舛添要一厚生労働大臣は、昨今、介護に携わる人の賃金が減少していることを指摘し、「これからの介護事業においては、介護保険料の上昇と介護に携わる人の処遇のバランスを図る必要があること、介護の仕事に希望を持つ人が長く働ける職場づくりが重要」と述べた。

その上で、毎年11月11日を「介護の日」と決定し、同日にはさまざまな催事を実施することを発表。要介護者が健常者と同様の生活を送れるよう、国民が助け合う精神が大切である」と強調した。

続いて、堀田力氏(さわやか福祉財団理事長)が「幸せをつくるプロになろう」と題し、基調講演を行った。堀田氏は、①要介護高齢者が増えつ

つあるのに反し、少子化の進展により介護労働者が不足していること②介護労働者の報酬が低く、仕事が続かないこと③介護報酬が介護労働者にきちんと支払われていないか実態調査をしっかりと行う必要があること、を挙げた。

午後からは、北浦正行氏(財団法人社会経済生産性本部事務局長)をコーディネーターとして招き、「魅力ある職場づくりをどう進めるか」と題し、シンポジウムが行われた。

4名のシンポジストが「魅力ある職場づくりの課題と解決策」を発表。山田壽志氏(社会福祉法人健光園常務理事)は、介護職キャリアアップのグランドデザインを示す必要性を述べた。

馬袋秀男氏(株)ジ

つあるのに反し、少子化の進展により介護労働者が不足していること②介護労働者の報酬が低く、仕事が続かないこと③介護報酬が介護労働者にきちんと支払われていないか実態調査をしっかりと行う必要があること、を挙げた。

午後からは、北浦正行氏(財団法人社会経済生産性本部事務局長)をコーディネーターとして招き、「魅力ある職場づくりをどう進めるか」と題し、シンポジウムが行われた。

4名のシンポジストが「魅力ある職場づくりの課題と解決策」を発表。山田壽志氏(社会福祉法人健光園常務理事)は、介護職キャリアアップのグランドデザインを示す必要性を述べた。

馬袋秀男氏(株)ジ

## 全国大会(群馬県・伊香保温泉)への誘い

第15回全国大会が群馬県伊香保温泉を会場とし、9月20日(土)21日(日)の2日間開催されます。記念講演では、著名なエッセイストでもあり陶芸家でもある本県在住の依萌子氏にご講演をいただきます。さて今回は例年と趣をかえ、伊香保温泉「ホテル天坊」にて大会と宿泊を同一会場で行います。ここ数年、地域ケア体制の構築という言葉が頻りに使われます。その基本は人の輪、人と人とのつながり、連携です。大会と宿泊を同一会場に設定した主意はここにありま。全国各地より年に一度集う会員の皆様、研修を受け

てただ散会してしまわない。初めて顔を合わせる会員同士、大会懇親会・宿泊と同時進行を互いに過ごし、ポイントを絡んで、ご自身のネットワークをもうひと回りもふた回りも大きく広げてみませんか。個々のネットワークの広がりは、会員

間の絆を結びつけることとなり、ひいては日本介護福祉士会組織力向上に繋がると思われます。「二十歳の提言」を受け、二十一歳の第一歩としてどうぞ、舞うかたちの群馬県へお越しください。皆様のご参加を群馬県会員一同、心よりお待ちしております。

## 「安心と希望の介護ビジョン」の第1回会議を開催

厚生労働省は、7月24日に「安心と希望の介護ビジョン」の第1回会議を開催した。高齢化の進展に伴い介護費用が急増する中、持続可能な介護保険の構築に向けた方策が大きな課題となっている。

一方、認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加等に対応した地域ケアの構築、介護を担

う介護従事者の人材確保、施設入居者の重度化に伴う医療と介護の連携など様々な問題が指摘されている。

このような問題に対して、将来を見据えた改革が必要であり、そのためには08年中にあるべき介護の姿を示す「安心と希望の介護ビジョン」の策定を行う予定となっている。

## 地域包括支援センターに「認知症連携担当者」を新たに配置

今後の認知症対策を更に効果的に推進し、適切な医療や介護、地域ケア等の総合的な支援により、たとえ認知症ケアを医療が連携できるような、地域包括支援センターに「認知症連携担当者」を創設する必要がある。

「認知症連携担当者」は地域における認知症ケアと医療との連携、認知症ケアの権利擁護業務に係る専門的対応の支援の促進、認知症疾患医療センターとの連携のために地域包括支援センターに配置される。

これにより、地域包括支援センターに「認知症連携担当者」を創設する必要がある。

## 国家試験の在り方検討会 始まる

7月3日、厚生労働省社会・援護局において、国家試験の在り方検討会が立ち上げられた。

社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正する法律案の国会審議における附帯決議や、新教育

カリキュラム導入を踏まえ、国家試験の在り方の見直しを検討することを目指す。この検討会には、田中雅子名誉会長が委員として参画している。

今後、2008年秋を目途に取りまと

## 介護労働者の確保・定着等に関する研究会の中間報告

7月18日、第7回介護労働者の確保・定着等に関する研究会において、第4回の石橋会

長のアリソン氏などを踏まえ、中間とりまとめが示された。

介護労働者対策として、「介護労働者が意欲と誇りを持って働くことができる社会の実現」「介護労働者の確保及びマッチング」「介護労働者の雇用管理改善」があげられた。

介護労働者の雇用管理改善として、「雇用の普及啓発、雇用の研修の実施や支援体制の強化、中小企業の雇用管理の共同化等の実施(雇用管理の認識・必要性)」、「キャリア、能力、資格及

## 9月29日決起集会!

日本介護福祉士会では、9月29日(月)、東京都港区のメルパルクホールにおいて、「介護福祉士は訴える これでもいいのか日本の介護!! ~介護現場から介護保険は崩壊する~」と題した決起集会を開催いたします。

現在、介護の現場では、介護労働に対する評価があまりにも低いため離職率が高まり、新たに介護を目指す者も少なくなり、人材不足を招いております。このままでは国民の介護を担う体制は崩壊してしまうと言っても過言ではありません。

関係者が一体となって介護労働者を守るために行動を起こし、国民運動として機運を高めるために、皆様のご参加をお待ちいたします。

なお、参加費は無料となっております。申し込み方法等詳細については、本会ホームページをご覧ください。各都道府県介護福祉士会へお問い合わせください。

力所に設置することが決定した。

この「認知症疾患医療センター」の設置に伴って、地域での認知症ケアを医療が連携できるような、地域包括支援センターに「認知症連携担当者」を創設する必要がある。

また、認知症に対応できる地域ケアを強化するため、地域包括支援センターの従事者、ケアマネジャー、介護サービス事業所の従事者、医師、訪問看護師等の専門職同士による認知症やその医療・介護に関する事例検討を含む研修や、行政機関、自治会、ボランティア団体等地域住民による協働対応のための研修が実施される。

び職責に見合う賃金制度の構築についての普及(適確な評価・処遇改善とキャリア管理の促進)、「女性が働きやす職場の整備(安心・安全・働きやすい労働環境の整備)」などが盛り込まれた。

今後、この中間報告を踏まえ、介護労働者の確保・定着に向けた確かな政策が展開される。研究会の詳細は厚生労働省等のホームページで閲覧可能。

# 第1回 都道府県介護福祉士会 会長会開催

## 公益法人新制度移行・実習指導者特別研修事業等を推進

平成20年度第1回都道府県介護福祉士会会長会が7月11日、12日の2日間、神奈川県横浜市のウイニング横浜で開催された。

今回は、初日に「公益法人新制度移行に向けて」と題し、内閣府公益認定等委員会事務局相模原支所官補佐に講演をいただいたあと、関連する諸問題と、介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修事業についての2点を討議した。

そのため初日は、各都道府県の事務局長の参加もあり、80名を超える参加者で、実務的な問題について具体的な討議がなされた。



佐が詳細に亘り明快な解説をいただいたことで、日本介護福祉士会の本部のみならず各都道府県支部においても、その目的と意義、準備について同じスタートラインに立つことが出来た有意義な講義であった。

続く会長会では、石橋会長より、日本介護福祉士会は、公益社団として移行の準備に入ること、3年以内の早期実現を目指すことを明言した。なお、各都道府県支部の公益社団化、一般社団化についても継続して検討して

いくこととした。実習指導者特別研修事業については、日本介護福祉士会ならびに各都道府県支部にとり新規事業であり、介護福祉士養成施設や実習施設等の関係者と協力して実施して行く大きな事業であるため、細心の注意が必要であり、質疑応答が繰り返され、相互理解を深めた。

石橋会長からは、今後も周知徹底を図り、関係者と協力し日本介護福祉士会ならびに各都道府県支部が本事業

を成功させようと訴えた。2日目は、日本介護福祉士会が実施した介護労働者を守り日本の介護を良くするための署名活動に込めた思いを国や関係者に届けるために、この9月29日(月)に東京・浜松町のメルパルクホールで実施する人材確保における決起集会を成功させることについて協議し、全ての支部が協力して成功させることを確認した。

全国一斉介護相談については今年度助成事業とすることで、全ての都道府県支部においての実施・協力を協議した。

ほかに第15回全国大会(群馬・伊香保町9月20・21日)の参加促進、富山にて実施する第6回日本介護学会(富山県12月6・7日)に関する意見交換を行い、全国規模での集会の成功を約した。

その他、組織強化を始めとする多くの質疑が活発になされ、2日間の日程を終了した。

### 書評「ケアマネ受験一発合格」

介護福祉士からのキャリアアップとして「ケアマネジャー」の資格取得を考える人が増えています。実際に、ケアマネジャー合格者のうち介護福祉士の占める割合は24・3%で、約4人に1人が介護福祉士です。(第1回、8回試験の合計)

介護福祉士の資格者がケアマネを受験したことが、医療・介護従事者が解答免除

される医療や福祉の基礎知識については「福祉サービス分野の知識等」の15問が解答免除されることも、介護福祉士のケアマネ取得の後押しになっているのかもしれない。

「ケアマネ受験一発合格!」は、「介護支援分野」に絞った内容の受験対策本です。1冊です。(西原修造著・株保育社)

### 関東・甲信越ブロック 研修会報告

去る6月21日、大妻女子大学多摩キャンパスにおいて、第15回ブロック研修会を開催しました。

当日は小雨が降ったり止んだりの天候でしたが、約600名の各県支部の皆さんはそれぞれ貸切バスで会場に乗り付け、熱心に議事に参加されました。

「介護福祉士と自立支援」をメインテーマに設定して、「利用者」の生活を支える介護福祉士の可能性を改めて問い直した今回の研修会では、介護福祉士

にとっては様々な困難な状況に直面している現在、もう一度利用者への支援を振り返りサビスの質を向上させる必要性を再確認しました。

日本介護福祉士会石橋会長のご挨拶を受け、厚生労働省福祉人材確保対策室の齋藤綾子主査からの基調講演を受けて、介護と介護福祉士を取り巻く社会的状況と、求められる介護福祉士に対する社会的期待を実感

### 東海・北陸ブロック 研修会報告

東海・北陸ブロック研修会は、去る7月19日(土)・20日(日)の2日間、北陸石川県の名湯、山代温泉「ホテル雄山閣」で、約220名のご参加をいただき、盛大に開催しました。

現役の福祉関係者だけでなく、次代の介護福祉士たる学生が多く参加されたことには驚きました。

1日目の行政説明では、厚生労働省の齋藤綾子氏から「介護福祉士制度と質の向上について」と題して、法律上の方向性をお伺いすることができました。

しました。リハビリ医である飯島治医師による記念講演、6分野で実施した各分科会での研修等の全てのプログラムを通して、自立支援を実践すべき介護福祉士の社会的役割を改めて自覚し、またサービス向上の必要性を認識した研修会でした。



プラザの大田仁史先生から「これからの介護福祉士に求められる介護とは何か」と題して、介護とリハビリテーションの終末期ケアを題材とした新しい評価方法と考え方、今後の介護の方向性について刺激あるお話をいただきました。

先生は終始柔和な表情で私たち参加者に優しい口調で語りかけられました。

また、夜の懇親会では、普段では味わうことのできない数々のアトラクションやおいしいお酒とお料理に誘われ、初対面の方とも交流の輪が大きく広がりました。

## ソウエルクラブ(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

**加入できる職員**

- 社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。

**掛金**

- 掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。

加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル

TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
http://www.sowel.or.jp/  
社会福祉法人 福利厚生センター  
〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1-21-17虎ノ門NNビル

**職員の健康管理のために**

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康医療相談

**職員の慶事のお祝いに**

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

**地域に密着した事業**

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)

**職員の万が一の際に**

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

**職員の余暇活用のために**

- 指定保養所・休暇村他 7種類の宿泊施設、全国289か所
- 海外リフレッシュツアー
- クラブ・サークル活動支援
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

**職員の資質向上のために**

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会

**職員の生活サポートのために**

- 住宅ローン・特別資金ローン
- クレジットカード
- ソウエル団体生命保険

**各種情報提供**

- 会員情報誌、ソウエルクラブニュース
- ホームページ

魅力ある職場づくりに福利厚生センターをご活用ください

### 近畿ブロック研修会

1. テーマ 介護福祉士の新しい使命と役割
2. 日程 11月9日 (日)
3. 会場 西山記念会館 (兵庫県神戸市)
4. 定員 約400名
5. 参加費 会員3,000円 非会員5,000円、学生1,000円
6. プログラム
  - 9:30~ 開会式
  - 10:00~ 記念講演
  - 13:00~ 基調講演 厚生労働省 (予定)
  - 14:10~ 事例発表
  - 15:10~ シンポジウム
  - 16:10~ 閉会式
7. 問い合わせ先 兵庫県介護福祉士会事務局 TEL 078-232-4590

### 中国・四国ブロック研修会

1. テーマ 「今 変わる時、新しい介護職像へ」
2. 期日 11月14日 (金)~15日 (土)
3. 会場 徳島グランヴィリオホテル1階「グランヴィリオホール」(徳島県徳島市)
4. 定員 500名
5. プログラム
  - <1日目>
    - 13:00~ 開会
    - 14:00~ 行政説明  
講師：厚生労働省 (予定)
    - 15:30~ シンポジウム「今 変わる時、新しい介護職像へ」  
シンポジスト：日本介護福祉士会 会長 石橋真二  
日本療養病床協会 会長 武久洋三氏  
四国大学短期大学部 生活科学科 教授 上田房子氏  
NPO法人 どりーまあサービス 代表 山口浩志氏
  - コーディネーター：全国老人福祉施設協議会 老施協総研 介護委員長 梶田和平氏
  - 18:00~ 交流会
  - <2日目>
    - 9:00~ 特別講演「未定」  
講師：徳島健祥会福祉専門学校 校長 齋藤史郎氏
    - 10:45~ 記念講演「未定」  
講師：瀬戸内寂聴 (調整中)
    - 12:00~ 閉会
6. 参加費 会員3,000円 会員外10,000円 学生1,000円
7. 申し込み先 株式会社 JTB中国四国 徳島支店  
TEL 088-623-1237 FAX 088-654-5120
8. 問い合わせ先 徳島県介護福祉士会事務局 TEL 088-642-9667

認定専門介護福祉士 (認知症) 養成研修が、6月20日から22日(前期・横浜)及び7月12日から13日(後期・東京)の合計5日間行われた。

各都道府県支部から推薦のあった19名の受講者が参加した。森繁樹氏(介護付有料老人ホーム「結びの杜ホーム」所長)、宮島渡氏(高齢者総合福祉施設「アザレアンさなだ」施設長)の二名の講師をはじめ、過去の修了者4名も補助講師として参加した。

研修プログラムは「生活支援の介護とは何か」「介護福祉士の専門性と認知症介護」「その人らしさ」とは何か「生活過程からその人を理解する」「認知症介護におけるコミュニケーション」「介護福祉士の専門性と事例研究の考え方」「生活を支えるケアプランを考える」「ライフサポートの意味」「認知症介護の昨日・今日・明日」となっており、「この研修で学んだことを今後ぜひ皆さんの職場で活かしていただきたい」という石橋会長の激励で5日間の研修が終了した。

研修を終えた受講生からは、「研修期間中、先生方や先輩の方々に

たくさんのお話を教えていただき、目の前が開けたような気持ちになりました。現在グループホームに勤務しておりますが、職員全員で入所者の皆様に寄り添って「生きて行かれるお手伝い」ができればと思っています。各地から参加された皆様と仲良くしていきたいです。今までの歴史があり、今更なる歴史が刻まれている私たちが、今までの自分たちを知らずして、人として

「善」「悪」で認知症の人を評価していたことが、その人を理解したように思い、本当は何かも分かっていなかったことが分かってきました。認知症の人の「今日」があるためには、今までの歴史があり、今更なる歴史が刻まれている私たちが、今までの自分たちを知らずして、人として

「善」「悪」で認知症の人を評価していたことが、その人を理解したように思い、本当は何かも分かっていなかったことが分かってきました。認知症の人の「今日」があるためには、今までの歴史があり、今更なる歴史が刻まれている私たちが、今までの自分たちを知らずして、人として



にあると思えました。この研修で自分のケアの振り返りができ、介護福祉士として前に進む勇気をいただきました。この思いをたくさんの仲間にも伝えていきたいと思っております。ご指導いただいた先生方本当にありがとうございました。研修を受講したこと、自分自身の認知症ケアに自信を持つことができ、非常に有意義な研修であったので、多くの人にこの経験を伝えていきたいという感想があった。

なお、12月より関西地区にて同研修を予定しております。詳細は9月中旬に本会ホームページ等に掲載する予定です。

## 認定専門介護福祉士(認知症)養成研修を実施

## 支部の研修

**京都支部研修情報**  
「ファーストステップ研修」  
日程 9月6日(土)~  
会場 京都社会福祉会館(京都府京都市)  
申し込み締切り 8月30日(水)  
申し込み・問い合わせ先 京都府介護福祉士会事務局  
TEL 075-801-8060

**滋賀支部研修情報**  
「介護福祉士受験準備講座」  
日程 9月13日スタート(8日間)  
「認知症ケア研修(訪問介護サービス)」  
日程 9月3日(水)~4日(木)  
詳細は滋賀県介護福祉士会にお問い合わせ下さい。  
TEL 077-568-1758

**東京支部研修情報**  
「介護支援専門員スキルアップ研修」  
日程 10月25日(土)  
会場 カメリアプラザ(亀戸文化センター)5階第1会議室  
申し込み・問い合わせ先 NPO法人東京都介護福祉士会  
TEL 03-5624-2821

**宮崎支部研修情報**  
「訪問介護サービス提供責任者実務者研修会」  
日程 11月8日(土)~9日(日)  
会場 未定(宮崎市予定)  
申し込み締切り 10月10日(金)  
申し込み・問い合わせ先 宮崎県介護福祉士会事務局  
TEL 0985-22-3710

**中堅介護職のための総合的・専門的・継続的研修コース**  
テーマ 「生活支援としての認知症ケア」  
基本的視点の理解  
日程 10月18日(土)~全5回  
開催場所 上智大学キャンパス内教室  
申し込み・問い合わせ先 上智社会福祉専門学校  
TEL 03-3238-8021

# ふれあいケア

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。

●定価1,020円(本体971円) ●毎月20日発行 ●B5判/80頁 ●送料300円(10冊以上・定期購読の場合は送料サービス)

**2008年 9月号**  
8月20日 発行

**好評連載**

バックナンバー  
(特集)  
2008年3月号 小規模多機能型居宅介護の今  
2008年4月号 利用者の夜を支える介護  
2008年5月号 介護福祉士はどう変わるのか

**特集 今、介護の現場では**

◆介護の現場では、コムの介護報酬不正受給の問題から端を発して、他産業と比べて厳しい賃金体系や労働環境、人材不足や離職の問題などが改めて浮き彫りになりました。また、介護給付費の抑制の動きや、21年4月に向けて介護報酬改定の議論も始まります。そこで、本企画では、介護職員の現状と、介護をめぐる動向、昨今の現場の課題について理解します。

その人らしい生活を支援する介護過程/危険予知能力を鍛えよう/介護職員のメンタルヘルスケア/旬を召し上げ/ふれあいケアのHint&Tips/高齢者のからだに気になる症状/ほか

2008年6月号 新人職員に伝えたい「介護の魅力」  
2008年7月号 効果的なケアカンファレンスを開こう  
2008年8月号 ゆとりある入浴ケア

**定期購読申込み受付中!** 【FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい】 お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号、冊数」を忘れずにご記入下さい。バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。

●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ●

**全社協** 社会福祉法 全国社会福祉協議会出版部  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
TEL: 03-3581-9511

〈注文用〉 FAX: 03-3581-4666 E-mail: zenshako-s@shakyo.or.jp

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ 福祉の本出版目録 検索 ▶▶ http://www.fukushinohon.gr.jp

## 第15回全国大会開催要綱

1. テーマ 「魅力ある介護福祉士」—時代が求める介護福祉士を目指して—
2. 期 日 9月20日(土)～21日(日)
3. 会 場 伊香保温泉「ホテル天坊」群馬県渋川市伊香保町396-20
4. 参加人数 600名
5. プログラム

<第1日目>9月20日(土)

- 13:00～ 全体会  
開会式典  
基調講演 厚生労働省(予定)  
記念講演 俵萌子氏  
報告 「生涯研修制度について」

- 17:00 1日目終了  
18:30～ 「ホテル天坊」にて懇親会

<第2日目>9月21日(日)

- 9:00～ 分科会  
第1分科会①「認知症高齢者への自立支援」  
座長：森繁樹氏(介護付有料老人ホーム「結びの杜ホーム」所長兼  
三世交流センターよしい川所長兼旭川荘研修センター所長)  
第1分科会②「認知症高齢者への自立支援」  
座長：宮島渡氏(高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ施設長)  
第2分科会「在宅生活(高齢者・障害者等)への自立支援」  
座長：奥西栄介氏(神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授)  
第3分科会「福祉・介護現場の人材育成」  
座長：是枝祥子氏(大妻女子大学人間関係学部教授)
- 12:00～ 昼食  
13:00～ 全体会  
シンポジウム テーマ「介護福祉士をとりまく環境について」  
—福祉・介護現場の春を目指して—

- 15:00～ 分科会報告  
15:15～ 閉会式典  
15:30 第15回全国大会閉幕

<併設展示会>

ホテル天坊内に展示ブースを設置し、書籍販売等を行います。

6. 参加費 会員3,000円 一般10,000円 学生1,000円
7. 申し込み先 JTB総合提携店 国際トラベルサービス株式会社  
TEL 027-362-8673 FAX 027-362-8410  
受付時間：平日9:00～18:00 日祝祭日は休業日
8. 問い合わせ先 社団法人日本介護福祉士会事務局  
TEL 03-3507-0784

## 北海道・東北ブロック研修会

1. テーマ 「認知症高齢者と共に暮らすまちづくり  
～介護福祉士の専門性と認知症ケア～」
2. 日 程 10月24日(金)～25日(土)
3. 会 場 天童ホテル(山形県天童市)
4. プログラム  
(1日目) 13:00～ 開会式  
14:00～ ◆記念講演  
テーマ 「新しい介護」と介護福祉士  
講師：「生活とリハビリ研究所」 三好春樹氏  
16:00～ ◆基調講演  
講師：厚生労働省(予定)  
18:00～ ◆懇親会・交流会  
(2日目) 9:30～ ◆記念講演  
テーマ「学習療法の実際」  
講師：くもん学習療法センター 吉岡氏(川島  
隆太氏 ビデオ出演)  
11:30～ 閉会式
5. 問い合わせ先 山形県介護福祉士会事務局  
TEL 023-615-6565

## 第6回日本介護学会

1. 日 程 12月6日(土)～7日(日)
2. 会 場 富山観光ホテル 富山市呉羽町7538
3. プログラム  
(第1日目) (第2日目)  
13:00～開会式 9:00～介護学会  
13:20～記念講演 講師調整中 10:40～研究発表に対する講評  
15:40～介護学会 12:10～閉会式
4. 参加費用 参加費 会員3,000円(日本介護福祉士会会員、一般会員)  
一般13,000円\*  
学生1,000円  
※入会希望の方は別途申込みが必要となりますので、日本介護学会までお問い合わせ下さい。
5. 申し込み方法  
申込書に必要事項をご記入の上、下記にお申し込み下さい。  
名鉄観光サービス(株) 富山支店(担当：橋谷田)  
TEL 076-431-8056 FAX 076-431-2056  
※申込書については、ホームページでダウンロードするか、本会又は支部事務局へお問い合わせ下さい。
6. その他 詳細につきましては、本会ホームページをご欄下さい。

○第6回介護学会で発表いただく研究事例を広く皆様より募集いたします。日頃の実践成果を是非発表してください。

論文は、学会の投稿規程によりますので、詳細につきましては日本介護学会までお問い合わせいただくか、本会ホームページをご参照下さい。

締め切り：8月20日(水) 当日消印有効

投稿規程に従い、「論文」「調査報告」「実践報告」の区分を明記してください。

問い合わせ先 日本介護学会事務局(社団法人日本介護福祉士会事務局内)  
TEL 03-3507-0784

## 九州・沖縄ブロック研修会

1. テーマ 「介護福祉士を取り巻く現状と課題—魅力ある専門職を目指して—」
2. 日 程 9月12日(金)～13日(土)
3. 会 場 かがしま県民交流センター(鹿児島県鹿児島市)
4. 定 員 600名
5. 参加費 会員3,000円 一般6,000円 学生1,000円
6. プログラム  
(第1日目)  
13:00～ 開会式典  
13:30～ 基調講演 厚生労働省(予定)  
15:15～ 分科会  
第1分科会 認知症について  
座長：白仁田敏史(日本介護福祉士会監事)  
第2分科会 福祉レクリエーションについて  
座長：松園タミ子(鹿児島県介護福祉士会理事)  
第3分科会 フットケアについて(爪切り)  
座長：牧尾美由紀(鹿児島県介護福祉士会理事)  
第4分科会 ターミナルケアについて  
座長：田中安平(鹿児島県介護福祉士会会長)  
第5分科会 障害者自立支援制度の行方  
座長：原田啓介(鹿児島県介護福祉士会理事)
- (第2日目)  
9:30～ 特別講演 松尾清美氏(佐賀大学医学部准教授)  
13:00～ 記念講演 岩元昭雄氏(鹿児島子ども研究センター所長)  
岩元綾氏(いのちと心をつなぐネットワーク「えほんの会AYA」日本ダウン症協会会員)
- 14:30～ 閉会式
7. 問い合わせ先 鹿児島県介護福祉士会事務局  
TEL 099-206-3050

介護福祉士向け専門情報誌

# 介護福祉

☆発行回数 年4回/春・夏・秋・冬号

☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)

☆申込み先 財団法人 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル

TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514

インターネットによる申込 <http://www.sssc.or.jp>

郵便振替口座 00120-5-138401

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

夏号(20年6月発行) 特集「介護研究の進め方」

秋号(20年9月発行) 特集「介護における医学的知識」

# 社団法人 日本介護福祉士会

## 第15回全国大会 群馬県伊香保で開催

### 魅力ある介護福祉士

#### 時代が求める介護福祉士を目指して

第15回日本介護福祉士会全国大会が、9月20日(土)～21日(日)の両日、群馬県渋川市伊香保温泉で開催された。この大会は高木順子群馬県介護福祉士会会長をはじめとする若いリーダーたちによって企画運営され、これからの介護福祉士像についての熱い議論が展開された。

伊香保は、竹久夢二のゆかりの地でもあり、夢二の作風にふさわしく、たおやかで人間味にあふれる場での開催である。

テーマを「魅力ある介護福祉士」時代が求める介護福祉士を目指して」として、全国から約600人の会員を集め、体力と気力のすべてを利用者の方々へ提供する介護福祉士のエネルギーによって進められた。



大会初日は、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長である横幕章人氏から基調講演として「介護福祉士をめぐる動向について」のお話をいただいた(第2面掲載)。



二日目は、午前中に「認知症高齢者への自立支援」在宅生活(高齢者・障害者等)への自立支援「福祉・介護現場の人材育成」の分科会を開催し、午後は「介護福祉士をとりまく環境について」シンポジウムを行った。副題には「福祉・介護現場の春を目指して」として、介護福祉士の近未来について熱い討論が繰り広げられた(第3面掲載)。

次に記念講演として、介助犬レオ号とともに日常生活をこなす、さらにはその普及のために施設訪問や啓蒙活動をしていらっしゃる東城忠興氏に、レオ号や他の介助犬とともに登場場いただいた貴重な心構えや実技を披露していただいた(第2面掲載)。

最後に、羽山副会長により「生涯研修制度」についての報告がされた。



「介護福祉士は訴えるこれいいのか日本の介護!!」介護現場から介護保険は崩壊する」として9月29日に東京メラルホールで、約1,000人の全国の介護福祉士など介護・福祉にかかわる関係者が一同に会した全国的な集いが開催された。NHKのニュースで取り上げられるなど、社会的意義の大きな集会成为った。

第一部として、全国の介護福祉士の代表5名が、それぞれ抱える介護現場の厳しい現状を訴えた。続いて、所信表明演説のための国会開催中にもかかわらず、自由民主党衛藤晟一議員・公明党榊原敬悟議員・民主党大河原雅子議員・日本共産党小池晃議員・社会民主主義福島みずほ議員にご出席いただき、介護報酬の引き上げとともに介護従事者の処遇改善や人員配置基準の改善の必要性などについてさまざまに訴えた。なお、国民新党自見庄三郎議員については、都合により出席されませんでした。担当からメッセージを讀み上げさせていた。

第二部として、「これぞいいのか日本の介護!!」介護現場から介護保険は崩壊する」というテーマのもと、上智大学大学院総合人間科学研究科教授榊本一三郎氏、作家・介護ジャーナリスト沖藤典子氏をコーディネーターとしてシンポジウムが開催された。

シンポジストとして、当会会長石橋真二は、介護報酬の2度にわたる引き下げが介護従事者の離職に拍車をかけている。今回の改定が格や経験年数を正しく評価する制度づくりが

## 人材確保対策における全国集会 日本の介護の危機を訴える!

不可欠であると述べた。高齢社会をよくする女性の会理事長、東京家政大学名誉教授の樋口恵子氏は、介護は人間しか行わない営みである。それをどこに位置づけるかで社会の品格が問われる。医療も介護も待たない状況ではあるが、医療は一応の賃金が確保されているが、介護は補償すらされていない状況であると訴えた。

おわりにこれからの日本は、社会保障・介護立国として国政の柱に社会保障をしっかりと位置づけるべきだと締めくくられシンポジウムは終了した。

最後に声明文が読み上げられ、先に集めた17万7017名の署名とともに国会や官庁に介護現場の危機を訴えていくことを確認し、全国集会は幕を閉じた。

### 九州ブロック介護福祉士 研修会鹿児島大会報告

9月12日、日本介護福祉士会より石橋会長の出席を仰ぎ、鹿児島県より保健福祉部次長・鹿児島市より健康福祉局長の御臨席を賜り、九州各県より約400名の参加者のもと、九州ブロック介護福祉士研修会鹿児島大会が

開催され、翌13日成功裏に幕を閉じた。「介護福祉の職場が、3K・5K、ワーキングプア等々マイナスイメージで喧伝されているが、果たしてそうなのか。そのような人たちは、介護福祉の魅力を知る前に離職して向上について」に続き、

5つの分科会に分かれて専門性についての研修がなされた。「今まであやふやだった知識が明確になりました。ありがとうございました」という声があふれた。「死は怖いイメージがあったのが、払拭された」と等々、参加者の声が多く聞かれた。

2日目の午前、佐賀大学医学部准教授松尾清美氏の特別講演では、障害を負ったご自身の

体験より、介護福祉士の思い込みではない真の利用者主体の追求に必要な介護技術について、実演を交えながらの持ち上げない介護技術に、参加者の驚きと感激の言葉があった。

午後からの記念講演では、自らダウン症を患いながら国際大会で発表をされた岩元綾子氏からご自身の思いと、障害を持って生まれた

子どもの父親としての思いと、子育ての生の声を拝聴することで、「介護の心」を学んだ有意義な大会であった。

### 全国大会 基調講演

# 介護福祉士をめぐる 動向について

厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課  
福祉人材確保対策室長

横幕 章人氏



福祉・介護人材の確保について

介護従事者の就業状況として「女性の占める割合が高い」「非常勤職員の占める割合が近年増加」「高い入職率と離職率」「低給与水準」「潜在的有資格者等が多数存在」などがあげられます。介護職員の仕事上の悩みをみると、「収入が低い」という理由だけでなく、「有給休暇がとりにくい」「自分の能力を伸ばすゆとりがない」「仕事の内容に展望がもてない」などがあります。このため、介護職員の定着化を図るためには、「給与だけでなく、働きやすい環境づくりなどの処遇改善の取り組み」、「やりがい」を高めるためのキャリアアップの仕組み、「知識の向上や自己実現の意欲を高めるための研修の充実」などの一体的な取り組みが必要とされています。

対策でバックアップしようと考えております。①の多様な人材の参入促進では「福祉人材ハローワーク(仮称)」の創設、「介護業務未経験者を雇い入れた場合の助成」「潜在的有資格者の再就業を支援する研修、地域住民に対する啓発研修」などがああります。②の労働環境の整備では、介護報酬の見直しとして、「介護補助機器の導入費用の助成」「処遇改善のための各種人事制度を導入・運用し、採用・募集、健康管理等の事業をした場合の助成」など。③では「就業して間もない就業に対する定着促進のための相談支援」などです。

介護福祉士制度の見直しについて  
本日は介護福祉士をめぐる動向についてお話しします。  
近年の介護・福祉ニーズの多様化・高度化に対応し、人材の確保・資質の向上を図ることが求められ、介護福祉士・社会福祉士制度の改正が行われました。その内容の一つに介護福祉士の資格取得方法の見直しがあります。これからの介護福祉士は介護サービスの中心的役割をこなせる人材として求められています。それらを踏まえて、教育体系は「人間と社会」「介護」「このころからのだのしくみ」の3領域に再編されるなど養成課程の見直しが行われています。

「仕事の内容に展望がもてない」などがあります。このため、介護職員の定着化を図るためには、「給与だけでなく、働きやすい環境づくりなどの処遇改善の取り組み」、「やりがい」を高めるためのキャリアアップの仕組み、「知識の向上や自己実現の意欲を高めるための研修の充実」などの一体的な取り組みが必要とされています。



### 全国大会 記念講演

# 介助犬『レオ』と歩む私

東城 忠興氏



介助犬がくれた  
安らぎの日々

私は3歳のときに小児麻痺にかかり、79歳の今まで脳卒中を患うなど一人では生活ができない状態が続いていました。ご覧のように車椅子生活で、家から出ることも躊躇する毎日でした。そんな私に希望を与えてくれたのがパートナードッグ(介助犬)レオとの出会いです。

レオは8歳のラブラドル・レトリバーで、山形県上山市の日本パートナードッグ協会で生まれました。今では昼も夜も24時間いつでも私と行動をともにしてくれています。レオと私のことは日本テレビの『介助犬』愛と涙の物語』という特集番組で紹介されたので、ご覧になった方も

いらっしゃると思います。レオが来てから、私の生活は一変しました。パートナードッグとは、手足に障害のある人の日常生活を助けるために、専門的なトレーニングを受けた犬のことです。でも「障害」とひとこと言っても、それぞれの人の不自由度はみんな違うために、どのような手助けが必要かはユーザーによって異なります。パートナードッグの仕事内容も、それぞれ異なるのです。たとえば落とした物を拾う、指示されたものを持つ、体の支えとなる、ドアの開閉をする、車椅子を引っ張る等があげられます。これまで自分ひとりでではできなかったことを常に身近にいて手助けをしてくれるパートナードッグの存在が、私と社会との結びつきも深くしてくれているのです。

私が続ける啓蒙活動  
身体障害者補助犬法など、介助犬に対する制度は整備されてきていますが、その認知はもう一つだと思っています。また、現状は重度の障害の方しか介助犬をもつことができませぬ。しかし障害の程度にかかわらず介助犬はその人の生活を豊かにしてくれます。私は介助犬を多くの人に知ってもらえるよう、またすべての障害者の方が介助犬をもつことができるように、介助犬の存在と理解への啓蒙活動を、この講演を取りまとめたいただいた高崎ロータリークラブの方々とともに続けていきたいと思っています。



(携帯をひろって渡している)  
NPO法人ウェルフェアポ  
ート湘南による介助犬の  
実技披露

## ソウエルクラブ(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

<p><b>■職員の健康管理のために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活習慣病予防健診費用助成</li> <li>●健康生活用品給付</li> <li>●スポーツクラブ</li> <li>●電話健康医療相談</li> </ul>	<p><b>■職員の万が一の際に</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●会員の死亡弔慰金</li> <li>●会員の配偶者の死亡弔慰金</li> <li>●会員の入院・手術見舞金</li> <li>●災害見舞金</li> </ul>	<p><b>■職員の資質向上のために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●海外研修</li> <li>●広報講習会</li> <li>●レク・リーダー養成講習会</li> <li>●接遇講習会</li> <li>●パソコン講習会</li> <li>●メンタルヘルス講習会</li> </ul>	<p><b>加入できる職員</b></p> <p>■社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。</p>
<p><b>■職員の慶事のお祝いに</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●結婚お祝品贈呈</li> <li>●出産お祝品贈呈</li> <li>●入学お祝品贈呈</li> <li>●資格取得記念品贈呈</li> <li>●永年勤続記念品贈呈</li> </ul>	<p><b>■職員の余暇活用のために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●指定保養所・休暇村他 7種類の宿泊施設、全国289か所</li> <li>●海外リフレッシュツアー</li> <li>●クラブ・サークル活動支援</li> <li>●テーマパーク</li> <li>●国内・海外旅行</li> <li>●レンタカー</li> <li>●カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等</li> </ul>	<p><b>■職員の生活サポートのために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅ローン・特別資金ローン</li> <li>●クレジットカード</li> <li>●ソウエル団体生命保険</li> </ul>	<p><b>掛金</b></p> <p>■掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。</p>
<p><b>■地域に密着した事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)</li> </ul>	<p><b>■各種情報提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●会員情報誌、ソウエルクラブニュース</li> <li>●ホームページ</li> </ul>	<p><b>加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル</b></p> <p>TEL ☎0120-292-711 FAX ☎0120-292-722 http://www.sowel.or.jp/ 社会福祉法人 福利厚生センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-21-17虎ノ門NNビル</p>	<p><b>魅力ある職場づくりに福利厚生センターをご活用ください</b></p>

# 全国大会 シンポジウム

## テーマ 「介護福祉士をとりまく 環境について」

### ― 福祉・介護現場の春を目指して ―

シンポジウムは日本介護福祉士会副会長・内田千恵子のコーディネートにより、「介護福祉士をとりまく環境について」と題して、活発な意見の交換がなされた。石橋真二会長、大坪公子氏・三軒茶屋病院院長、小泉昭江・北海道介護福祉士会会長、小池昭雅・群馬県介護福祉士会理事の4名のシンポジストによる熱い討論の場となった。まず、シンポジウム

の口火を切ったのは、石橋真二会長だった。「介護労働の中身、そして介護者の生活。介護労働に対する評価が十分ではない。介護労働者の人材確保が十分ではない。報酬の問題もあり、人材確保が難しい状況のなか、強いメッセージを出してほしい」との要望が出された。会長はさらに、厚生労働大臣に人材確保のための署名活動を行っていることもアピールした。

東京都三軒茶屋病院院長の大坪公子氏は、日本女医会の社会福祉委員長として平成18年より「たんの吸引を安全に実施するための教育講習事業」を、全国各地10ヶ所にて開催しており、それらの経験から、看護と介護の垣根をはずして、介護福祉士にも患者の吸引などが必要であると述べられた。

続いて、北海道介護福祉士会会長・小泉昭江氏（北見中央病院）は、介護福祉士と看護師との役割を明確に分けることの重要性を話された。「介護」とは患者さんの中に立ち、患者さんの中に立つ、病院内に介護部を設置することで、介護部スタッフが「私たちを守ってくれる部があるんだ」と安心して働ける環境を作った。さらに、資格手当でも「働きがい」は給与で担保される面もあり、看護と介護の資格所有者の加算給与を同額にし成果を見ている。

群馬県介護福祉士会理事・小池昭雅氏は、「現場で医療行為ができればとの声は多いの



## 全国大会分科会報告

分科会は4つのテーマにより行われた。

### 第1分科会①「認知症高齢者の自立支援」

座長を介護付有料老人ホーム「結びの杜ホーム」所長・三世代交流センターよしい川所長・旭川研修センター所長の森繁樹氏として、3名の発表者が認知症高齢者とかかわった事例や小規模多機能型居宅介護における認知症高齢者とのかかわりの実践を発表した。

### 第2分科会「在宅生活（高齢者・障害者等）への自立支援」

座長を神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授の奥西栄介氏として、3人の発表者が経口摂取の取り組み、脳出血右片麻痺発症後8年が経過しても通所介護での運動器機能向上の効果が認められるとの報告や介護予防通所サービスはうつを呈する特定高齢者の運動器機能とともにQOLを維持・向上する可能性があるとの報告がなされた。

### 第3分科会「福祉・介護現場の人材育成」

座長を大妻女子大学人間関係学部教授の是枝祥子氏として、5人の発表者が人材育成の取り組み、「施設介護職職能等級要件基準書」を作り上げた取り組み、音楽や造形を通じた学生と利用者との交流についての報告やスウェーデンでの研修の報告がなされた。

### 第1分科会②「認知症高齢者への自立支援」

座長を高齢者総合福祉施設アザレアンさなだの施設長宮島渡氏として、3名の発表者が認知症の人が安心して暮らす居場所づくりのため

### 第15回全国大会終了後は

伊香保の山々は美しい色づき始めています。今大会が、北は北海道から南は鹿児島県まで、全国各地より多数の皆様にご参加をいただき、大過なく開催できましたこと群馬県支部実行委員を代表し、心より感謝申し上げます。また、大会直前に急遽講師をお引き受けくださった東城忠興様には、どれだけの感謝を申し上げてもいいか分かりません。本当にありがとうございました。

告がされた。ここでは、口から食べるという行為は生きる原点であり、介護福祉士が支援していくことが大切である。また、高齢者等の生活への思いを受け止め、その人の人間関係をもとにさらに一歩踏み出すケアを構築していく必要があるとした。

### 第2分科会「福祉・介護現場の人材育成」

座長を大妻女子大学人間関係学部教授の是枝祥子氏として、5人の発表者が人材育成の取り組み、「施設介護職職能等級要件基準書」を作り上げた取り組み、音楽や造形を通じた学生と利用者との交流についての報告やスウェーデンでの研修の報告がなされた。

### 第3分科会「福祉・介護現場の人材育成」

座長を大妻女子大学人間関係学部教授の是枝祥子氏として、5人の発表者が人材育成の取り組み、「施設介護職職能等級要件基準書」を作り上げた取り組み、音楽や造形を通じた学生と利用者との交流についての報告やスウェーデンでの研修の報告がなされた。

### 第15回全国大会を終えて

業の皆様にご指導、ご協力をいただきました。どれだけ多くの方々に支えられ、今大会を開催することができたか、今更ながらに痛感しているところです。私たち群馬県は、まだまだ発展途上の支部であります。大会成功へ向け支部一丸となって望んだ姿勢を糧に、また参加者皆さんと結んだ大きな絆をもとに、これから一層飛躍して行きたいと思っております。

### 群馬県介護福祉士会副会長

田村 尚  
来年の全国大会は大阪府で開催されます。今年同様、大阪でお会いしましょう！ありがとうございました。

### 全国大会を終えて

業の皆様にご指導、ご協力をいただきました。どれだけ多くの方々に支えられ、今大会を開催することができたか、今更ながらに痛感しているところです。私たち群馬県は、まだまだ発展途上の支部であります。大会成功へ向け支部一丸となって望んだ姿勢を糧に、また参加者皆さんと結んだ大きな絆をもとに、これから一層飛躍して行きたいと思っております。

介護福祉士の専門性を活かした被災者対応マニュアル作成事業委員会報告  
(厚生労働省・社会福祉推進事業)

### 委員長を新潟県介護福祉士会岡田史氏として

委員長の岡田史氏として、3回の委員会が開催されました。第1、2回では、災害時のボランティア活動についての知の集積の必要性、振り返りのなかで「ボランティア活動をした後ボランティアに対するケアの必要性」についての意見が出されました。第3回では、シンポジウムについてのテーマが決定(第4面掲載)しました。さらに、避難されている方々の個別性について対応できるかが専門性ではないかとの意見が出されました。

### 今後、会員各位にはアンケート調査にご理解・ご協力いただくことになりまして

今後、会員各位にはアンケート調査にご理解・ご協力いただくことになりまして、ご協力をお願いします。

### お問い合わせ

お問い合わせは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ

# ふれあいケア

2008年  
11月号  
10月20日  
発行

## 特集 皮膚のトラブルとスキンケア

湿度が低下し、肌が乾燥する冬場。特にお年寄りの皮膚は、脂質や水分が不足してカサカサと乾燥し、全身にかゆみを感じるが多くなります。がまんできないかゆみは日常生活にも影響を及ぼし、不眠などにつながることもあるため、日々のこまめなスキンケアが欠かせません。また、皮膚のトラブルである褥瘡を予防し、悪化させないようにするためには、発生要因やメカニズムを理解することが大切です。そこで、この特集では、高齢者の皮膚のメカニズムやスキントラブルについて理解し、入浴や排泄時などさまざまな生活場面で行うスキンケアの方法について、わかりやすく解説します。

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。

●定価1,020円(本体971円) ●毎月20日発行 ●B5判/80頁 ●送料300円(10冊以上・定期購読の場合は送料サービス)

### 好評連載

バックナンバー (特集)

●2008年5月号/介護福祉士はどう変わるのか ●2008年6月号/新人職員に伝えたい「介護の魅力」 ●2008年7月号/効果的なケアアンパランスを開こう ●2008年8月号/ゆとりある入浴ケア ●2008年9月号/今、介護の現場では ●2008年10月号/家族の安心を支えよう

定期購読申込み受付中! [FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい] お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号、冊数」を忘れずにご記入下さい。バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。

●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ ●  
〈注文用〉 FAX : 03-3581-4666 E-mail : zenshakyos@shakyo.or.jp  
社団法人 全国社会福祉協議会出版部  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
TEL : 03-3581-9511  
福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ 福祉の本出版目録 検索 ▶▶ http://www.fukushinohon.gr.jp

### 第6回日本介護学会

### 中国・四国ブロック研修会

- 1. 日 程 12月6日(土)~7日(日)
- 2. 会 場 富山観光ホテル 富山市呉羽町7538
- 3. プログラム  
(第1日目)  
13:00~開会式  
13:20~記念講演 林 泰史氏 東京都老人医療センター院長  
15:40~分科会  
論文 助言者 黒澤貞夫氏 前浦和大学学長  
調査報告 助言者 遠藤英俊氏 国立長寿医療センター  
包括診療部長  
実践報告 助言者 坂本洋一氏 和洋女子大学教授
- (第2日目)  
9:00~分科会  
10:40~研究発表に対する講評  
12:10~閉会式
- 4. 参加費用 参加費 会員3,000円(日本介護福祉士会会員、一般会員)  
一般13,000円  
学生1,000円
- 5. 申し込み先  
名鉄観光サービス(株) 富山支店(担当:橋谷田)  
TEL 076-431-8056 FAX 076-431-2056
- 6. その他 詳細につきましては、本会ホームページをご覧ください。
- 7. 問い合わせ先  
日本介護学会事務局(社団法人日本介護福祉士会事務局内)  
TEL 03-3507-0784

- 1. テーマ 「今 変わる時、新しい介護職像へ」
- 2. 期 日 11月14日(金)~15日(土)
- 3. 会 場 徳島グランヴィリオホテル1階「グランヴィリオホール」(徳島県徳島市)
- 4. 定 員 500名
- 5. プログラム  
<1日目>  
13:00~ 開会  
14:00~ 行政説明  
講 師:厚生労働省(予定)  
15:30~ シンポジウム「今 変わる時、新しい介護職像へ」  
シンポジスト:日本介護福祉士会 会長 石橋真二  
日本療養病床協会 会長 武久洋三氏  
四国大学短期大学部 生活科学科 教授 上田房子氏  
NPO法人 どりーまサービス 代表 山口浩志氏  
コーディネーター:全国老人福祉施設協議会 老施協総研 介護委員長  
梶田和平氏  
18:00~ 交流会
- <2日目>  
9:00~ 特別講演「未 定」  
講 師:徳島健祥会福祉専門学校 校長 齋藤史郎氏  
10:45~ 記念講演「未 定」  
講 師:瀬戸内寂聴 (調整中)  
12:00 閉会
- 6. 参加費 会員3,000円 非会員10,000円 学生1,000円
- 7. 申し込み先 株式会社 JTB中国四国 徳島支店  
TEL 088-623-1237 FAX 088-654-5120
- 8. 問い合わせ先 徳島県介護福祉士会事務局 TEL 088-642-9667

### 近畿ブロック研修会

- 1. テーマ 介護福祉士の新しい使命と役割
- 2. 日 程 11月9日(日)
- 3. 会 場 生田文化会館(兵庫県神戸市)
- 4. 定 員 約400名
- 5. 参加費 会員3,000円 非会員5,000円、学生1,000円
- 6. プログラム  
9:30~ 開会式  
10:00~ 記念講演  
13:00~ 基調講演 厚生労働省(予定)  
14:10~ 事例発表  
15:10~ シンポジウム  
16:10~ 閉会式
- 7. 問い合わせ先 兵庫県介護福祉士会事務局 TEL 078-232-4590

### 日本介護福祉士会主催 災害救援に関するシンポジウム 開催のお知らせ

11月16日(日)に「災害現場における自立支援と介護予防~介護福祉士の専門性を考える...介護ボランティア実践の中から~」と題し、東京都区内でシンポジウムを開催する予定です。

※会場等の詳細は決定次第、ホームページに掲載する予定ですので、ご参加、お呼び掛け等よろしくお願い申し上げます。

### 支部の研修

#### 北海道支部研修情報

- 〔介護技術研修(接遇マナー)〕  
日程 11月8日(土)  
会場 (株)りんゆう観光3階会議室  
問い合わせ先 北海道介護福祉士会  
TEL 090-1645-9407

#### 秋田支部研修情報

- 〔介護福祉士国家試験対策実技試験集中講座〕  
日程 11月8日(土)  
会場 日本赤十字秋田短期大学  
問い合わせ先 秋田県介護福祉士会  
TEL 090-1202-7029

#### 富山支部研修情報

- 〔第二・三回スキルアップセミナー〕  
日程 第二回11月8日(土)  
第三回11月15日(土)  
詳細は富山県介護福祉士会まで  
TEL 076-422-2442

#### 静岡支部研修情報

- 〔楽しく確認!介護予防 運動編〕  
日程 11月3日(祝・月)  
会場 静岡県総合社会福祉会館シブウエル  
問い合わせ先 静岡県介護福祉士会  
TEL 054-253-0818

#### 大阪支部研修情報

- 〔再就職応援セミナー〕  
日程 11月15日(土)~16日(日)  
受講資格 介護福祉士有資格者で未就業の方  
問い合わせ先 社団法人大阪介護福祉士会  
TEL 06-6766-3633

#### 鳥取支部研修情報

- 〔鳥取県介護福祉士会研究発表大会〕  
日程 11月22日(土)  
会場 鳥取市県立福祉人材研修センター  
基調講演 作家 沖藤典子氏  
〔福祉用具フェア〕  
日程 12月17日(水)~18日(木)  
会場 米子市米子ふれあいの里  
問い合わせ先 鳥取県介護福祉士会  
TEL 0857-591-6336

#### 宮崎支部研修情報

- 〔ファーストステップ研修(後期)〕  
日程 11月15日(土)から合計8日間  
会場 宮崎市社会福祉協議会(予定)  
問い合わせ先 宮崎県介護福祉士会  
TEL 0985-221-3710

介護福祉士向け専門情報誌

## 介護福祉

- ☆発行回数 年4回/春・夏・秋・冬号
- ☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)
- ☆申込み先 財団法人 社会福祉振興・試験センター  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル  
TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514  
インターネットによる申込 <http://www.sssc.or.jp>  
郵便振替口座 00120-5-138401

### 専門性が支える介護福祉の充実のために

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

- 秋号(20年9月発行) 特集「介護における医学的知識」
- 冬号(20年12月発行) 特集「介護における感染症の防止」



# 社団法人 日本介護福祉士会

## 介護福祉士の新たな飛躍に向けて

### 謹賀新年



社団法人  
日本介護福祉士会  
会長 石橋 真二

新年明けましておめでとうございます。介護の現場では、介護保険制度及び障害者自立支援法の施行などにより、介護福祉を取り巻く環境は大きく変わってきました。

今後は、近年における介護の理念や概念の変化、介護対象者のニーズの多様化などに伴い、介護の現場では質の高い介護サービスが求められるようになり、社会福祉士及び介護福祉士法も改正され、介護福祉士の資格取得方法の一元化や定義規定、義務規定等の見直しが行われ、より資質の高い介護福祉士の養成が求められるようになりました。

なお、介護福祉士の国家資格は、「幅広い利用者に対する基本的な介護を有する資格」と位置づけられていることから、さらに、重度の認知症や障害等の分野について、より専門的対応ができる人材の育成が求められています。また、人材確保と資質の向上の観点からは資格取得後のOJTのほか、生涯にわたって自己研鑽し、介護の専門的な能力開発とキャリアアップを支援することがますます重要となります。

このような状況において、職能団体としては早急に介護福祉士の生涯研修体系を確立することが重要であると考え、一般的な研修だけではなく、初任者研修、チームリーダー養成のためのファーストステップ研修、認知症専門介護福祉士の養成研修などにも取り組んでいるところであります。介護福祉士が生涯にわたって能力向上に努め、キャリアアップできるように研修体系を構築しているところであります。

また、介護福祉士を魅力ある仕事

として確立するためには、介護労働に見合う介護福祉士等の介護労働者の待遇面の改善が必要になります。そのため、昨年は介護の人材確保対策を実施するために署名活動を行い、皆様方のご協力を得て、約18万以上の署名を集め、厚生労働大臣に介護福祉士の待遇改善を訴えてきました。また、2009年9月29日には人材確保対策全国集会を開催し、全国各地の介護福祉士など1000名以上の関係者を集めていただき、介護労働環境の改善を行い、将来の高齢社会を支える人材確保対策の実現や国民が安心して生活できるような社会保障の充実等を訴えてきました。

**新年あいさつ**  
社会福祉法人  
全国社会福祉協議会  
会長 斎藤 十朗

新年のお慶びを申し上げます。本年度から新たな教育カリキュラムによる介護福祉士の養成が開始されるなど、改正された介護福祉士法が

**新年のエール**  
財団法人  
さわやか福祉財団  
理事長 堀田 力

新年、おめでとうございます。唐突ですが、私は、介護福祉士会と介護保険制度は、運命共同体だと思っています。

**新年の御挨拶と  
貴会へのお願い**  
社団法人 日本介護福祉士  
養成施設協会  
会長 小林 光俊

新年を迎え、貴会及び会員の皆様方の益々の発展とご健勝を心より祈念申し上げます。今年も「介護の日」の普及・発展を踏まえ、貴会の皆様方との一層の協力・連携により、介

本格的に始動いたします。法改正により、介護福祉士の責務として、個人の尊厳の保持と自立支援を大切に、常に相手の立場に立ち誠実に業務を行うこと、そして、資格取得後の自己研鑽を行うことなどが明確にされました。

とついで、高齢者に対し、尊厳を大切に介護を行うためには、これまでの長い人生の体験や経験を尊重した接し方をさせていただく必要があります。介護福祉士としての専門的知識や技術が、

術の向上はもとより、幅広い知識や教養を持っていたり、たくやうお願いしたいと思っております。本制度の創設当時、介護福祉士には現場のリーダーとしての役割が想定されておりました。今日、介護の現場ではチームケアの実践が広がっており、介護福祉士はそのチームリーダーとして活躍を始めています。

介護人材不足の問題は深刻な状態が続いております。今般の介護報酬改定では、介護人材不足の問題は深刻な状態が続いております。介護人材不足の問題は深刻な状態が続いております。介護人材不足の問題は深刻な状態が続いております。



# 介護福祉士養成実習施設 実習指導者特別研修

二〇〇七年12月に「社会福祉士及び介護福祉士法」が改正され、それに伴う養成課程の見直しの一環として、実習に関しては、個別ケアの普及、小規模多機能型など新たなサービスへの対応が考慮され、「実習施設・事業等(Ⅰ)」と「実習施設・事業等(Ⅱ)」に区分され設定されました。

このうち、「実習施設・事業等(Ⅱ)」に関しては、その指導者要件に、「実習指導者研修課程」修了が義務付けられることとなりました。

本会では、厚生労働省から委託を受け、この10月より全ての都道府県において各都道府県介護福祉士会と共同で講習会を開催しています。

この講習会の開催に先立ち8月には、東京都で講師養成研修を実施、体制を固め、スタートしました。

本講習会は、4日間25時間を講義と演習で学ぶ形式となっており、長時間に及ぶ講習にもかかわらず、日本介護福祉士会倫理綱領に謳う後継者の育成「介護福祉士は、すべての人々が将来にわたり安心して質の高い介護を受ける権利を享受できるように、介護福祉士に関する教育水準の向上と後継者の育成に力を注ぎます。」の実現に向け、熱心に取り組む受講者の熱意にあふれています。受講者の申し込みについては、各都道府県支部において取りまとめられていますが、会場定員をはるかに上回る希望者が殺到しています。

この講習会は、演習中心のカリキュラム設定となっており、受講定員も厳しく設定・管理しているところであります。

参加申込をいただいたにもかかわらず、お断りせざるを得なかった会員の皆様はこの紙面を借りお詫び申し上げます。

また介護従事者が誇りとやりがいをもって働ける環境整備が必要として、潜在的介護福祉士等を掘り起こすために、処遇改善につながる介護報酬の設定、資格や経験等に応じたキャリアアップの仕組みの構築、ワークライフバランスへの配慮等を掲げ、新規で介護従事者を雇用・育成するために、介護未経験者への就業支援や高校生・大学生の現場でのインターンシップの拡大など、介護専門職志望者の拡大のための取り組みを掲げました。



講習会の様子

## 安心と希望の 介護ビジョン

11月20日、厚生労働省において「安心と希望の介護ビジョン」(前田雅英座長)がまとめられた。

まず、介護の質の向上が必要として、必要な研修を受けた介護従事者が経管栄養や喀痰吸引等の医療行為を、医師や看護師との連携の下で行うための資格・研修について検討していく方向性を打ち出した。

認知症については介護・医療・地域住民が連携して対応できる基盤を整備していくべきとした。

また介護従事者が誇りとやりがいをもって働ける環境整備が必要として、潜在的介護福祉士等を掘り起こすために、処遇改善につながる介護報酬の設定、資格や経験等に

応じたキャリアアップの仕組みの構築、ワークライフバランスへの配慮等を掲げ、新規で介護従事者を雇用・育成するために、介護未経験者への就業支援や高校生・大学生の現場でのインターンシップの拡大など、介護専門職志望者の拡大のための取り組みを掲げました。

とりまとめを受けて、先にも述べた医療ビジョンと対をなすものとして今後具体化に全力をあげたい」と意欲を示した。

## 近畿ブロック 研修会報告

11月9日(日)、兵庫県介護福祉士会主催による近畿ブロック研修会が、神戸市立生田文化会館において、『介護の現状と人材育成への取り組み』をテーマに開催されました。午前の部の記念講演では、女優として仕事を続けながら、夫である大島渚映画監督を介護

されていた小山明子氏に、「二人三脚で乗り越えた介護の日々」と題して体験談をお話しいただきました。要介護状態はいつでもだれにでも突然に起こり得る事、それ以降の日常生活が一変し、多くの人の支えが必要である事、自らも長期間のうつ病に悩まされながらも克服し、今は夫の介護が生きがいになっていると笑顔で語られました。午後の部では、楠の会のメンバーによる車椅子ダンスが舞台いっぱい披露されました。障害のある人もない人も共通した接点でダンスを楽しもうと始められた会、

現在30名。様々な方との交流や練習の成果を發揮できるのが喜びであると言われています。引き続き基調講演として、厚生労働省の習田由美子氏に、介護現場を支え、求められている介護福祉士像と、将来を目指す介護福祉士の教育内容をお話いただきました。『介護の評価は事例の蓄積で決まる。』と日常業務の指針を得た思いです。次に開催テーマについてのシンポジウムが行われました。

た。コーディネーターに富永雅和氏(神戸女子大学健康福祉学部教授)、パネリストとして、品田充儀氏(神戸学院大学法科大学院教授)、中西一人氏(兵庫県健康福祉部社会福祉局長)、石田文徳氏(特別養護老人ホーム「姫路・勝原ホーム」施設長)、宮崎重男氏(重症心身障害児施設「のぎく療育園」管理局長)、酒井邦夫氏(認知症の人と家族の会兵庫支部代表)と各氏を迎えそれぞれの立場で発言をいただき、活発な議論が行われました。本年度より制定された、11月11日の『介護の日』を前に、介護についての理解と認識を深め、介護を取り巻く課題について考える一日となりました。



近畿ブロック研修会の様子

## 中国・四国ブロック 研修会報告

第14回中国・四国ブロック研修会(主催：徳島県)が、平成二十年十一月十四日、十五日の両日、徳島グランヴィリオホテルを会場に開催された。

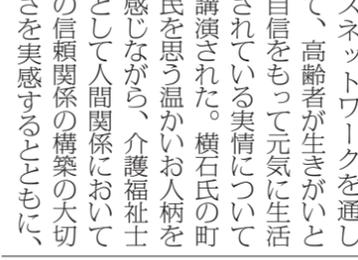
初日の行政説明では、君島淳二氏(厚労省老健局振興課・課長補佐)より、「介護保険制度の現状と今後」を演題に、訪問介護を中心に介護報酬について説明がなされた。引き続き、シンポジウムでは、老健協総研介護委員長の榎田和平氏をコーディネーターとし、日本慢性期医療協会前会長の木下毅氏、四国大学短期大学部教授の上田房子氏、NPO法人どりーまあサービス代表の山口浩志氏、日本介護福祉士会会長の石橋真二氏の四名のシンポジストに、各立場から新しい介護福祉

士像についての発表がなされた。交流会では、郷土料理を味わいながら、参加者皆さんで本場の阿波踊りを堪能し親睦を深めることができた。

二日目の記念講演では、株式会社いろどり代表取締役副社長の横石知二氏が「好期高齢者時代」と題して、徳島県上勝町の高齢化率四十九・五%の過疎化の進む町に於いて、彩事業のビジネスネットワークを通して、高齢者が生きがいと自信をもって元気に生活されている実情について講演された。横石氏の町民を思う温かいお人柄を感じながら、介護福祉士として人間関係についての信頼関係の構築の大切さを実感するとともに、



中国・四国ブロック研修会の様子



中国・四国ブロック研修会の様子

# ふれあいケア

介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌。毎日の介護実践に役立つ専門知識や技術についての情報を満載。高齢者ケアに関わる施設福祉や在宅福祉の最新情報や、先駆的な実践事例も紹介。

●定価1,020円(本体971円) ●毎月20日発行 ●B5判/80頁 ●送料300円(10冊以上・定期購読の場合は送料サービス)

**2009年 1月号 12月22日 発行**

**特集 私の施設は働きやすいの?**

日々利用者の尊厳を守るためにがんばっている介護職員は、どのような不満や課題を抱えて介護しているのでしょうか。介護職員がやりがいをもって働き続けていくためには、職場環境が整備されていることも一つの重要な要素になっています。そこで、この特集では、介護職員にとって働きやすい職場環境について考えます。

**好評連載**

その人らしい生活を支援する介護過程/危険予知能力を鍛えよう/介護職員のメンタルヘルスクア/旬を召し上げ/ふれあいケアのHint&Tips/高齢者のからだに気になる症状/ほか

**バックナンバー**

2008年7月号 効果的なケアカンファレンスを開こう  
2008年8月号 ゆとりある入浴ケア  
2008年9月号 今、介護の現場では

2008年10月号 家族の安心を支えよう  
2008年11月号 皮膚のトラブルとスキンケア  
2008年12月号 食べるよろこび・食べる楽しみ

**定期購読申込み受付中!** [FAX、郵送、E-mailのいずれかでお申込み下さい] お申込みの際は「〒住所・氏名・電話番号」のほか、「購読開始月号、冊数」を忘れずにご記入下さい。バックナンバーをご希望の場合はその月号・冊数もご記入下さい(品切れの際はご容赦下さい)。

●お申し込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会、または下記へ●

**全社協** 社会福祉 全国社会福祉協議会出版部  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
TEL: 03-3581-9511

〈注文用〉 FAX : 03-3581-4666 E-mail : zenshakyos@shakyo.or.jp

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ <http://www.fukushinohon.gr.jp>

# 公開シンポジウム 「災害現場における自立支援と介護予防」

平成21年1月31日(土) ウィリング横浜にて  
「災害現場における自立支援と介護予防」と題した  
シンポジウムを開催いたします。

開始予定時間 10:15~

- 第1部では新潟大学災害復興科学センター准教授田村圭子先生をお招きして「災害福祉」についてご講演をさせていただきます。
- 第2部では実際に日本介護福祉士会の会員としてボランティア活動をした介護福祉士から活動内容の報告と今後の課題について発表の予定です。
- 何処の地域でも起こりうる自然災害(地震)について皆で一緒に考えていきたいと存じます。多くの方のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ先：日本介護福祉士会

TEL 03-3507-0784 FAX 03-3507-8810

## 平成20年度年会費について

平成20年度の年会費をまだお支払いいただけていない方は、平成21年3月10日までにお支払いください。郵便振替用紙をご希望の方は日介及び各支部事務局にご連絡下さい。  
また平成21年度年会費については平成21年5月26日(火)に振替を予定しております。

# リーダー研修会を開催

10月29日~31日(神奈川県)を前期、11月29日~30日(東京都)を後期として、ファーストステップ研修の講師養成を目的としたリーダー研修会が実施された。

前期には、「ファーストステップ研修ガイドライン」に示されているそれぞれの科目について、受講生自身の知識の再確認と、特に押さえておくべき重要なポイントについて講義・演習が行われた。

後期は、「ファーストステップ研修講師としての教授法を学ぶ」として、受講後に小規模チームのリーダーや初任者等の指導係となるファーストステップ研修の受講生にどのような心構えを伝えていくのかについての講義、模擬シラバスの作成を行う等の演習が行われた。

平成18年度から行っている本研修会の修了者には、今後各都道府県支部において実施されていくファーストステップ研修において講師を担うことが期待される。



## 支部の研修

### 沖縄支部研修情報

- ▼【社団法人沖縄県介護福祉士会現任研修会公開セミナー オムツはずし学会IN沖縄】
- ▼日程 平成21年2月10日(火)
- ▼会場 読谷村総合福祉センター
- ▼参加費 20000円
- ※社団法人沖縄県介護福祉士会正会員 10000円

### 平成20年度介護福祉士国家試験対策講座(実技)

- ▼日程 平成21年2月21日(土)
- ▼会場 沖縄県総合福祉センター
- ▼定員 75名(先着順) 午前の部25名 午後の部25名 夜間の部25名
- ▼受講料 一人30000円(資料代金込み)
- ▼平成20年度ファーストステップ研修試行事業
- ▼日程 平成21年1月10日(土)、1月24日(土)、2月7日(土)、2月21日(土)、2月28日(土) 5日間(8時45分受付開始)
- ▼会場 沖縄県総合福祉センター
- ▼定員 25名 ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。
- ▼受講料 正会員 15000円(資料代込み)
- ▼問い合わせ先 社団法人沖縄県介護福祉士会 TEL 098-887-3334

### 宮崎支部研修情報

- ▼【平成20年度訪問介護サービス提供責任者実務者研修会】
- ▼日程 平成21年3月11日(水) 3月12日(木)
- ▼会場 未定(宮崎市内在予定)
- ▼定員 60名 ※但し先着順とし、締切前であっても定員に達し次第締切とします。
- ▼参加費 会員 20000円 非会員 40000円
- ▼募集締切日 平成21年2月6日(金)

「アセスメント」「介護給付」管理ソフト



日本介護福祉士会  
新アセスメント方式に対応!  
お問合せ：  
日本介護福祉士会  
TEL：03-3507-0784  
詳細はWebで  
<http://www.xmedia-jp.com/quick/6/index.html>

### 【平成20年度初任者研修】

- ▼日程 【講義編】2日間受講(必須) 平成21年2月14日(土) 2月21日(土)
- ▼【実技編】平成21年2月28日(土)
- ▼会場 宮崎市内会場予定
- ▼定員 40名
- ▼参加費 ※3日間合計参加料金 ※テキスト代含む 会員 75000円 非会員(一般参加者) 125000円
- ▼締切日 平成21年1月9日(金) 厳守
- ※但し、定員を超過した時点で締め切りますので、あらかじめご了承ください。
- ▼問い合わせ先 宮崎県介護福祉士会 TEL 0985-211-3710

### 大分支部研修情報

- ▼【第4回研修会「なるほど!」なつとく公開介護教室】ウソコ・シッコの介護学】
- ▼日程 平成21年1月26日(月)
- ▼会場 パトリア日田 大ホール
- ▼【第5回研修会「ICFの視点を生かした認知症ケア」】
- ▼日程 平成21年1月31日(土)
- ▼会場 別府湾ロイヤルホテル シルクホール
- ▼問い合わせ先 大分県介護福祉士会 TEL 0977-551-6555

### 鳥取支部研修情報

- ▼【平成20年度「第21回介護福祉士国家試験」受験対策全国一斉模擬試験要項】
- ▼日程 実技(講習)平成21年2月1日(日) 実技(模試)平成21年2月8日(日) ※模擬試験は、午前・午後それぞれ定員30名ずつ。
- ▼会場 筆記 地域交流センター アゼリアホール ※申し込みは終了しました) 実技 県立福祉人材研修センター 中研修室ほか
- ▼問い合わせ先 鳥取県介護福祉士会 TEL 0857-591-6336

### 平成20年度 介護福祉士実習指導者講習会のご案内

全国各地で多くの方々のご参加をいただいております。今後の開催予定一覧は本会ホームページをご参照ください。また、関係通知等は厚生労働省のホームページより閲覧できます。

介護福祉士向け専門情報誌

# 介護福祉

- ☆発行回数 年4回/春・夏・秋・冬号
- ☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)
- ☆申込み先 財団法人 社会福祉振興・試験センター 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514
- インターネットによる申込 <http://www.sssc.or.jp>
- 郵便振替口座 00120-5-138401

## 専門性が支える介護福祉の充実のために

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

冬号(20年12月発行予定) 特集「介護における感染症の防止」

春号(21年3月発行予定) 特集「自立を目指した生活支援技術」



# 社団法人 日本介護福祉士会

### 公開シンポジウム

## 『災害現場における要援護者の自立支援と介護予防』

## 要援護者の自立支援と介護予防

介護福祉士会主催の公開シンポジウムが1月31日、神奈川県横浜市のウィリントング横浜で行われた。今回のテーマは「災害現場における要援護者の自立支援と介護予防」であった。



「災害現場における要援護者の自立支援と介護予防」をテーマとした公開シンポジウムが、1月31日、神奈川県横浜市のウィリントング横浜で行われた。今回のテーマは「災害現場における要援護者の自立支援と介護予防」であった。...

公開シンポジウム「災害現場における要援護者の自立支援と介護予防」の様子



この日のシンポジウムは、新潟県中越沖地震に被災した方々の支援を目的として開催された。...

「災害現場における要援護者の自立支援と介護予防」をテーマとした公開シンポジウムが、1月31日、神奈川県横浜市のウィリントング横浜で行われた。...

「災害現場における要援護者の自立支援と介護予防」をテーマとした公開シンポジウムが、1月31日、神奈川県横浜市のウィリントング横浜で行われた。...

（東京都介護福祉士会）が新潟県中越沖地震等の災害における被災者から感じた課題などについて発表された。（詳細は2面）

支部の社団化がすすめられています

日本介護福祉士会では、公益法人制度改革に際し、この度平成20年12月1日付で神奈川県介護福祉士会、静岡県介護福祉士会が、平成20年12月12日付で兵庫県介護福祉士会が一般社団法人となりまして、この公益法人制度改革では、「一般社団法人は、その主たる事務所の所在地において設立の登記をすることによって成立する」とされておられ、今後、他の支部でも一般社団法人化に向けた動きが加速していくこととなります。

## 平成20年度第2回都道府県介護福祉士会会長会が開催されました



平成20年度第2回都道府県介護福祉士会会長会が1月30日、31日の両日、神奈川県横浜市のウィリントング横浜で開催された。

初めに、石橋会長により開会の挨拶が行われた。今回の介護保険報酬改定において、「介護従事者の処遇改善」を柱として、報酬の見直しが行われ、介護福祉士に対する評価がなされていること、介護福祉士会として取り組んで来たこと、21年度から介護保険報酬改定が行われるにあたって、厚生労働省老健局

この日のシンポジウムは、新潟県中越沖地震に被災した方々の支援を目的として開催された。...

この日のシンポジウムは、新潟県中越沖地震に被災した方々の支援を目的として開催された。...



「介護従事者の処遇改善」を柱として、報酬の見直しが行われ、介護福祉士に対する評価がなされていること、介護福祉士会として取り組んで来たこと、21年度から介護保険報酬改定が行われるにあたって、厚生労働省老健局

「介護従事者の処遇改善」を柱として、報酬の見直しが行われ、介護福祉士に対する評価がなされていること、介護福祉士会として取り組んで来たこと、21年度から介護保険報酬改定が行われるにあたって、厚生労働省老健局

「介護従事者の処遇改善」を柱として、報酬の見直しが行われ、介護福祉士に対する評価がなされていること、介護福祉士会として取り組んで来たこと、21年度から介護保険報酬改定が行われるにあたって、厚生労働省老健局

「介護従事者の処遇改善」を柱として、報酬の見直しが行われ、介護福祉士に対する評価がなされていること、介護福祉士会として取り組んで来たこと、21年度から介護保険報酬改定が行われるにあたって、厚生労働省老健局

平成21年度年会費振替のお知らせ  
5月26日に実施します  
指定口座からの年会費の自動振替を、左記の日程で実施いたします。つきましては前日までに口座へご入金をお願いいたします。  
○平成21年5月26日(火)  
○口座登録をされている継続会員のみなさま  
会費納入について不明な点がありましたら、日本介護福祉士会事務局へお問い合わせください。

介護福祉士実習指導者講習会について  
日本介護福祉士会では、平成21年度も引き続き「介護福祉士実習指導者講習会」を47都道府県で開催することとしております。詳細については各都道府県介護福祉士会までお問い合わせください。

介護現場の労働環境改善のためのシンポジウム  
3月15日開催  
3月15日(日)東京都墨田区において、「介護報酬改定により処遇改善に係る各サービスの見直し」がされ、障害者自立支援法についても今後検討がすすめられて行く今、すでに実施されている取り組みを踏まえ、今後の課題を明らかにし、魅力ある介護の職場を創造することを目的としたシンポジウムを開催いたします。(詳細は4面)  
お申し込み、お問い合わせ  
日本介護福祉士会のホームページをご覧ください。電話03-3507-0784まで。

# 第6回日本介護学会富山で開催 18名が論文発表を行う



包括診療部長遠藤英俊氏)、「実践報告」(助言者・和洋女子大学教授坂本洋一氏)の3分科会に分かれ2日間わたって行われた。発表タイトルと研究発表は以下のとおり。

今年度で第6回を数える日本介護学会が12月6日・7日、富山観光ホテル(富山県富山市)で開催された。北陸近県を始めとする全国各地より三百数十名が参加した。

- 【論文】
- ①「介護場面におけるアルコール問題」波多野大介氏
  - ②「救護施設入所継続者の現状と課題」藤井哲治氏
  - ③「ひとり親家族における若年者のケア問題」武田卓也氏
  - ④「介護職員における医療行為の実施状況について」岡田稔氏
  - ⑤「入所施設に求める環境」毛利満則氏
  - ⑥「医療的行為の現状と望まれる教育方法」田家英二氏
- 【調査報告】
- ①「訪問介護員のソーシャルサポートに関する利用者の印象に関する調査」吉田清子氏
  - ②「農山村地域にお

最後に内田千恵子学会委員長の閉会の挨拶があり、「第6回を終え今までの振り返りをし、今後のあり方を検討していく時期にきていく」との旨の発言があった。

【実践報告】

- ①「介護を仕事に」舟田伸司氏
- ②「音楽療法の取り組みによる介護者の士気向上」石岡輝子氏
- ③「身体障害者療護施設における異性介護について」相原宏氏
- ④「介護職員のスキルアップを目指す」松山智恵子氏
- ⑤「実践事例研究が介護現場を変える」石原正三氏
- ⑥「グループホーム利用者の体重の減少に対する介入の効果」荒山浩子氏

【記念講演概要】

テーマ・骨イキイキ、生活機能を高めて自立・尊厳を

講師・東京都リハビリテーション病院院長 林泰史氏

1 進捗する高齢社会における医療環境の変化と介護

①人口高齢化に伴う医療と介護(2008年4月の診療改定から)、原則・1990年代に病状と介護状態の区分・年金・医療費・福祉・介護費用を5・4・1から5・3・1に。子供に借金を残さない：骨太の方針(聖域無き制度改革) 総医療費の削減①老

人医療保険の独立②入院期間の短縮③自己負担額の増額④医療費の削減⑤出来高払いから定額医療費制度の導入⑥都道府県ごとの医療費適正化計画の策定⑦メタボリック症候群などに対する特定健診・特定保健指導の充実⑧医療成果の評価⑨リハビリテーションから

医療の質の向上⑦対1看護の実現(がん治療などに限定、患者の看護必要度を点数化する)

②年齢による要介護の原因の違い

前期高齢者、運動器疾患(関節疾患、転倒・骨折、脊髄損傷、高齢による衰弱)23%に対し、後期高齢者の運動器疾患は47%で、とりわけ骨折が大きな課題。大腿骨頭部骨折新患者数は15年間で2・2倍となっている。

2 高齢者のイキイキ生活を目指すため：骨折の原因、骨粗鬆症とは

薬、アルファカルシドールの骨折抑制効果

新規椎体骨折に対するラロキシフェンの効果

服薬コンプライアンス

毎日30分散歩・牛乳1本飲用の効果

立った姿勢での重心移動とその範囲

評価法

等について、講演がなされた。

## シンポジウムの概要

『災害現場における要介護者の自立支援と介護予防』

公開シンポジウムにおいて7名のシンポジストは次のように発表した。

吉本氏は、ヘルパーとしての援助の限界があったこと、ボランティアとしての活動にもできることとできないことを見極めて支援する必要がある。また、他の専門機関・行政などと連携して支援する必要があると述べた。

加藤氏は、災害は何時何処でも起こりうることであり、それらに対しては、ネットワークとマンパワーとシステムが必要であると述べた。

石井氏は、介護は人間生活において欠かせないものであり、ライフラインの1つであると考え、災害時に介護を継続する必要があると述べた。

江頭氏は、災害の現場において後継者への記録を残すこと、コミュニケーションをとりながらしっかりとした情報収集を行うことの重要性とともに、専門職としていづ、いかなる場合でも適



的に支援することは非常に重要な課題であり、介護福祉士として真剣に取り組む必要があると述べた。

金巻氏は、災害が起こったときに、介護福祉の専門職が被災地支援のために従事することを想定し、日ごろからさまざまな職種や機関が災害時を想定したネットワークを構築することが必要であるとともに、地域住民が互いに知る取り組みこそが大切であると述べた。

池野氏は、活動の継続に必要な仲間作りと質の向上に必要なマニュアル作成や災害教育、災害時における他職種との連携方法や個人情報取り扱いに関する協定などの必要性を述べた。

**書評**

『生活施設のケアプラン実践 事例編』

カンファレンスの重要性と生活支援の理解

生活施設のケアプラン実践 事例編

利用者主体の「ケアプラン」がここにある

カンファレンスの重要性と生活支援の理解

編集 施設ケアプラン研究会

編集代表 森繁樹

中央法規出版

204頁 2000円(税別)

本書は「生活施設のケアプラン実践 施設ケアマネジャーの役割と可能性」(中央法規)の続編です。前書に引き続き本書が伝えたいのは、施設ケアプランの『書き方マニュアル』ではなく、ケアの本質を理解すること、利用者のためのケアプランは作成できること、という点です。

本書は「介護とは何か」「生活支援とは何か」「利用者理解とは何か」といった抽象的なケアの概念について、事例をもとに明快に解説していきます。特に本書の中核部分となる第2章では、筆者が交えたカンファレンスをもとに事例が展開されますので、読者にとっては身近な題材からケアの考え方が理解でき、それがケアプランに反映されていく過程を裏にリアルに感じながら読み進めることができます。またカンファレンスは逐語録で展開されているので、カンファレンスのあり方についても同時に学ぶことができます。

施設ケアマネジャーだけでなく、介護職、介護の仕事に携わる方たちが自分の介護のやり方に迷ったときに頼りになる、明日からの実務に活かせるヒントが満載の1冊です。

# ソウエルクラブ(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

**加入できる職員**

■社会福祉事業に従事する職員の他、常勤の役員や同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業などに従事する職員なども加入できます。

**掛金**

■掛金は職員一人あたり毎年度1万円です。

**加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル**

TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
http://www.sowel.or.jp/  
社会福祉法人 福利厚生センター  
〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1-21-17虎ノ門NNビル

**ソウエルクラブ**

■職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ
- 電話健康医療相談

■職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈
- 出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈

■地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)

■職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

■職員の余暇活用のために

- 指定保養所・休暇村他 7種類の宿泊施設、全国289か所
- 海外リフレッシュツアー
- クラブ・サークル活動支援
- テーマパーク
- 国内・海外旅行
- レンタカー
- カルチャースクール・ゴルフ・乗馬等

■職員の資質向上のために

- 海外研修
- 広報講習会
- レク・リーダー養成講習会
- 接遇講習会
- パソコン講習会
- メンタルヘルス講習会

■職員の生活サポートのために

- 住宅ローン・特別資金ローン
- クレジットカード
- ソウエル団体生命保険

■各種情報提供

- 会員情報誌、ソウエルクラブニュース
- ホームページ

魅力ある職場づくりに福利厚生センターをご活用ください

認定専門介護福祉士(認知症) 養成研修行われる



12月19日、21日および17日、18日の合計5日間、京都府において認定専門介護福祉士(認知症)養成研修が行われた。

受講生からは、「この研修を受講して、今までの自分を反省し、今後の関わりについて新たな視点を持つことができたので、戻ったら早速実践してみます。」、「他の県の方と情報交換することで気づくこともありました。この研修限りではなく、今後も皆さんとお会いする機会を持ちたいです。」といった意見が聞かれた。



や、各支部における研修の講師等、リーダー的役割を担っていくことが期待される。

介護報酬改定の概要

近年の介護サービスにおける介護従事者の離職率の高さや、人材確保の困難な状況を背景に、平成20年の通常国会で、「介護従事者等の人材確保のための介護従事者の処遇改善に関する法律」が成立した。

こうした状況を踏まえ、平成20年10月30日に、政府・与党において「介護従事者の処遇改善のための緊急特別対策」として、平成21年度介護報酬改定率を3.0%とすることが決定された。

現状の厳しい状況を改善し、質の高いサービスを安定的に提供する事を前提として、平成21年度の介護報酬改定は、次の基本的な視点に立って行われる。

①介護従事者の処遇の改善を進めるとともに、経営の効率化への努力を前提とした経営の安定化、②医療との連携や認知症ケアの充実化、③新たなサービスの検証や既存サービスの効率化を図る。

②については「医療との連携や認知症ケアの充実」として、介護が必要になって住み慣れた地域で自立した生活を続けられるように、医療から介護保険への移行に伴い、つなぎ目のないサービスを提供することや、「認知症高齢者等の増加を踏まえた認知症ケアの

推進」として、認知症ケアの向上を図るために認知症行動や心理状態への対応や若年性認知症の受け入れへの評価、認知症高齢者等へのリハビリテーションの充実等を行う。

日本介護福祉士会 会員証附带サービスのご案内

- 料理教室: 特典内容 入会金 60%割引
利用方法 日本介護福祉士会の会員証の裏面に窓口にご提示ください。
提携先 ホームメイド協会
着付教室 (長沼静きもの学院): 特典内容 ・着付一般コース(3ヵ月) 13,500円
利用方法 日本介護福祉士会の会員証の裏面に窓口にご提示ください。
提携先 長沼静きもの学院

- レンタカー割引サービス: 特典内容 基本料金の5%割引
利用方法 日本介護福祉士会の会員証の裏面に窓口にご提示ください。
貸衣装割引サービス: 特典内容 20%割引
利用方法 日本介護福祉士会の会員証の裏面に窓口にご提示ください。

- パッケージツアー割引サービス: 特典内容 3%~5%割引
利用方法 日本介護福祉士会の会員証の裏面に窓口にご提示ください。

Table with columns for Rent a Car Company and Telephone Reservation Center, listing phone numbers for various locations like Osaka, Fukuoka, and Tokyo.

Table with columns for Overseas Package Name, Travel Agency Name, and Discount Rate, listing various travel packages and their respective agencies.

Table with columns for Domestic Package Name, Travel Agency Name, and Discount Rate, listing domestic travel packages and their respective agencies.

ふれあいケア 2009年3月号 2月20日発行. 特集 看取りから学ぶ. 介護に携わるプロフェッショナルのための応援誌. 定期購読申込み受付中!

### 介護現場の労働環境改善のためのシンポジウム

- 1 **テーマ** ~魅力ある介護労働の現場を創造するために~
- 2 **日時** 平成21年3月15日(日) 13:00から17:00
- 3 **会場** KFC Hall Annex  
東京都墨田区横網(よこあみ)一丁目6番1号  
電話03-5610-5800(代表)
- 4 **定員** 200名
- 5 **参加費** 無料
- 6 **プログラム**  
12:30 開場  
13:00 開会  
13:10~14:00 第1部 講演  
介護保険報酬改訂のポイント  
~介護従事者の処遇改善  
14:10~17:00 第2部 公開シンポジウム  
魅力ある介護労働の現場を創造するために  
17:00 閉会
- 7 **問い合わせ先**  
社団法人日本介護福祉士会  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13  
西勘虎ノ門ビル3階  
TEL 03-3507-0784 FAX 03-3507-8810

### 第15回 中国・四国ブロック研修会 開催要綱

- 1 **内容** 行政説明:「介護報酬について」  
記念講演:「介護福祉士の役割」  
実践研究発表
- 2 **日程** 6月25日(木)
- 3 **会場** 岡山コンベンションセンター  
(ママカリフォーラム)
- 4 **定員** 300名
- 5 **参加費** (1) 会員 3,000円 (2) 会員外 10,000円  
(3) 学生 1,000円  
\*日本介護福祉士会会員の方は生涯研修手帳をご持参ください。
- 6 **プログラム**  
9:00 受付  
9:30 開会  
10:00 行政説明  
11:00 実践研究発表(1事例10分及び質疑5分にて3事例)  
12:00 休憩  
13:00 記念講演 さわやか福祉財団 理事長 堀田 力氏  
14:30 実践研究発表(1事例10分及び質疑5分にて6事例)  
16:00 閉会
- 7 **問い合わせ先**  
社団法人岡山県介護福祉士会 TEL 086-222-3125

### 支部の研修

- 新潟支部研修情報**  
〔認知症ケアに関する研修〕  
日程 4月26日(日)  
会場 新潟ユニゾンプラザ大会議室  
定員 150名  
講師 杉山孝博先生(社) 認知症のひとと家族の会 神奈川県支部代表・川崎 幸クリニック院長  
問い合わせ先 社団法人新潟県介護福祉士会  
TEL 025-281-5531
- 長野支部研修情報**  
〔施設ケアマネジャー研修〕  
日程 3月20日(金)~3月22日(日)  
参加費 会員1万円 非会員2万円  
定員 40名  
会場 ホテル信濃路 長野市岡田町131-4  
締め切り日 平成21年3月10日(火)  
問い合わせ先 社団法人長野県介護福祉士会  
TEL 026-223-6670
- 富山支部研修情報**  
〔第4回スキルアップセミナー〕  
日程 3月15日(日)  
テーマ 「ICFの視点を活かした認知症 ケアの実践」  
講師 認知症介護研究・研修センター 主任研修主幹 諏訪 さゆり氏  
問い合わせ先 富山県介護福祉士会  
TEL 076-422-2442
- 滋賀支部研修情報**  
〔平成20年度実技模範試験〕  
日時 2月28日(土)  
会場 華頂社会福祉専門学校  
〔平成20年度第2回初任者研修〕  
日程 3月5日(木)・11日(水)・28日(土)  
会場 県立長寿社会福祉センター/華頂社会福祉専門学校  
問い合わせ先 滋賀県介護福祉士会  
TEL 077-568-1758
- 京都支部研修情報**  
〔認知症ケア研修〕  
日程 3月14日(土)  
会場 京都社会福祉会館 3階第5会議室  
講師 洛南病院 診療部長 森 俊夫先生  
〔第13回定期総会・記念講演〕  
日程 6月13日(土)  
会場 京都社会福祉会館 4階ホール

- 鳥取支部研修情報**  
〔総会及び研修会〕  
日程 6月20日  
会場 鳥取市 県立福祉人材研修センター  
〔初任者研修会〕  
日程 7月1日(水)・16日(木)・24日(金)  
会場 倉吉市 地域交流センターアゼリア  
ホール  
問い合わせ先 鳥取県介護福祉士会  
TEL 0857-59-6336
- 広島支部研修情報**  
〔公開講座:みんなで防ごう!高齢者虐待〕  
日程 平成21年3月22日(日)  
会場 広島県健康福祉センター大研修室  
定員 200名  
参加費 無料  
問い合わせ先 社団法人広島県介護福祉士会  
TEL 082-254-3016
- 福岡支部行事案内**  
〔第48回 博多どんたく 港まつり〕  
一緒にパレードに参加しませんか  
問い合わせ先 社団法人福岡県介護福祉士会  
TEL 092-474-7015
- 沖縄支部研修情報**  
〔通常総会特別講演〕  
日程 平成21年3月28日(土)  
会場 沖縄県総合福祉センター  
西棟 第7会議室  
定員 50名 ※定員に達し次第締めきらせていただきます。  
参加費 無料  
問い合わせ先 社団法人沖縄県介護福祉士会  
TEL 098-887-3344
- 他団体の研修**  
〔シンポジウム:福祉職・介護職の専門性と社会的地位を高めるために〕  
主催 日本学術会議 社会学委員会福祉職・介護職育成分科会  
日程 平成21年3月28日(土)  
会場 東洋大学 白山キャンパス6101  
教室(東京都文京区白山5-28-20)  
申し込み先 日本社会福祉学会事務局  
(担当:鈴木)  
Email: gakkai56@oka-pu.ac.jp  
FAX 03-3966-7820  
※定員(300名)となり次第、締め切りさせていただきます。

介護福祉士向け専門情報誌

## 介護福祉

- ☆発行回数 年4回/春・夏・秋・冬号
- ☆購読料(年) 3,440円(4号分・送料含む)
- ☆申込み先 財団法人 社会福祉振興・試験センター  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル  
TEL 03-3486-7511 FAX 03-3486-7514  
インターネットによる申込 <http://www.sssc.or.jp>  
郵便振替口座 00120-5-138401

### 専門性が支える介護福祉の充実のために

この『介護福祉』は、介護福祉士の皆様の自己研鑽のため、また、施設等における介護職員の資質向上のための必携の書として大変好評を得ています。本誌は、日常の介護業務において、そこで求められる介護行為・動作等について、論理的根拠を医学・心理学・解剖学・看護学その他の面から、分かりやすく解説するほか、介護福祉士として是非知っておいていただきたい専門知識や技術・福祉機器の活用など、介護に関する最新情報を提供しています。

- 冬号(20年12月発行) 特集「介護における感染症の防止」
- 春号(21年3月発行予定) 特集「自立を目指した生活支援技術」